

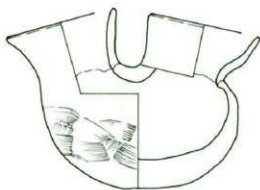
細新遺跡Ⅱ



1998年3月

長野県飯田市教育委員会

細新遺跡Ⅱ



1998年3月

長野県飯田市教育委員会



細新遺跡調査前全景（平成4年11月撮影） 1：12,500



調査区遠景 (天竜川上流から)



調査区遠景 (天竜川下流から)



調査区全景（上空より）



S B 60炭化材分布狀況



S B 60遺物出土狀況



S K 20遺物出土状況



S K 23遺物分布状況



S B 18出土須恵器甕



S K 20出土双口土器

序

飯田市は「人も自然も美しく、輝くまち飯田ー環境文化都市」として基本計画に示すとおり、山紫水明の自然環境に恵まれ、原始・古代より多くの人々が生活を営んできた地域であります。調査が行われた飯田市龍江地区は、昔から三六災害に代表されるような天竜川による水害を受けており、水害対策が長年の懸案であった土地柄と聞いております。そこで、低地を埋め立てて、安心して暮らせる土地にしようとするのが治水対策事業です。

しかし埋め立てることによって我々の先祖の暮らした痕跡が地中奥深くに眠ってしまうことになり、その確認がほぼ不可能になってしまいます。文化財保護の立場からはその是非について今更言うまでもないことですが、現代から未来の人々にとっては治水対策はやむを得ない当然の権利と言えます。よって何度にも亘る埋蔵文化財保護協議を重ね、保存できるものは保存し、深く埋め立てられてしまうものについては記録保存によって後世に残す方法にいたしました。このような発掘調査の積み重ねによって地域の歴史の再構築が行われ、ひいてはその成果が私たちの生活に還元されていくものがあります。

最後になりましたが、調査実施にあたり文化財保護の本旨に厚いご理解を賜った飯田市治水対策部・土地所有者の方・地元の皆様・現地・整理作業に従事された作業員の皆様に深甚なる謝意を申し上げる次第であります。

平成10年3月

飯田市教育委員会教育長 小林恭之助

例 言

1. 本報告書は天竜川治水対策事業に伴い実施された、飯田市龍江地区所在の埋蔵文化財方包蔵地細新遺跡の緊急発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は飯田市治水対策部からの委託を受け、飯田市教育委員会が実施した。
3. 調査は、平成6・7年度現地作業を、9年度整理作業及び報告書作成作業を行った。
4. 遺跡名は、現地調査中に飯田市教育委員会に於いて市内遺跡詳細分布調査を行い、遺跡範囲及び遺跡名の変更があったため、現地作業・整理作業・報告書作成時にそれぞれ異なった略号を用い、下記に表として記述してある。なお、本報告書に用いている遺跡名は市内遺跡詳細分布調査の成果による。また、遺構には以下の略号を用いた。竪穴住居址・SB 掘立柱建物址・ST 溝址・SD 集石・SI 土坑・SK
5. 細新遺跡に於ける発掘調査位置は国土基本図の区画、MC-05にそれぞれ位置し（社団法人日本測量協会 1969 「国土基本図図式 同適用規定」 参照）、グリッド設定は飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図に基づいて、株式会社ジャステックに委託した。
6. 本書の記載については地区毎、遺構の順とし、住居址については時代順とした。遺構図・遺物図版・写真図版は本文末に一括した。
7. 土層観察については小山正忠・竹原秀男 1996 「新版標準土色帖」による。
8. 本書は担当者の協議の上、吉川金利が執筆・編集し、小林正春が総括した。なお、石器実測及びブレース、土器実測の一部、遺物写真撮影は株式会社ジャステックに委託した。
8. 本書に関連する出土品及び諸記録は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館及び飯田市上郷考古博物館で保管している。

遺跡名対照表

	調査時点遺跡名	注 記 名	報告書記載名
龍 江 細 新 (2)	THA(2)cトレンチ	TCⅢcトレ	THA fトレンチ
	THA(2)dトレンチ	TCⅢdトレ	THA gトレンチ
	THA(2)B地区aトレンチ	TCⅢ・Baトレ	THA hトレンチ
	THA(2)B地区bトレンチ	TCⅢ・Bbトレ	THA iトレンチ
	THA(2)B地区cトレンチ	TCⅢ・Bcトレ	THA jトレンチ
龍 江 細 新 (3)	THA(3)	THA(3)	THA
	THA(3)aトレンチ	THA(3)aトレ	THA aトレンチ
	THA(3)bトレンチ	THA(3)bトレ	THA bトレンチ
	THA(3)cトレンチ	THA(3)cトレ	THA cトレンチ
	THA(3)dトレンチ	THA(3)dトレ	THA dトレンチ
	THA(3)eトレンチ	THA(3)eトレ	THA eトレンチ

目 次

序	①S B 14	14
例 言	②S B 16	15
目 次	③S B 18	15
I 調査の経過	④S B 19	16
1. 調査に至るまでの経過	⑤S B 20	16
2. 調査の経過	⑥S B 21	17
3. 調査組織	⑦S B 22	17
II 遺跡の環境	⑧S B 23	18
1. 自然環境	⑨S B 25	18
2. 歴史環境	⑩S B 26	19
III 調査結果	⑪S B 27	19
1. 基本層序	⑫S B 28	20
2. 竪穴住居址 (S B)	⑬S B 29	20
(1)弥生時代	⑭S B 32	21
①S B 56	⑮S B 33	21
②S B 63	⑯S B 37	22
③S B 100	⑰S B 39	22
(2)古墳時代	⑱S B 40	23
①S B 01	⑳S B 41	23
②S B 02	㉑S B 42	24
③S B 04	㉒S B 43	24
④S B 07	㉓S B 44	25
⑤S B 08	㉔S B 48	25
⑥S B 09	㉕S B 50	26
⑦S B 10	㉖S B 51	26
⑧S B 11	㉗S B 52	27
⑨S B 12	㉘S B 53	27
⑩S B 13	㉙S B 54	28
	㉚S B 55	28
	㉛S B 58	29
	㉜S B 60	29
	㉝S B 61	30
	㉞S B 62	30

⑭S B 64	31
⑮S B 65	31
⑯S B 66	32
⑰S B 69	32
⑱S B 73	33
⑲S B 75	33
⑳S B 77	34
㉑S B 78	34
㉒S B 79	35
㉓S B 80	35
㉔S B 81	36
㉕S B 82	36
㉖S B 83	37
㉗S B 84	37
㉘S B 85	38
㉙S B 86	38
㉚S B 88	39
㉛S B 89	39
㉜S B 90	40
㉝S B 91	40
㉞S B 92	41
㉟S B 93	41
㊱S B 95	42
㊲S B 96	42
㊳S B 97	43
㊴S B 98	43
(3)平安時代	
①S B 05	44
②S B 06	44
③S B 15	45
④S B 17	45
⑤S B 30	46
⑥S B 31	46
⑦S B 35	47
⑧S B 36	47
⑨S B 45	48
⑩S B 46	48

⑪S B 47	49
⑫S B 49	49
⑬S B 59	50
⑭S B 67	50
⑮S B 68	51
⑯S B 70	51
⑰S B 71	52
⑱S B 72	52
⑲S B 74	53
㉑S B 76	53
㉒S B 87	54
(4)不明	
①S B 03	54
②S B 24	55
③S B 34	55
④S B 38	56
⑤S B 57	56
⑥S B 94	57
⑦S B 99	57
3. 掘立柱建物址 (ST)	
①S T 01	58
②S T 02	58
③S T 03	58
④S T 04	58
⑤S T 05	58
⑥S T 06	58
4. 溝址 (SD)	
①S D 12	58
②S D 13	58
③S D 14	58
④S D 15	58
⑤S D 16	58
⑥S D 17	58
⑦S D 18	58
⑧S D 19	59
⑨S D 20	59
⑩S D 21	59

5. 集石 (S I)	
① S I 01	59
② S I 02	59
③ S I 03	59
④ S I 04	59
⑤ S I 05	59
⑥ S I 06	59
6. 土坑 (S K)	
① S K 01	59
② S K 03	59
③ S K 04	59
④ S K 05	59
⑤ S K 06	59
⑥ S K 07	59
⑦ S K 08	59
⑧ S K 09	59
⑨ S K 10	59
⑩ S K 11	59
⑪ S K 12	59
⑫ S K 13	59
⑬ S K 14	59
⑭ S K 15	59
⑮ S K 16	60
⑯ S K 17	60
⑰ S K 18	60
⑱ S K 19	60
⑲ S K 20	60
㉑ S K 21	60
㉒ S K 22	60
㉓ S K 23	60
㉔ S K 24	60
㉕ S K 25	60
㉖ S K 26	60
㉗ S K 27	60
㉘ S K 28	60
㉙ S K 29	60
㉚ S K 30	60

㉛ S K 31	60
㉜ S K 32	60
㉝ S K 33	60
7. 土器集中区	
①土器集中区1	60
②土器集中区2	60
8. 杭列址 (S A)	
① S A 01	60
9. ビット	60
10. 土層観察表	61
11. 縄物石計測表	70

IV まとめ

1. 縄文時代	73
2. 弥生時代	73
3. 古墳時代	73
(1)集落について	76
(2)遺物について	76
(3)遺構について	77
4. 平安時代	77
5. 中世・近世	77

図版	79
----	----

(遺構)

(遺物)

写真図版	233
------	-----

報告書抄録

I 調査の経過

1. 調査に至るまでの経過

細新遺跡が所在する飯田市龍江地区は、伊那盆地の再南端の天竜川左岸に位置し、下流には天竜峽という狭窄部のある地域である。このため当地区の天竜川氾濫源・低位段丘は過去幾度となく洪水にあっており、土砂を多量に含む洪水が大きな課題となっていたのである。

そこで対岸の竜丘・川路地区を含めた当該地では、昭和36年に見舞われた水害（36災害）時の被害状況を勘案して「天竜川治水対策事業」を行うことになった。

この事業は前述した36災害時に浸水した高さまで埋め立てをするもので、事業対象地には多くの埋蔵文化財包蔵地が存在する。そのため、その保護について長野県教育委員会文化課・飯田市治水対策部・飯田市教育委員会の三者によって、昭和61年10月16日に最初の保護協議を行い、以後数回に亘る協議を経て、平成4年度に事業地内の遺跡に於いて、その状況を把握するため試掘調査を行った。

そして平成5年3月9日に行われた保護協議及び同年5月6日の文化庁の指導を受けて、平成5年5月19日付5教文第7-21号による県教育委員会からの回答で同事業に係る埋蔵文化財の保護について下記の前提が提示された。

- ・原則として試掘調査により把握された遺構確認面及び遺物包含層から2mを越える盛土の範囲は発掘調査を行い記録保存を計る。

- ・2m以下の盛土の範囲についてはトレンチによる確認調査を実施し、遺跡の状況を把握し地下遺構の保存を講ずると共にその判断された内容を記録保存し、後世に伝える。

これらの回答に基づき発掘調査及び確認調査が行われることとなった。

2. 調査の経過

細新遺跡発掘調査の計画段階においては20000㎡以上の発掘調査を予定していたが、後述するようにトレンチ調査によって遺構・遺物が確認されない箇所があったため、調査面積が少なくなりそれに伴い期間も短縮された。

平成6年度に於て土砂運搬道路建設に伴い、水路の付け替えの必要が出たため、予定より早く当該遺跡の調査を開始した。4月22日よりb・c・d・eトレンチの調査を開始した。最初に重機によって表土剥ぎを行い、作業員による精査を行ったが、遺構・遺物は確認されず、終了した。

同年5月18日にb・c・d・eトレンチと同様な理由から水路付け替えの必要部分の調査を開始した。当該地は計画の段階から多くの遺構・遺物の存在が予想されていたが、平成4年度に行われた試掘調査の折にも古墳時代と思われる竪穴住居址が確認された経緯があるため、それ以外の調査対象地にもトレンチを入れ、地下の確認を行った所、予想よりはるかに多くの遺構・遺物が確認された。これらの調査は18日より表土剥ぎについては重機で行い、24日から作業員による精査を行い30日に終了した。その後、

他遺跡の調査終了後、10月25日より重機によって表土剥ぎを行い、11月25日から作業員による精査を開始した。調査当初は遺構確認面が多数あると判断し、遺構のない箇所調査区を横断するトレンチを設定して下層の調査を行ったが最初の遺構確認面より下層には遺構・遺物はないと判断し、調査を進めた。調査は調査区をほぼ3等分し、掘削作業及び部分的な測量が終了することに株式会社ジャステックに写真測量を委託した。平成7年9月4日に遺構掘削の作業がほぼ終了したため、写真測量及び空中写真撮影用に清掃を行い、5～7日に写真測量及び空中写真撮影を委託した。9月11日に現場での調査の一切が終了した。10月22日に地域に調査の成果を発表すべく現地見学会を開催し、多くの方々に埋蔵文化財に対する理解を深めていただいたと自負している。

f・gトレンチについては6年5月23日及び25日に重機にて掘削を行った。当該箇所は平成5年度に行われた「今田人形の館」建設に伴う発掘調査の際に湿地であることを確認しており、状況は同様であった。よってトレンチ南側は調査対象地になっていたが、これらの状況より調査不要と判断した。しかし、その南端については状況が不明であったため、平成7年4月6日にh・i・jトレンチを新たに設定し調査したが、湿地ではなかったが昭和初期に瓦製作用の粘土を採掘したということで削平されており、改めて調査不要と判断した。

3. 調査組織

(1) 調査団

調査担当者	馬場保之	吉川金利	下平博行	伊藤尚志	福澤好晃
調査員	佐々木嘉和	佐合英治 (~6, 3)		吉川 豊	山下誠一 (6, 4~)
	渋谷恵美子 (~6, 3)		上沼由彦 (7, 4~)		鳴海紀彦 (9, 7~)
作業員	青島里之	新井幸子	新井ゆり子	池田幸子	池戸智恵子
	市瀬 忠	市瀬長年	市瀬房吉	伊坪 節	伊藤禎七
	伊藤安正	伊藤博紀	伊東裕子	井上恵資	井上晃一
	今村勝次	今村治子	氏井 享	太田沢男	大原千和喜
	大原八重子	岡島三男	岡島 亘	岡田紀子	小木曾せき
	奥村栄子	小倉千年美	尾曾ちぶき	恩沢不二子	瓶田 境
	金井照子	金子正子	金子裕子	唐沢恭子	唐沢古干代
	川上一子	川手周三	川手千敏	川手八重	北川 彰
	北沢兼雄	吉地武虎	北原久美子	北原 裕	木下賢一
	木下早苗	木下貞子	木下千秋	木下 傳	木下義男
	木下良子	木下力弥	木下玲子	櫛原亜紀子	櫛原勝子
	熊谷みゆき	熊谷義章	熊崎三代吉	小池金太郎	小池千津子
	小島幸子	小平晴美	小平不二子	小平まなみ	小林定雄
	小林千枝	小室陸子	斎藤喜千	斎藤千里	斎藤徳子
	坂井勇雄	榎原政夫	酒井優子	坂下やすよ	左近美智子
	佐々木文茂	佐々木真奈美	佐々木 守	佐々木美千枝	佐藤知代子

塩沢明子	塩沢澄子	塩沢 節	塩沢節子	斯波幸枝
島岡敬子	島岡のり子	清水三郎	清水千波子	清水ひろ子
清水光朗	下田美美子	代田和登	菅沼和加子	鈴木重雄
鈴木孝子	鈴木道也	関島真由美	瀬古郁保	高木純子
高橋恭子	高橋取二郎	高橋セキ子	滝上正一	竹本常子
田中 薫	田中恵子	田中利男	田本たけ	塚原次郎
筒井千恵子	筒井治雄	鶴岡照儀	遠山重男	遠山政男
常勢昭夫	中沢温子	中田亀男	仲田昭平	中田恵
中平けい子	中平隆雄	鳴海紀彦	西尾芳子	中島佳寿子
丹羽由美	服部光男	林 貞子	林 和人	林 悟史
林 勢紀子	林 達郎	林千二三	林 トモ子	林 信子
林 ひとみ	林 福男	林 幹恵	林田加代子	原 淳
原 昭子	原 道子	原田四郎八	久田きぬえ	久田智美
久田 誠	樋本宣子	広井 保	平栗陽子	平松正子
福沢育子	福沢章子	福沢 薫	福沢幸子	福沢トシ子
福沢誠	福島みゆき	福本静雄	福本まさ志	藤本 宏
古根素子	古林登志子	星本初子	細田七郎	牧内郁代
牧内 修	牧内喜久子	牧内たか子	牧内達雄	牧内利郎
牧内福一	牧内八代	牧田許江	増山局武	松井明治
松下金替	松下成司	松下節子	松下利彦	松下直市
松下寛美	松下真幸	松下光利	松島 保	松島直美
松島なみ	松田 猛	松村かつみ	松本恭子	三浦厚子
三石貞子	溝上清見	南井則子	宮内真理子	宮下貞一
森 章	森藤美知子	森山律子	矢沢博志	山崎ひろ子
山田穂津香	山田康夫	吉川悦子	吉川和夫	吉川紀美子
吉川小夜子	吉沢佐紀子	吉沢さと	吉沢二郎	依田時子
渡辺幸子	渡辺直子			

(2) 事務局

飯田市教育委員会社会教育課（～8. 6） 博物館課（8. 7～）

安野 節（社会教育課長～6. 3）

横田 穆（ " 6. 4～8. 6）

矢沢与平（博物館課課長8. 7～9. 3）

小畑伊之助（博物館課課長9. 4～）

原田吉樹（社会教育課文化係長～6. 3）

小林正春（ " 6. 4～・博物館課埋蔵文化財係長8. 7～）

吉川 豊（社会教育課文化係～8. 6・博物館課埋蔵文化財係8. 7～）

山下誠一（ " 6. 4～ " ）

馬場保之 (社会教育課文化係～8. 6・博物館課埋蔵文化財係8. 7～)
吉川金利 (" ")
渋谷恵美子 (社会教育課文化係～6. 3)
福澤好晃 (社会教育課文化係～8. 6・博物館課埋蔵文化財係8. 7～)
下平博行 (" ")
伊藤尚志 (" 6. 10～ ")
上沼由彦 ((財)長野県埋蔵文化財センターより出向7. 4～9. 3～)
岡田茂子 (社会教育課社会教育係～8. 6)
牧内 功 (博物館課庶務係8. 7～)

II 遺跡の環境

1. 自然環境 (図版2・3)

飯田市龍江地区は、飯田市街地から南東へ約4kmに位置し、天竜川の東側に広がる地区である。北は鮎ヶ沢川で下久堅地区と、南は紅葉川で千代地区と境界を接している。東は伊那山地の海拔700m程度の頂でやはり上久堅・千代地区と境を接している。

伊那谷の基本的な地形は、断層運動により形成された構造段丘と、天竜川の浸食により形成された河岸段丘が組み合わされた、天竜川の流れて沿ったほぼ南北方向の段丘地形を特徴としている。これらの段丘を切る方向に小河川が流れ、それらにより形成される扇状地があちらこちらにみられ、かなり複雑な様相を呈している。竜東地区は山地がせまり小河川の落差が大きく、平坦部分は少ない。

龍江地区の最下段は天竜川の氾濫原であり、昭和36年の災害で土砂の堆積・流失があったため、前地形がわからないが、主要地方道飯田・富山・佐久間線が通る段丘面との差はかなりあったと考えられる。この主要地方道飯田・富山・佐久間線が乗る段丘面は天竜橋から姑射橋まで細長く延びている。

その上段部にも天竜川に平行方向(ほぼ南北方向)に天竜川に向かって緩やかに傾斜した段丘面をみることができる。これらは、小河川(北から塩田沢川・城沢川・蟹沢川・御滝沢川・樋沢川・清水川・大平沢川)により、いくつか寸断されており、それほどの広さはない。その東側は、伊那山地の前山である高森山・雲母丘陵から延びる尾根上に平坦地がいくつかある。

気候面でみれば、伊那谷は比較的温和であり、龍江地区は飯田市の中でも温暖な地域のひとつである。平均気温は、13℃に近く、降水量も年間1,600mm程度である。

細新遺跡は天竜川氾濫原の境界に位置する遺跡で、飯田市に於いて最も標高が低く、天竜川氾濫原に近い遺跡のひとつである。

2. 歴史環境 (図版2・3)

龍江地区での発掘調査はこれまでほとんど実施されていないため、古代・中世は不明な点が多い。縄文時代前期としては、中段に位置する龍江大平遺跡(5)で中葉の黒浜式併行期の竪穴住居址が3軒調査された。さらに、下段の田中下遺跡(3)では前期の集石炉や遺物包含層が確認されており、付近に集落が存在する可能性がある。中期以降の発掘調査例はほとんどなく、下段の氾濫原に面した龍江城遺跡(1)では、流れ込みと思われる中期～晩期の遺物が、龍江細新遺跡(4)では中期・後期の遺物が確認されている。

弥生時代・古墳時代の集落は、天竜川沿いの下段を中心に広く分布しているものと考えられる。田中下遺跡では集落や方形周溝墓群が、また、龍江細新遺跡では弥生時代から古墳時代後期にかけての大規模な集落が調査された。また、古墳は、多くは中段の段丘緑部に築造されており、10基の存在が知られているが、現存するものはハンバ古墳(6)・石原古墳(7)・羽入田原古墳(8)の3基にすぎない。

い。記録に換ると、後期に属する小規模の円墳が多い。龍江地区東寄りの高森山の尾根と尾根の間の洞には、須恵器の窯跡の存在が知られており、御殿田窯跡(9)・上の城窯跡(10)はすでに調査されているが、この他にも数か所窯跡があり、この山地一帯は古窯跡群を形成していたものとみられる。これらの窯跡で生産された須恵器の消費地は天竜川沿いに展開する集落と考えられる。

中世は知久氏の支配に入っていたとみられる。現在一般廃棄物最終処分場がある上城には、兎城と呼ばれている城跡があり、堀・土塁・曲輪が残っている。この城は「今田原城」(11)とも呼ばれており、地区内新地地籍にある春日神社は、南北朝期にこの城主である桃井掃部守定繼が建てたと伝えられる。上城付近には「百目」・「二百目」等の地名が残っている。また、高森山から延びた尾根の、神之峰を見通せる地籍は「池の平」と呼ばれ、その突端部は「城山」(12)と呼ばれて堀・曲輪が残っている。周辺には「窯場」・「御殿田」等の地名がある。この城を「上の城」、兎城を「原城」と呼ぶ人もいる。

近世には、地区内尾林に「尾林古窯」(13)と呼ばれる登り窯が操業しており、摺鉢等の日常飯器が焼かれていた。尾林西側斜面にある八幡神社には、かつて『慶安拾四(1607)年六月日九右衛門』の銘をもつ狛犬が奉納されており、飯田市有形文化財に指定されている。県内最古の焼物の狛犬で、三体とも「阿形」を表わす。現在、「尾林焼」と呼ばれる焼き物は「尾林古窯」とはつながりがない。伝承によれば、明治から大正時代にかけて日用品を焼いた窯が八幡神社西側の尾根にあった。それを引き継いだものが現在の「尾林焼」とされる。他に、近代の焼き物として「東焼」がある。窯元であった田中地籍の松島氏の屋号「東」に因み、御庵沢川南側の高森山支陵の「金治ヶ原」に一部残存する。火鉢・甕等の日用雑器を焼いたとの記録があり、龍江地区を中心に流通していたとされる。

近世以降、庶民の娯楽としての地芝居・人形浄瑠璃が盛んに行なわれており、神明社や尾科諏訪神社等各所に芝居に関する施設や記録が残っている。殊に、地区内今田地籍には伊那谷四座のひとつ、今田人形芝居が伝承されており、大宮八幡神社に奉納されている。

龍江地区は、文化・文化財が比較的良好に伝承された地域のひとつといえよう。(吉川 豊・馬場保之)

III 調査結果

今次調査に於て確認された遺構は以下のとおりである。なお、a-j トレンチについては前述したとおり遺構・遺物は確認されず、位置図のみ記載する（第3図）。

竪穴住居址 (SB)	弥生時代	3
	古墳時代	69
	平安時代	21
	不明	7
孤立柱建物址 (ST)	平安時代	5
	中世	1
溝址 (SD)	不明	8
集石 (SI)		6
土坑(塙) (SK)		32
ピット		多数

1. 基本層序 (第4図)

表土より遺構検出面までは調査区北東側で、遺構検出面下層に於ては中央部トレンチで調査した。遺構検出面は灰黄褐色土で、遺構は比較的容易に検出することができた。土層全般においてシルト質であり、天竜川による幾多の氾濫を受けたものと考えられる。

2. 竪穴住居址 (S B)

(1) 弥生時代

①S B56 (第5図)

検出位置	AG-46	覆土	
重切る	なし	床面	中央部たたき状の貼床
複切られる	S B73 S K22	住居内施設	主柱穴 P 1～P 3か
プラン	(方形)		貯蔵穴 不明
規模m	(5.2)×5.0		入口 不明
規模・形状	主軸	炉・電	形状 石囲炉
	壁高cm		規模cm 64×64
	状態	特記事項	
出土遺物 (第94図)			
甕			
特記事項			
住居址北西側は流失している。			
時期	弥生時代後期後半	規模	出土遺物・住居址形態

②S B63 (第5図)

検出位置	A I-16	覆土	単層10YR5/4にふい黄褐色土 炭化物全体に混じる
重切る	なし	床面	たたき状の貼床
複切られる	S T06	住居内施設	主柱穴 P 1～P 4
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 なし
規模m	6.3×5.8		入口 不明
規模・形状	主軸	炉・電	形状 炉縁石を有する土器埋設炉
	壁高cm		規模cm 60×70
	状態	特記事項	
出土遺物 (第94・95・134・148図)			
甕 甕 高坏			
挟入打製石砲丁			
磨製石鏃			
特記事項			
P 5は間仕切りピットと思われる。			
時期	弥生時代後期後半	規模	出土遺物・住居址形態

③SB100 (第5図)

検出位置	AE-4	覆土	不明		
重切る	不明	床面	不明		
複切られる	不明	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		貯蔵穴	不明	
	規模m		入口	不明	
主軸	不明	炉・電	形状	地床炉	
	壁高cm		不明	規模cm	70×67
	状態		不明	特記事項	
出土遺物 (第95図)					
甕					
特記事項					
炉址のみ検出					
時期	弥生時代中期	根拠	出土遺物		

(2) 古墳時代

①SB01 (第6図)

検出位置	AJ-24	覆土	単層10YR4/2 灰黄褐色土		
重切る	なし	床面	たたき状で堅固な貼床		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	P5か
	規模m		6.4×(6.4)	入口	不明
主軸	N17W	炉・電	形状	(石芯粘土電)	
	壁高cm		57	不明	
	状態		やや緩やか	特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第96図)					
甕 環 高環					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳後期	根拠	出土遺物		

②SB02 (第6図)

検出位置	BD-30	覆土	単層10YR2/3 黒褐色土 (10YR6/6明黄褐色土が3%混じる)	
重切る	なし	床面	たたき状で堅固な粘床	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 不明	
プラン	方形		貯蔵穴 P1・P2か	
規模・形状	規模m	4.0×3.8	入口 不明	
	主軸	N30°W	炉・竈	
	壁高cm	66		形状 石芯粘土竈
	状態	やや緩やか		規模cm 64×73
			特記事項 甕が残存	
出土遺物 (第96・134図) 鉢 須恵器蓋 坏 高坏 有肩扇状形石器				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

③SB04 (第7図)

検出位置	AO-28	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	たたき状で堅固な粘床 特に中央部	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P6・P9・P11か	
規模・形状	規模m	6.3×6.2	入口 P5・P12・P13か	
	主軸	N54°W	炉・竈	
	壁高cm	54		形状 (石芯粘土竈)
	状態	やや緩やか		規模cm 不明
			特記事項 残骸のみ	
出土遺物 (第97・98・134・147・149図) 壺 甕 瓶 蓋 坏 高坏 埴 砥石 磨石 編物石 土製紡錘車 白玉				
特記事項 P3横に間仕切りと思われる溝がある				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

④SB07 (第8図)

検出位置	AU-24	覆 土	10YR4/2 灰黄褐色土
重 切 る	SB27	床 面	貼床
複 切られる	なし	住 居 内 施 設 炉・電	主 柱 穴 P1・P4か
規 模・形 状	プラン (隅丸方形)		貯 蔵 穴 P7か
	規 模m 6.15×(4.5)		入 口 不明
	主 軸 (N8°E)		形 状 不明
	壁 高cm 45		規 模cm 不明
	状 態 やや緩やか		特記事項
出土遺物 (第98・148図) 甕 甌 坏 須惠器高坏 編物石 石製紡錘車			
特記事項			
時 期	古墳時代後期	根 拠	出土遺物

⑤SB08 (第9図)

検出位置	BB-23	覆 土	
重 切 る	なし	床 面	たたき状で堅固な貼床
複 切られる	なし	住 居 内 施 設 炉・電	主 柱 穴 P1~P4
規 模・形 状	プラン (方形)		貯 蔵 穴 P8・P5か
	規 模m 7.3×(6.6)		入 口 不明
	主 軸 N17°E		形 状 不明
	壁 高cm 25		規 模cm 不明
	状 態 やや緩やか		特記事項
出土遺物 (第98図) 甕 坏 編物石			
特記事項			
時 期	古墳後期	根 拠	出土遺物

⑥SB09 (第10図)

検出位置	BI-30	覆土	図版参照		
重切る	なし	床面	たたき状で堅固な貼床		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4		
規模・形状	プラン		貯蔵穴	不明	
	規模m	5.3×5.2	入口	不明	
	主軸	N35°W	炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	64		規模cm	42×33
	状態	ほぼ垂直		特記事項	炉址奥に人頭大の礎2つあり
出土遺物 (第98・99・135図)					
壺 鉢 高坏 小型丸底壺					
挟入打製石庖丁 横刃型石器 縄物石 打製石斧 (混入品)					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

⑦SB10 (第11図)

検出位置	BC-34	覆土	図版参照		
重切る	なし	床面	中央部堅固な貼床		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4とP5~P8 新旧不明		
規模・形状	プラン		貯蔵穴	不明	
	規模m	5.7×5.2	入口	P9	
	主軸	N68°E	炉・竈	形状	新：炉縁石を有する地床炉 旧：地床炉
	壁高cm	81		規模cm	新：55×43 旧：28×26
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第99・135図)					
壺 壺 高坏 小型丸底壺					
挟入打製石庖丁 縄物石					
特記事項					
焼失却家屋					
炉と主柱が改築された家屋である。					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

㊸SB11 (第8図)

検出位置	AW-29	覆土			
重切る	なし	床面	2面あり		
複切られる	SB15・36	住居内施設	主柱穴 新:P1~P4 旧:P5~P8		
プラン	隅丸方形		貯蔵穴	なし	
規模・形状	規模m	4.4×4.6	入口	なし	
	主軸	N127°W	炉・電	形状	石芯粘土電
	壁高cm	62		規模cm	85×100
	状態	やや緩やか	特記事項		
出土遺物 (第149図)					
白玉					
特記事項					
床は2面ある。図示したのは2枚目の床である。1枚目の床には電及び炉址はなかった。					
時期	古墳時代後期	根拠	住居址形態・出土遺物		

㊸SB12 (第12図)

検出位置	AY-26	覆土	単層10YR4/1 灰黄褐色土		
重切る	SB25	床面	電周辺堅固な貼床		
複切られる	SB35	住居内施設	主柱穴 P1~P4		
プラン	隅丸方形		貯蔵穴		
規模・形状	規模m	6.5×6.8	入口	P7か	
	主軸	N63°E	炉・電	形状	石芯粘土電
	壁高cm	26		規模cm	110×120
	状態	やや緩やか	特記事項		
出土遺物 (第99・100図)					
蓋 甕 坏 高坏					
繻物石					
特記事項					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物		

⑩SB13 (第13図)

検出位置	AU-26	覆	土			
重切る	SD14	床	面	貼床		
複切られる	なし	住居内施設	炉・竈	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン			隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m			5.6×5.7	入口	P5・P6か
	主軸			N43°W	形状	石芯粘土竈
	壁高cm			36	規模cm	85×90
	状態			やや緩やか	特記事項	
出土遺物 (第100・135・149図)						
壺 飯 高坏						
砥石 磨石 編物石						
白玉						
特記事項						
焼失却家屋						
時期	古墳後期	根拠	出土遺物			

⑪SB14 (第9図)

検出位置	BC-30	覆	土	単層10YR5/2 灰黄褐色土		
重切る	なし	床	面	部分的に貼床		
複切られる	SD12	住居内施設	炉・竈	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン			隅丸方形	貯蔵穴	なし
	規模m			3.4×3.1	入口	なし
	主軸			N49°W	形状	石芯粘土竈
	壁高cm			28	規模cm	60×73
	状態			やや緩やか	特記事項	
出土遺物 (第135図)						
敲打器 編物石						
特記事項						
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・住居址形態			

㊦SB16 (第14図)

検出位置	AW-34	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	軟弱	
覆切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
プラン	方形		貯蔵穴 P5か	
規模・形状	規模m	4.5×4.7	入口 なし	
	主軸	N52°W	炉・竈	
	壁高cm	68		形状 (石芯粘土竈)
	状態	ほぼ垂直	規模cm	不明
			特記事項	残微
出土遺物 (第136・147図)				
打製石斧 有肩扇状形石器 編物石 土製紡錘車 白玉				
特記事項				
焼失却家屋				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・住居址形態	

㊦SB18 (第15図)

検出位置	BH-26	覆土		
重切る	なし	床面	堅固な貼床	
覆切られる	SD12・13	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P6	
規模・形状	規模m	7.4×7.1	入口 なし	
	主軸	N62°W	炉・竈	
	壁高cm	31		形状 石芯粘土竈
	状態	やや緩やか	規模cm	162×125
			特記事項	
出土遺物 (第100・101・147・149図)				
甕 須恵器甌 鉢 環 高坏 土玉 白玉				
特記事項				
焼失却家屋				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

⑭SB19 (第16図)

検出位置	AP-33	覆土		
重切る	なし	床面	軟弱	
重複	切られる SB21	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P5か	
規模・形状	規模m	4.4×4.2	入口 P6か	
	主軸	N53°W	炉・竈	
	壁高cm	19		形状 石芯粘土電
	状態	やや緩やか		規模cm 88×68
			特記事項	
出土遺物 (第101・136・147図)				
甕 坏 高坏				
磨石 編物石				
特記事項				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

⑮SB20 (第17図)

検出位置	AR-35	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	中央部が堅固	
重複	切られる なし	住居内施設	主柱穴 P2~P4	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P5・P6か	
規模・形状	規模m	5.8×5.1	入口	
	主軸	N54°E	炉・竈	
	壁高cm	34		形状 石芯粘土電
	状態	ほぼ垂直		規模cm 100×110
			特記事項	
出土遺物 (第101・102・136図)				
甕 飯 坏				
打製石斧 挟入打製石廬丁 横刃型石器 磨製石斧 敲打器 編物石				
特記事項				
時期	古墳後期	根拠	出土遺物	

⑩SB21 (第14図)

検出位置	AR-31	覆土	図版参照		
重切る	SB19	床面	軟弱で部分的に貼床		
複切られる	SB03	住居内施設	主柱穴	なし	
プラン	方形		貯蔵穴	なし	
規模・形状	規模m	4.2×4.3	入口	なし	
	主軸	N106°E	炉・竈	形状	石芯粘土電
	壁高cm	30		規模cm	80×70
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第102・136・147図) 甕 須恵器蓋坏 環状石器					
特記事項					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・遺構切り合い		

⑪SB22 (第16図)

検出位置	AT-32	覆土	図版参照		
重切る	なし	床面	中央部堅固		
複切られる	SB24	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
プラン	隅丸長方形		貯蔵穴		
規模・形状	規模m	5.0×4.5	入口		
	主軸	N35°E	炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	96		規模cm	25×20
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第102・137・148図) 甕 甕 高坏					
特記事項 打製石斧 横刃型石器 磨石 磨製石庖丁 縄物石					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

⑬S B23 (第18図)

検出位置	BJ-27	覆土			
重切る	なし	床面	堅固		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1・P2	
規模・形状	プラン		(隅丸方形)	貯蔵穴	P3か
	規模m	6.0×(6.2)	入口	不明	
	主軸	N20°E	炉・竈	形状	削平されてなし
	壁高cm	31		規模cm	
	状態	やや緩やか		特記事項	
出土遺物 (第102図)					
甕 高坏					
編物石					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物		

⑭S B25 (第18図)

検出位置	BA-26	覆土			
重切る	なし	床面	中央部堅固な貼床		
複切られる	SB12	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		(隅丸方形)	貯蔵穴	
	規模m	4.3×4.6	入口		
	主軸	N65°E	炉・竈	形状	不明
	壁高cm	31		規模cm	不明
	状態	緩やか		特記事項	
出土遺物 (第102・148図)					
甕 高坏					
土製紡錘車					
特記事項					
時期	古墳時代中期	根拠	出土遺物・遺構切り合い		

㊦ S B 26 (第19図)

検出位置	BY-12		覆土		
重切る	なし		床面	軟弱	
	切られる	なし		主柱穴	P1・P2か
規模・形状	プラン	(方形)	住居内施設	貯蔵穴	
	規模m	(2.5)×3.9		入口	
	主軸	N37°E		炉・電	形状
	壁高cm	29	規模cm		(35)×75
	状態	ほぼ垂直		特記事項	焼土が床面より高いため炉址でない可能性がある
出土遺物 (第102図)					
高環					
特記事項					
時期	古墳時代中期		根拠	出土遺物	

㊦ S B 27 (第19図)

検出位置	AS-24		覆土	図版参照	
重切る	なし		床面	堅固	
	切られる	SB07		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設	貯蔵穴	
	規模m	5.0×(3.3)		入口	
	主軸	N13°W		炉・電	形状
	壁高cm	42	規模cm		不明
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第102図)					
甕					
特記事項					
焼土却家屋					
住居址の2/3が天竜川によって浸蝕されている。					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

㊸SB28 (第19図)

検出位置	AX-35	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR7/8黄橙が50%混じる)		
重切る	なし	床面	軟弱で不明瞭		
複切られる	SD12	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		(方形)	貯蔵穴	
	規模m	(2.5)×3.4	入口		
	主軸	N30°E	炉・竈	形状	不明
	壁高cm	13		規模cm	不明
	状態	緩やか		特記事項	
出土遺物 (第103図)					
甕					
特記事項					
時期	古墳時代後期か	根拠	出土遺物		

㊸SB29 (第20図)

検出位置	BA-43	覆土	単層10YR4/4 褐色土		
重切る	なし	床面	貼床		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	3.4×3.6	入口		
	主軸	N120°E	炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	25		規模cm	80×80
	状態	やや緩やか		特記事項	
出土遺物 (第103図)					
甕 坏					
編物石					
特記事項					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物		

㊦ S B32 (第21図)

検出位置	BM-39	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色が5%混じる)	
重切る	なし	床面	堅固な貼床	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P3か 1つは攪乱に切られている可能性あり	
規模・形状	プラン		貯蔵穴	
	規模m		入口	
	主軸		炉・竈	形状 地床炉
	壁高cm			規模cm 70×84
状態	やや緩やか	特記事項		
出土遺物 (第103・137図)				
甕 砥石 編物石				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦ S B33 (第21図)

検出位置	BO-36	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が3%混じる)	
重切る	S B52	床面	部分的に堅固	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン		貯蔵穴 P5か	
	規模m		入口 P6か	
	主軸		炉・竈	形状 新：炉縁石を有する地床炉 旧：地床炉
	壁高cm			規模cm 新：53×37 旧：53×40
状態	ほぼ垂直	特記事項 新炉は炉奥に人頭大甕が2つ並ぶ		
出土遺物 (第103・137図)				
甕 甕 高坏 ミニチュア土器 編物石 敲打器				
特記事項				
焼失却家屋 炉のみ改築				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦SB37 (第22図)

検出位置	BH-40	覆土	図版参照		
重切る	なし	床面	中央部貼床で堅固		
覆切られる	SB17	住居内施設	主柱穴 P1~P4		
規模・形状	プラン		方形	貯蔵穴 P7か	
	規模m		6.0×5.3	入口 P5 土手状縁部あり	
	主軸		N55°E	炉・電	形状 地床炉
	壁高cm		78		規模cm 32×32
状態	ほぼ垂直	特記事項			
出土遺物 (第104・137図)					
壺 甕 高坏 小型丸底壺					
磨石 編物石					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

㊦SB39 (第23図)

検出位置	BD-45	覆土	図版参照		
重切る	なし	床面	明確		
覆切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P3・P7か		
規模・形状	プラン		方形	貯蔵穴 P6か	
	規模m		5.6×5.7	入口 P5 入口部が全体にテラス状になる	
	主軸		N7°E	炉・電	形状 地床炉
	壁高cm		54		規模cm 46×31
状態	ほぼ垂直	特記事項			
出土遺物 (第104図)					
壺 甕 台付甕 高坏 小型丸底壺					
編物石					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

㊸SB40 (第24図)

検出位置	AR-46	覆土	図版参照
重切る	なし	床面	中央部堅固で全体に貼床
複切られる	ST01・02	住居内施設	主柱穴 P1~P4
プラン	方形		貯蔵穴 P5・P6か
規模・形状	規模m	入口	
	主軸	炉・電	形状 地床炉
	壁高cm	規模cm	45×29
	状態	特記事項	炉址奥にピットあり
出土遺物 (第105・138図)			
壺 甕 瓶 高坏 小型丸底壺 打製石斧 挟入打製石庖丁 横刃型石器 編物石			
特記事項 焼失却家屋			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物

㊸SB41 (第25図)

検出位置	AY-49	覆土	図版参照
重切る	なし	床面	中央部堅固で全面貼床
複切られる	ST04	住居内施設	主柱穴 P1~P4
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P5
規模・形状	規模m	入口	
	主軸	炉・電	形状 石芯粘土甕
	壁高cm	規模cm	102×98
	状態	特記事項	
出土遺物 (第106・138図)			
壺 甕 坏 高坏 小型丸底壺 磨製石庖丁 横刃型石器 編物石			
特記事項 焼失却家屋			
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物

㊦SB42 (第26図)

検出位置	BD-0	覆土	単層10YR3/2 黒褐色土		
重切る	なし	床面	中央部堅固で全体貼床		
覆切られる	ST05	住居内施設	主柱穴 P1~P4		
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴 P6	
	規模m		4.2×4.0	入口	
	主軸		N138°E	炉・竈	
	壁高cm		40	形状	粘土電
	状態		ほぼ垂直	規模cm	90×90
		特記事項	破壊されている		
出土遺物 (第106・149図)					
甕 甕 坏 高坏 玉					
特記事項 焼失却家屋					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物		

㊦SB43 (第27図)

検出位置	AY-3	覆土	単層10YR3/2 黒褐色土		
重切る	なし	床面	軟弱		
覆切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4		
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴 P5か	
	規模m		4.3×4.6	入口	
	主軸		N75°W	炉・竈	
	壁高cm		31	形状	破壊されており不明
	状態		緩やか	規模cm	不明
		特記事項	火床のみ残存		
出土遺物 (第106・138図)					
甕 鉢 坏 須恵器蓋坏 編物石 打製石斧 (混入品)					
特記事項					
時期	古墳後期	根拠	出土遺物		

㊦ S B 44 (第27図)

検出位置	BM-44	覆土	単層	
重切る	なし	床面	中央部堅固で全面貼床	
複切られる	S B 45	住居内施設	主柱穴 P 1 ~ P 4	
プラン	隅九方形		貯蔵穴	
規模m	5.0×5.3		入口	
主軸	N40°W		炉・竈	形状 地床炉
壁高cm	54			規模cm
状態	ほぼ垂直	特記事項	炉址奥に間仕切りと思われる溝あり	
出土遺物 (第107・108・109図) 壺 甕 台付甕 高坏 小型丸底壺 編物石				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦ S B 48 (第28図)

検出位置	BB-47	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	貼床	
複切られる	SB41 ST03-04 SK16-17	住居内施設	主柱穴 P 1 ~ P 4	
プラン	方形		貯蔵穴	P 5
規模m	4.6×4.7		入口	
主軸	N38°W		炉・竈	形状 地床炉
壁高cm	52			規模cm
状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第109・138図) 壺 坏 高坏 有肩扁状形石器 編物石				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦ S B 50 (第29・30図)

検出位置	BH-1	覆土	図版参照
重切る	S B 50	床面	中央部堅固で貼床
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P 1 ~ P 4
プラン	方形		貯蔵穴 P 5か
規模・形状	規模m	7.2×6.8	入口
	主軸	N58°W	炉・竈
	壁高cm	46	
	状態	ほぼ垂直	規模cm
特記事項			
出土遺物 (第109・110・149図)			
壺 甕 椀 杯			
罏物石			
白玉			
特記事項			
焼失却家屋			
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物

㊧ S B 51 (第28図)

検出位置	BK-49	覆土	単層10YR4/3鈍い黄褐色土
重切る	なし	床面	軟弱
複切られる	S B 49・50	住居内施設	主柱穴 不明
プラン	方形		貯蔵穴
規模・形状	規模m	5.2×5.8	入口
	主軸	N50°W	炉・竈
	壁高cm	18	
	状態	やや緩やか	規模cm
特記事項			
出土遺物 (第110・149図)			
壺 高杯			
白玉			
特記事項			
焼失却家屋			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・住居址形態・切り合い

㊦ S B52 (第31図)

検出位置	BP-38	覆土		
重切る	なし	床面	中央部堅固な粘床	
複切られる	S B33	住居内施設	主柱穴 P1・P3・P4	
規模・形状	プラン		貯蔵穴	
	規模m	入口		
	主軸 (N42°W)	炉・竈	形状	地床炉
	壁高cm		規模cm	15×11
	状態	ほぼ垂直	特記事項	
出土遺物 (第110・138図) 壺 甕 高坏 有肩扇状形石器				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦ S B53 (第31図)

検出位置	BV-37	覆土	単層10YR3/3暗褐色土	
重切る	なし	床面	不明で掘り方を確認した	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン		貯蔵穴	
	規模m	入口		
	主軸 (N50°E)	炉・竈	形状	
	壁高cm		規模cm	
	状態	ほぼ垂直	特記事項	炉址があったと思われるが不明
出土遺物 (第111・138図) 壺 甕 高坏 袂入打製石庖丁 有肩扇状形石器				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊸ S B 54 (第32図)

検出位置	BU-42	覆土	単層10YR4/4褐色土		
重切る	S B 65	床面	中央部堅固な貼床		
覆切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
プラン	方形		貯蔵穴		
規模m	6.3×6.5		入口		
主軸	N44°W		炉・竈	形状	炉跡石を有する地床炉
壁高cm	37			規模cm	(40)×(40)
状態	やや緩やか	特記事項	図では周辺の焼土も図示してある。		
出土遺物 (第111・112・139図)					
壺 甕 高坏 小型丸底壺					
有肩盾状形石器					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

㊸ S B 55 (第33図)

検出位置	BP-46	覆土	なし		
重切る	なし	床面	明確な貼床		
覆切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴		
規模m	(4.6)×(4.3)		入口		
主軸	(N35°W)		炉・竈	形状	
壁高cm	5			規模cm	
状態	ほとんどなし	特記事項	床面に焼土があるが不明		
出土遺物					
図示できる遺物なし					
特記事項					
時期	古墳時代後期か	根拠	住居址形態		

④ S B 58 (第33図)

検出位置	BU-2	覆土	単層10YR5/6黄褐色土				
重切る	なし	床面	堅固な貼床				
	切られる		SB61・SK19	住居内施設	主柱穴	P1~P4か	
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴		P6か	炉・電	入口
	規模m	5.3×5.4	形状	地床炉か	特記事項		電の可能性もあるか*詳細不明
	主軸	N14°E	規模cm				
	壁高cm	45					
	状態	ほぼ垂直					
出土遺物 (第112・139図)							
甕 鉢 坏 高坏							
挟入打製石庵丁							
特記事項							
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物				

④ S B 60 (第34図)

検出位置	AD-2	覆土	単層10YR4/6褐色土				
重切る	SB83	床面	中央部に貼床があり堅固				
	切られる		なし	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	方形	貯蔵穴		P8	炉・電	入口
	規模m	5.7×5.9	形状	地床炉	特記事項		規模cm
	主軸	N18°E					
	壁高cm	50					
	状態	ほぼ垂直					
出土遺物 (第112・113・114・139図)							
壺 甕 台付甕 鉢 坏 高坏 小型丸底壺							
挟入打製石庵丁 有肩扇形状石器 編物石							
特記事項							
焼失却家屋							
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物				

㊤S B61 (第34図)

検出位置	BV-3	覆土	単層10YR5/6黄褐色土		
重切る	SB58	床面	貼床なく特に堅固ではない		
複切られる	SK19	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	(3.5)×4.0	入口		
	主軸	N34°W	炉・電	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	17		規模cm	
	状態	緩やか		特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第115・139図)					
嬰高坏					
块入打製石施丁					
特記事項					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・切り合い		

㊤S B62 (第35図)

検出位置	AL-14	覆土	単層10YR3/4暗褐色土		
重切る	なし	床面	貼床明確で堅固		
複切られる	SD16	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		方形	貯蔵穴	
	規模m	(4.3)×4.9	入口		
	主軸	N33°E	炉・電	形状	地床炉
	壁高cm	19		規模cm	15×15
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第115・139図)					
壺					
打製石斧 (混入品)					
特記事項					
時期	古墳時代中期後半	根拠	住居域形態		

㊸S B64 (第35図)

検出位置	AH-18	覆土	単層10YR3/4暗褐色土
重切る	なし	床面	堅固
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 新: P1~P4 IB: P7~P10
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P5か
規模・形状	規模m	4.5×4.7	入口 新: P6 IB: P11
	主軸	N60°W	炉・電
	壁高cm	56	
	状態	ほぼ垂直	規模cm 新: 35×35 IB: 40×30
出土遺物 (第115・116・139・148図)			
壺 甕 鉢 高坏			
扶入打製石庖丁 打製石庖丁 磨石			
石製紡錘車			
特記事項			
焼失却家屋			
炉址と主柱穴の改築が見られる。			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物

㊸S B65 (第36図)

検出位置	BT-41	覆土	
重切る	なし	床面	貼床堅固で明確
複切られる	S B54	住居内施設	主柱穴 不明
プラン	方形		貯蔵穴
規模・形状	規模m	4.0×(2.6)	入口
	主軸	N38°W	炉・電
	壁高cm	37	
	状態	ほぼ垂直	規模cm 36×(28)
特記事項			
北西壁際に焼土があるがこれが炉址と思われる			
出土遺物 (第116図)			
高坏 小型九底壺			
編物石			
特記事項			
焼失却家屋			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・切り合い

④S B66 (第36図)

検出位置	AF-14	覆土		
重切る	なし	床面	堅固	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン (方形)		貯蔵穴	
	規模m	4.9×(2.9)	入口	
	主軸	不明	炉・電	形状
	壁高cm	59	規模cm	
状態	ほぼ垂直	特記事項	調査区外により不明	
出土遺物 (第116・117・139図)				
壺 甕 鉢 高坏				
挟入打製石廂丁				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

④S B69 (第36図)

検出位置	BP-6	覆土	単層10YR4/1褐灰色土(10YR7/5明黄褐色土がブロック状に混じる)		
重切る	なし	床面	明確な貼床		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	3.8×3.5	入口		
	主軸	N26°E	炉・電	形状	炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	51	規模cm	34×26	
状態	ほぼ垂直	特記事項			
出土遺物 (第117図)					
高坏					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

㊸SB73 (第37図)

検出位置	AE-46	覆土	10YR4/4褐色土	
重切る	SB56	床面	軟弱	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン		方形	貯蔵穴 P5
	規模m	5.0×5.3	入口 P6	
	主軸	N27°E	炉・電	形状 地床炉
	壁高cm	50		規模cm 29×17
	状態	やや緩やか		特記事項
出土遺物 (第117・148図) 甕 坏 高坏 小型九底甕 磨製石鏃				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊸SB75 (第38図)

検出位置	BW-10	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	堅固	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン		方形	貯蔵穴
	規模m	6.6×6.6	入口 P9 土手状縁部あり	
	主軸	N69°E	炉・電	形状 炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	62		規模cm 50×52
	状態	ほぼ垂直		特記事項
出土遺物 (第117・118・139・149図) 壺 甕 高坏 小型九底甕 ミニチュア土器 打製石斧 挟入打製石庖丁 礪物石 白玉				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦SB77 (第37図)

検出位置	BY-3	覆土	単層	
重切る	SB85	床面	全体に堅固な貼床	
複切られる	SB59	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン		方形	貯蔵穴 P5・P6か
	規模m	5.1×5.0	入口 南西壁側土手状縁部あり	
	主軸	N50°E	炉・電	形状 炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	51		規模cm 64×48
	状態	ほぼ垂直	特記事項	
出土遺物 (第118・139図) 壺 甕 鉢 高坏 小型丸底壺 有肩扇状形石器 繩物石				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦SB78 (第39図)

検出位置	BT-48	覆土	単層10YR4/3鈍い黄褐色土	
重切る	なし	床面	中央部堅固な貼床	
複切られる	SB70・74・79	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴 P11・P12か
	規模m	5.5×5.9	入口 P5~P7 土手状縁部あり	
	主軸	N65°E	炉・電	形状 炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	46		規模cm 36×21
	状態	ほぼ垂直	特記事項	
出土遺物 (第118・119図) 甕 高坏 小型丸底壺 繩物石				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦SB79 (第39図)

検出位置	BR-48	覆土	単層10YR4/3鈍い黄褐色土
重切る	SB78	床面	軟弱
複切られる	SB70・74	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン (隅丸方形)		貯蔵穴
	規模m	入口	
	主軸	炉・電	形状
	壁高cm		規模cm
	状態		ほぼ垂直
出土遺物 図示できるものはない			
特記事項 焼失却家屋 多くの住居址に切られて詳細不明			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・切り合い

㊦SB80 (第40図)

検出位置	BN-4	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	全面堅固な粘床	
複切られる	SB68・82	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン 方形		貯蔵穴 P5・P6か	
	規模m	6.5×7.3	入口	
	主軸	N46°E	炉・電	形状 石芯粘土電
	壁高cm	60		規模cm 138×134
	状態	ほぼ垂直		特記事項
出土遺物 (第119・120・140図) 甕 坏 須恵器甕坏 高坏 挟入打製石庖丁 敲打器 磨物石				
特記事項 焼失却家屋				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

㊦SB81 (第38図)

検出位置	AA-0	覆土	単層10YR5/3鈍い黄褐色土	
重切る	SB85	床面	堅固な貼床	
複切られる	SB72・76	住居内施設	主柱穴 P1-P4	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴	
規模m	4.7×5.2		入口	
主軸	N3°E		炉・電	形状 地床炉
壁高cm	39			規模cm
状態	やや緩やか	特記事項		
出土遺物 (第120・140図) 高坏 小型丸底壺 挟入打製石砲丁				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・切り合い	

㊦SB82 (第41図)

検出位置	BN-4	覆土	単層	
重切る	SB80	床面	不明瞭で掘り過ぎてしまった	
複切られる	SB68	住居内施設	主柱穴 不明	
プラン	(隅丸長方形)		貯蔵穴	
規模m	(4.9)×(6.1)		入口	
主軸	N49°W		炉・電	形状 石芯粘土電
壁高cm	48			規模cm
状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第120図) 甕 坏 須恵器蓋坏 高坏				
特記事項				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・切り合い	

㊦ S B 83 (第42図)

検出位置	AE-49	覆土	単層10YR6/4鈍い黄褐色土
重切る	なし	床面	全面堅固な貼床
複切られる	S B 60	住居内施設	主柱穴 P 1 ~ P 3
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P 4
規模m	4.3×5.1		入口 P 5 南東壁階土手状縁部あり
主軸	N44°W		炉形状 地床炉
壁高cm	12		規模cm 46×40 36×40
状態	やや緩やか		特記事項 2箇所あるが新旧不明
出土遺物 (第120・140図) 甕 高坏 扶入打製石庖丁			
特記事項			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・住居址形態・切り合い

㊦ S B 84 (第42図)

検出位置	BW-0	覆土	
重切る	なし	床面	あまり堅固ではないが明確
複切られる	S B 59・72・85	住居内施設	主柱穴 不明
プラン	(隅丸長方形)		貯蔵穴
規模m	(3.9)×2.2		入口
主軸	不明		炉形状
壁高cm	19		規模cm
状態	やや緩やか		特記事項
出土遺物 図示できるものはない			
特記事項			
時期	古墳時代中期後半か	根拠	切り合い

㊦ S B 85 (第43図)

検出位置	BX-1	覆土	単層10YR6/8明黄褐色土		
重視	切る	S B 84	床面	中央部堅固	
	切られる	S B 59・77・81		主柱穴	P 1～P 4
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	貯蔵穴	
	規模m	4.9×4.9		入口	P 6 土手状縁部あり
	主軸	N53°W	炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉 地床炉
	壁高cm	44		規模cm	35×23 40×28
	状態	やや緩やか		特記事項	2箇所あるが新旧不明
出土遺物 (第120・140図)					
甕 高坏 小型丸底甕					
砾石					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物・切り合い	

㊦ S B 86 (第42図)

検出位置	AF-8	覆土			
重視	切る	なし	床面	明確	
	切られる	S K 25・26		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設	貯蔵穴	
	規模m	(2.1)×(2.2)		入口	
	主軸	不明	炉・竈	形状	
	壁高cm	30		規模cm	
	状態	やや緩やか		特記事項	不明
出土遺物 (第120図)					
高坏					
特記事項					
多くが未調査部分であり詳細不明					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

㊦SB88 (第43図)

検出位置	AI-8	覆土	単層10YR5/4鈍い黄褐色土		
重切	なし	床面	堅固		
複切	なし	住居内施設	主柱穴 不明		
規模・形状	プラン		(隅丸方形)	貯蔵穴	
	規模m		(1.1)×4.7	入口	
	主軸		不明	炉・電	形状
	壁高cm		12		規模cm
状態	やや緩やか	特記事項	不明		
出土遺物 (第120・140図)					
要 挿入打製石刃丁 打製石斧					
特記事項 多くが未調査であり、詳細不明					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物		

㊦SB89 (第44図)

検出位置	BT-20	覆土	単層		
重切	なし	床面	北東壁際が堅固		
複切	なし	住居内施設	主柱穴 なし		
規模・形状	プラン		方形	貯蔵穴 P1か	
	規模m		3.9×4.2	入口	
	主軸		N71°W	炉・電	形状
	壁高cm		15		規模cm
状態	やや緩やか	特記事項	火床のみである		
出土遺物 (第120図)					
要					
特記事項					
時期	古墳時代後期	根拠	住居址形態・出土遺物		

◎SB90 (第44図)

検出位置	BX-22	覆土	単層
重切る	なし	床面	堅固
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1・P2
規模・形状	プラン (隅丸方形)		貯蔵穴 P5か
	規模m 5.6×(4.3)		入口
	主軸 真北		形状
	壁高cm 27		規模cm
状態 やや緩やか	特記事項	火床のみ残存	
出土遺物 (第121・140図)			
甕鉢 坏 高坏 打製石斧			
特記事項 住居の半分が流失			
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物

◎SB91 (第45図)

検出位置	AB-21	覆土	単層	
重切る	なし	床面	堅固で明確	
複切られる	SB92	住居内施設	主柱穴 不明	
規模・形状	プラン (方形)		貯蔵穴 P1	
	規模m (1.7)×(4.2)		入口	
	主軸 北89°E		形状	石芯粘土電
	壁高cm 17		規模cm	84×107
状態 やや緩やか	特記事項			
出土遺物 (第121図)				
甕				
特記事項				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・切り合い	

㊦ S B92 (第44図)

検出位置	AC-21	覆	土		
重切る	SB91	床	面	堅固	
複切られる	SB98	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		貯蔵穴		
	(隔九方形)		入口		
	規模m		(2.5)×(2.4)	炉・電	形状
	主軸		不明	規模cm	
壁高cm	32	特記事項	不明		
状態	ほぼ垂直				
出土遺物 (第121図)					
壺					
特記事項					
住居址の多くが流失している					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・切り合い		

㊦ S B93 (第45図)

検出位置	AG-23	覆	土	単層	
重切る	SB94・99	床	面	堅固で明確	
複切られる	SB98	住居内施設	主柱穴	P1・P2	
規模・形状	プラン		貯蔵穴		
	規模m		4.6×(3.5)	入口	
	主軸		N163°W	炉・電	形状
	壁高cm		26	規模cm	
状態	やや緩やか	特記事項	火床のみ残存		
出土遺物 (第121・122図)					
壺 環 須恵器蓋 高 高 高 高					
特記事項					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・切り合い		

㊦SB95 (第46図)

検出位置	AD-6	覆土	単層10YR4/3 鈍い黄褐色土	
重切る	SB97	床面	堅固な粘土	
複切られる	SB87	住居内施設	主柱穴 P1~P4	
規模・形状	プラン			方形
	規模m	6.4×6.3	入口	
	主軸	N41°E	炉・電	形状
	壁高cm	52		新：炉雑石を有する地床炉 旧：地床炉
	状態	ほぼ垂直	規模cm	新：40×35 旧：20×20
		特記事項		
出土遺物 (第123・140図)				
壺鉢 高坏 小型九底壺 袂入打製石庖丁				
特記事項 炉址の改築が見られる				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊦SB96 (第47図)

検出位置	A1-3	覆土		
重切る	なし	床面	明確	
複切られる	SD19	住居内施設	主柱穴 P1	
規模・形状	プラン			方形
	規模m	6.2×(6.0)	入口	
	主軸	N43°E	炉・電	形状
	壁高cm	30		地床炉
	状態	やや緩やか	規模cm	21×20
		特記事項		
出土遺物 (第123・124図)				
壺 甕 高坏				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

◎SB97 (第47図)

検出位置	AF-6	覆土	単層10YR5/6黄褐色土	
重切る	なし	床面	中央部堅固な貼床	
複切られる	SB95・SD19	住居内施設	主柱穴 P1~P3	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴	
規模・形状	規模m	4.5×5.0	入口	
	主軸	N27°W	炉・竈	炉形状 炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	23		規模cm 38×37
	状態	ほぼ垂直	特記事項	
出土遺物 (第124・140図) 甕 高坏 他成組物 分銅形石弁 (混入品)				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・住居址形態	

◎SB98 (第48図)

検出位置	AE-22	覆土	単層	
重切る	SB92・93・99	床面	堅固で明確	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴 P1・P2	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴	
規模・形状	規模m	5.4×(3.8)	入口	
	主軸	N11°E	炉・竈	炉形状 石芯粘土竈
	壁高cm	56		規模cm 94×100
	状態	ほぼ垂直	特記事項	
出土遺物 (第124・149図) 甕 甕坏 白玉				
特記事項 住居の半分以上が流失				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

(3)平安時代

①S B05 (第49図)

検出位置	A O-35	覆土	単層10YR4/2黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が5%混じる)		
重切る	なし	床面	中央部堅固であるが全体にグライ化しており不明瞭		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		隅丸長方形	貯蔵穴	
	規模m	4.4×3.4	入口		
	主軸	N58°E	炉・電	形状	
	壁高cm	28		規模cm	
	状態	やや緩やか		特記事項	火床のみ残存
出土遺物 (第125図)					
土師器長胴甕・甕 須恵器坏					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

②S B06 (第49図)

検出位置	A U-40	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が1%混じる)		
重切る	なし	床面	明確であるが脆弱		
複切られる	S D12	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		隅丸長方形	貯蔵穴	
	規模m	5.0×3.8	入口		
	主軸	N66°E	炉・電	形状	石芯粘土甕
	壁高cm	15		規模cm	130×135
	状態	やや緩やか		特記事項	
出土遺物 (第125図)					
土師器甕 須恵器甕・坏・蓋 網物石					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

③SB15 (第50図)

検出位置	AW-31	覆土	不明	
重切る	SB11・36	床面	不明瞭	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明
プラン	(隅丸長方形)		貯蔵穴	
規模・形状	規模m	(4.1)×(2.8)	入口	
	主軸	N22°W	炉・電	形状 (石芯粘土電)
	壁高cm	0	規模cm	
	状態	壁なし	特記事項	火床が残存するのみ
出土遺物				
図示できるものはない。				
特記事項				
時期	平安時代か	根拠	切り合い	

④SB17 (第51図)

検出位置	BH-40	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	軟弱で不明瞭のため掘り過ぎてしまった。	
複切られる	SB37	住居内施設	主柱穴	なし
プラン	隅丸方形		貯蔵穴	
規模・形状	規模m	新:4.0×3.8 旧:3.8×4.0	入口	
	主軸	新:N28°E 旧:N121°E	炉・電	形状 新旧共に石芯粘土電
	壁高cm	47	規模cm	
	状態	ほぼ垂直	特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第125・126・141図)				
土師器長胴甕・甕 須恵器甕・坏・蓋 有肩扇形状石器				
特記事項				
改築の跡が見られる。				
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物	

⑤S B30 (第50図)

検出位置	BB-41	覆土	単層		
重切る	なし	床面	堅固な貼床		
根切られる	なし	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン		隅丸長方形	貯蔵穴	P1
	規模m	4.4×3.3	入口		
	主軸	N54°W	炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	36		規模cm	85×115
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第126図)					
土師器長胴甕・甕・碗 須恵器坏 灰軸陶器皿					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

⑥S B31 (第52図)

検出位置	B J-35	覆土	10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が3%混じる)		
重切る	なし	床面	堅固な貼床		
根切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン		隅丸長方形	貯蔵穴	
	規模m	4.2×5.5	入口		
	主軸	N59°E	炉・竈	形状	(石芯粘土竈)
	壁高cm	11		規模cm	100×120
	状態	緩やか		特記事項	上部削平のため、詳細不明
出土遺物 (第126・127図)					
土師器長胴甕・甕 須恵器坏					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

㊦ S B 35 (第52図)

検出位置	BB-28	取土	単層10YR5/3鈍い黄褐色土(10YR8/6黄褐色土がブロック状に混じる)		
重切る	SB12	床面	堅固		
複切られる	なし	住居内施設 炉・電	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		隅丸長方形	貯蔵穴	
	規模m		4.0×4.7	入口	
	主軸		N15°E	形状	(石芯粘土電)
	壁高cm		23	規模cm	
	状態		やや緩やか	特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第127図) 土師器甕 須恵器長頸壺・環・蓋					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

㊧ S B 36 (第53図)

検出位置	AW-31	取土	単層		
重切る	SB11	床面	不明瞭のため掘り過ぎてしまった		
複切られる	SB15	住居内施設 炉・電	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m		3.4×3.6	入口	P6か
	主軸		N37°W	形状	
	壁高cm		27	規模cm	
	状態		ほぼ垂直	特記事項	火床が残存するのみ
出土遺物 (第127図) 土師器甕・環 須恵器環 灰釉陶器碗 織物石					
特記事項 焼失却家屋					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

㊦ S B 45 (第53図)

検出位置	B J - 44	覆土	単層10YR4/4褐色土			
重切る	S B 44	床面	竈前面が堅固			
複切られる	S B 46・49 S A 01	住居内施設	主柱穴	なし		
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	P 1	
	規模m		5.2×(5.3)	入口		
	主軸		N43°W	炉・電	形状	(石芯粘土竈)
	壁高cm		14		規模cm	
状態	やや緩やか	特記事項	残骸のみ			
出土遺物 (第127・141図) 土師器甕 須恵器甕・坏 挟入打製石庖丁						
特記事項 焼失却家屋						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物			

㊦ S B 46 (第53図)

検出位置	B I - 45	覆土	削平されており不明			
重切る	S B 45	床面	削平されており不明			
複切られる	S A 01	住居内施設	主柱穴			
規模・形状	プラン		不明	貯蔵穴	P 1	
	規模m		3.3×(2.3)	入口		
	主軸		不明	炉・電	形状	
	壁高cm		4		規模cm	
状態	やや緩やか	特記事項	不明			
出土遺物 (第127図) 須恵器坏						
特記事項 焼失却家屋						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物			

①SB47 (第54図)

検出位置	BH-46	覆土	崩平されており不明			
重切る	なし	床面	部分的に堅固			
複切られる	SB47	住居内施設	主柱穴	なし		
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	P1	
	規模m		5.0×5.2	入口		
	主軸		N42°W	炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm		23		規模cm	100×(120)
状態	ほぼ垂直	特記事項				
出土遺物 (第127・128図) 土師器長胴甕 須恵器甕・坏						
特記事項 焼失却家屋						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物			

②SB49 (第54図)

検出位置	BJ-46	覆土				
重切る	SB47・51	床面	中央部堅固な貼床			
複切られる	SK12・15	住居内施設	主柱穴	なし		
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	P1	
	規模m		4.8×4.3	入口		
	主軸		N46°W	炉・竈	形状	(壁を掘込む石芯粘土竈)
	壁高cm		34		規模cm	87×75
状態	ほぼ垂直	特記事項	破壊されており詳細は不明			
出土遺物 (第128図) 土師器甕・坏・皿 須恵器長頸壺・甕・坏・碗 灰釉陶器碗・皿						
特記事項 焼失却家屋 曇書(判読不能)のある灰釉陶器出土						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物			

⑬S B59 (第55図)

検出位置	BX-1	覆 土			
重 切 る	S B77・84・85	床 面	不明瞭		
複 切られる	なし	住 居 内 地 敷	主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン		(方 形)	貯 蔵 穴	
	規 模m		4.1×(4.0)	入 口	
	主 軸		不明	形 状	
	壁 高cm		43	規 模cm	
	状 態		やや緩やか	特記事項	不明
出土遺物 (第128図)					
灰軸陶器碗					
特記事項					
時 期	平安時代前半	根 拠	出土遺物		

⑭S B67 (第55図)

検出位置	BJ-5	覆 土	単層10YR3/4暗褐色土		
重 切 る	なし	床 面	明確		
複 切られる	なし	住 居 内 地 敷	主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン		隅丸方形	貯 蔵 穴	P 4
	規 模m		4.2×4.2	入 口	
	主 軸		N41°E	形 状	石芯粘土電
	壁 高cm		50	規 模cm	70×160
	状 態		ほぼ垂直	特記事項	
出土遺物 (第128・129・141図)					
長胴甕 須恵器甕・坏 灰軸陶器長頸壺・碗・壺 袈入打製石庖丁 有肩扇状形石器					
特記事項					
時 期	平安時代前半	根 拠	出土遺物		

㊦ S B 68 (第56図)

検出位置	BN-4	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土		
重切る	S B 80・82	床面	不明瞭で軟弱		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	なし	
プラン	隅丸長方形		貯蔵穴	なし	
規模・形状	規模m	3.8×3.5	入口		
	主軸	N120°E	炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	37		規模cm	100×70
	状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第129・148図)					
灰釉陶器碗・皿					
横刃型石器 礪物石					
石製紡錘車					
特記事項					
時期	平安時代後半	根拠	出土遺物・住居址形態		

㊦ S B 70 (第56図)

検出位置	BT47	覆土			
重切る	S B 74・78	床面	不明瞭		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P 1～P 3・P 5	
プラン	隅丸方形		貯蔵穴	P 4	
規模・形状	規模m	3.6×3.8	入口		
	主軸	N50°W	炉・竈	形状	壁を掘り込む石芯粘土竈
	壁高cm	23		規模cm	100×50
	状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第129図)					
土師器壺・坏・皿 灰釉陶器碗					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

⑬SB71 (第57図)

検出位置	BW-48	覆土	削平されている		
重切る	なし	床面	不明瞭		
複切られる	SB72	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	(3.9)×(4.1)	入口		
	主軸	不明	炉・電	形状	不明
	壁高cm	0		規模cm	
	状態	壁なし		特記事項	芯材の端方と思われるものが残る
出土遺物 (第129図) 須恵器坏					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物・切り合い		

⑭SB72 (第58図)

検出位置	BX-48	覆土			
重切る	SB71・76・81・84	床面	堅固な貼床		
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン		隅丸長方形	貯蔵穴	P7
	規模m	3.4×3.9	入口		
	主軸	N138°W	炉・電	形状	石芯粘土電
	壁高cm	9		規模cm	88×150
	状態	緩やか		特記事項	
出土遺物 (第129図) 土師器坏・碗 灰釉陶器皿					
特記事項 焼失却家屋					
時期	平安時代後半	根拠	出土遺物		

㊸ S B 74 (第57図)

検出位置	BS-47	覆土	単層10YR4/2灰褐色土
重切る	SB78・79	床面	堅固な貼床
複切られる	SB70	住居内施設	主柱穴 不明
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 P9か
規模・形状	規模m	4.4×4.7	入口
	主軸	N43°E	炉・竈
	壁高cm	44	
	状態	ほぼ垂直	規模cm
		特記事項	竈は切り合いのため破壊されており不明
出土遺物 (第129・130図)			
土師器長胴壺・環・碗・皿 須恵器壺・環・皿 灰釉陶器長頸壺・碗・皿 手づくね土器			
特記事項			
P9より大量に遺物が出土している。			
時期	平安時代前半	根拠	出土土器

㊸ S B 76 (第59図)

検出位置	AA-48	覆土	単層10YR5/4鈍い黄褐色土
重切る	SB81	床面	明確で堅固
複切られる	SB72	住居内施設	主柱穴 なし
プラン	隅丸長方形		貯蔵穴
規模・形状	規模m	4.1×3.6	入口
	主軸	N49°E	炉・竈
	壁高cm	18	
	状態	緩やか	規模cm
		特記事項	
出土遺物 (第131図)			
長胴壺			
特記事項			
時期	平安時代前半	根拠	住居址形態

㊦ S B 87 (第59図)

検出位置	AD-8	覆土		
重切る	なし	床面	堅固で明確	
複切られる	S B 95	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン		(隅丸方形)	貯蔵穴
	規模m	(2.8)×4.8	入口	
	主軸	不明	炉形状	
	壁高cm	13	規模cm	
	状態	ほぼ垂直	特記事項	不明
出土遺物 (第131図)				
土師器甕 須恵器坏				
特記事項				
時期	平安時代前半	根拠	出土土器	

(4)不明

㊦ S B 03 (第60図)

検出位置	AR-29	覆土	削平によりなし	
重切る	S B 21	床面	削平によりなし	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン		(隅丸長方形)	貯蔵穴
	規模m	(4.7)×(3.9)	入口	
	主軸	(N23°E)	炉形状	
	壁高cm	0	規模cm	
	状態	不明	特記事項	燻らしき痕跡あり
出土遺物				
図示できる遺物なし				
特記事項				
時期	平安時代か	根拠	切り合い	

②S B24 (第60図)

検出位置	AT-30	覆土	
重切る	SB22	床面	
複切られる	不明	住居内施設	主柱穴
プラン			貯蔵穴
規模・形状	規模m	炉・電	入口
主軸			形状
壁高cm			規模cm
状態			特記事項
出土遺物 なし			
特記事項 鍛冶遺構と思われるか詳細不明			
時期	不明	根拠	

③S B34 (第60図)

検出位置	BQ-29	覆土	
重切る	なし	床面	ほぼ削平されている。
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴
プラン	(方形)		不明
規模・形状	規模m 4.0×(2.5)	炉・電	貯蔵穴
主軸	不明		入口
壁高cm	6		形状
状態	緩やか		規模cm
出土遺物 (第131図) 土師器底部			
特記事項			
時期	不明	根拠	

④ S B 38 (第60図)

検出位置	AW-42	覆土		
重切る	なし	床面	不明瞭で軟弱	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン		貯蔵穴	
	規模m	3.9×4.0	入口	
	主軸	不明	炉・電	形状
	壁高cm	14		規模cm
	状態	やや緩やか	特記事項	なし
出土遺物 (第131図) 土師器甕				
特記事項 住居址の可能性が低い				
時期	古墳時代か	根拠		

⑤ S B 57 (第61図)

検出位置	BP-1	覆土	削平によりなし	
重切る	なし	床面	堅固な貼床	
複切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン		貯蔵穴	
	規模m	(3.6)×(3.8)	入口	
	主軸	不明	炉・電	形状
	壁高cm	0		規模cm
	状態	不明	特記事項	不明
出土遺物 なし				
特記事項				
時期	不明	根拠		

⑥SB94 (第61図)

検出位置	AI-22	覆土			
重切る	なし	床面	明確であるが軟弱		
複切られる	SB93	住居内施設	主柱穴	P2か	
規模・形状	プラン (隅丸方形)		貯蔵穴		
			入口		
			炉・電	形状	地床炉
				規模cm	30×29
				特記事項	
出土遺物	なし				
特記事項	遺構の大半が流失している				
時期	古墳時代の可能性強い	根拠	住居址形態		

⑦SB99 (第61図)

検出位置	AE-23	覆土			
重切る	なし	床面	明確であるが軟弱		
複切られる	SB93・98	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン (方形)		貯蔵穴		
			入口		
			炉・電	形状	
				規模cm	
				特記事項	不明
出土遺物	なし				
特記事項					
時期	古墳時代の可能性強い	根拠	周囲の遺構の状況		

3. 掘立柱建物址 (ST)

No	図No	検出位置	重 複	規 (梁行×桁行) 桁 行 方 向	横 m	柱間m 上梁下桁	覆 土	時代・時期	出土 遺物	備 考
1	62	A U-46	S B40切る	2.9×2.9	1.45	1.45		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
2	62	A Y-46	S B40切る	3.4×3.6	1.7	1.8		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
3	63	B B-47	S B40・48 切る	3.7×3.2	1.9	1.6		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
4	63	B B-48	S B48切る	3.4×3.2	1.7	1.6		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
5	64	B C-49	S B42切る	3.3×3.1	1.7	1.6		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
6	64	A J-14	S B63切る	3.3×1.4	1.6	0.7		中世	なし	時期決定は覆土より

4. 溝 址 (SD)

No	図No	検出位置	重 複	規 (長×大径×大深) (小径×小深)	横 m	主 軸	覆土	時代・時期	出土 遺物	備 考
12	65	A Y-33	S B06-14・18・28 切る	80×4×0.2		N135° E		不明	なし	
13	65	B D-28	S B18	(8.1)×0.9×0.1		N126° E		不明	なし	
14	65	A R-28	S B03・13・21 切る	(9.1)×1.1×0.1		N57° E N132° E N7° E		不明	なし	
15	66	A C-43	なし	(9.6)×1.6×0.2		N51° W		不明	なし	
16	66	A K-14		(11.4)×0.8×0.4		N44° E		不明	なし	
17	66	A P-11	なし	5.3×0.7×0.1		N37° E		不明	なし	
18	66	A L-11	なし	(4.8)×1.1×0.2		N44° E		不明	なし	
19	67	A H-5	S B96切る	(11.7)×1.8×0.4		N104° E		不明	なし	

No	図No	検出位置	重 複	規模(長×大径×大径)m (小×幅×小深)	主 軸	覆土	時代・時期	出土 遺物	備 考
20	68	AN-5	SK23・32 切られる	12×2.1×0.2 0.7×0.1	N38° E		不明	なし	
21	68	AQ-9		4.7×0.4×0.1 0.3×0.6	N52° E		不明	なし	

5. 集 石 (SI)

No	図No	検出位置	規模(長軸×短軸×高)cm	形 態	時代・時期	出 土 遺 物	備 考
01	69	BM-22	110×105×41	円 形	縄文か	なし	
02	69	BW-36	146×130×72	円 形	縄文か	なし	
03	69	AE-27	102×77×27	楕円形	縄文か	なし	
04	70	AE-26	203×58×24	瓢箪形	縄文か	なし	
05	69	AP-0	176×163×22	円 形	縄文か	なし	
06	69	AT-33	276×95×-	不定形	不明	なし	

6. 土 坑 (SK)

No	図No	検出位置	規模(長軸×短軸×深)cm	形 態	時代・時期	出 土 遺 物	備 考
01	71	BA-40	150×125×26	円 形		なし	
02		欠 番					
03	71	BB-32	97×92×70	円 形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
04	71	BB-32	100×97×53	円 形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
05	71	BC-32	93×90×40	円 形	近世	木棺片・銭・櫛	近世墓
06	71	BD-32	100×100×90	円 形	近世	人骨・木棺片	近世墓
07	71	BD-33	90×87×77	円 形	近世	人骨・キセル	近世墓
08	71	BC-32	87×87×74	円 形		横刃型石器	近世墓か
09	71	BD-32	100×95×70	円 形		なし	近世墓か
10	72	BD-33	(127)×96×41	楕円形		なし	近世墓か
11	72	BD-33	102×95×70	円 形		なし	近世墓か
12	72	BK-46	128×108×30	楕円形	近世	人骨・火打石・キセル・銭	近世墓
13	73	BL-47	126×70×45	不定形	近世	人骨・銭	近世墓
14	73	BK-47	104×75×40	不定形	近世	人骨	近世墓
15	72	BK-46	100×79×54	円 形	近世	人骨	近世墓
16	72	BB-48			近世	人骨・木棺片・銭	近世墓

No	図No	検出位置	規模(縦×横×深)cm	形態	時代・時期	出土遺物	備考
17	72	BA-48			近世	銭	近世墓
18	72	BK-46	100×83×47	隅丸長方形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
19	72	BU-3	80×76×24	円形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
20	74	BJ-3	85×70×22	円形	古墳中期後半	小型丸底壺・高坏・双口土器	
21	74	AD-48	67×58×32	円形	平安	長胴甕	時期決定は出土遺物より
22	74	AE-47	80×70×23	円形	平安	長胴甕・須恵器坏	時期決定は出土遺物より
23	74	BW-6	160×69×15	隅丸方形	近世	人骨・木棺片・柄鏡・銭	近世墓
24	74	BV-6	94×94×48	円形	近世	木棺片	近世墓
25	74	AE-8	150(50)×57	不定形	近世か	磁器碗・漆鉢・鉄入打製石彫丁	近世墓か
26	74	AE-9	(87)×76×44	楕円形	平安	灰輪陶器碗	時期決定は出土遺物より
27	74	BV-23	155×112×40	隅丸方形		なし	
28	75	BV-24	75×67×35	隅丸方形		なし	
29	75	AF-29	85×77×20	円形		なし	
30	75	AH-26	70×65×23	円形		なし	
31	75	BU-23	130(87)×20	隅丸方形		なし	
32	75	AN-5	132×80×5	不定形	近世	人骨・櫛・銭	近世墓
33	75	AM-5	97×85×47	円形			

7. 土器集中区

①土器集中区1 (第76・132・141 図)

AS-32を中心として検出した。4.5 m×1 mの範囲に土器・礫が中心に出土した。出土遺物から古墳時代後期に位置付けられる。

②土器集中区2 (第77・132・141 図)

BG-44を中心に、1.8 m×1.5 mの範囲で検出した。本址も土器集中区1と同様、土器・礫が中心に出土している。出土遺物から古墳時代後期後半に位置付けられる。

8. 杭列址 (SA)

①SA01 (第78図)

BN-41を中心として検出し、総延長は24.5 mを測る。覆土の状況から近世から現代にかけての遺構と思われるが、性格等は不明である。

9. ピット (第79～93図)

個々の説明は割愛するが、全てのピットを掲載してある。

10. 土層観察表

遺構名	層	JIS標準色票	土 壌 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
SB56 炉	1		焼土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR4/4(褐色土)と炭が30%混じる
	2	10YR4/4	褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	
SB63 炉	1						灰・炭化物混じる
	2		焼土				硬く焼きしまる
SB100 炉	1		焼土				
SB01 竈	1	10R4/4	赤褐色土		なし		灰・骨片・焼土等から成る層
	2	10R5/8	赤色土				火床 硬くしまる
SB02 竈	1	10YR5/2	灰黄褐色土	SiC			炭化物等含まず
	2	10YR3/1	黒褐色土	SiC			φ1cm大の焼土ブロック及び炭化物粒子多量に含む
	3	10R5/8	赤色土				火床 硬く焼きしまる
	4	10YR5/4	鈍い黄褐色土				焼土ブロック多量に含む 竈堀方
	5	10YR7/6	明黄褐色土				石組を支える粘土部分と思われる
SB04 炉	1	10YR6/3	鈍い黄橙色土	SiC	なし	なし	10YR7/6明黄褐色土ブロックが全体の80%位を占める
	2	10YR4/1	褐灰色土	SiC	なし	なし	10YR7/6明黄褐色土ブロックが約10%炭化物等少し混じる
SB09 炉	1	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	10YR7/8(黄橙色土)が5%混じる
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	炭多量に混じる
	3	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	炭・焼土多量に混じる
	4	10YR4/3	鈍い黄褐色土				10YR7/8(黄橙色土)が10%混じる
	5	10YR3/3	暗褐色土	SiCL	ややあり	なし	
	6	10YR6/8	明黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	
	7	10YR5/1	褐灰色土	SiC	あり		焼土・炭化物なし
	8	10YR7/3	鈍い黄橙色土	SiC	ややあり	ややあり	
	9	10YR6/4	鈍い黄橙色土		なし		φ1cm大の焼土粒含む
	10	10YR3/1	黒褐色土		なし		φ1cm大の焼土粒及び炭化物80%混じる
	11	10YR2/1	黒色土				ほぼ焼土・炭化物で構成される層
SB10 炉	1		焼土				
	2		炭				
SB10	1	10YR4/1	褐灰色土	SiC			炭化物等含まない
	2	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiC	ややあり	ややあり	φ5mm位の炭化物粒約5%混じる
	3	10YR7/4	鈍い黄褐色土	SiC	あり	あり	炭化物粒混じる
	4	10YR5/1	褐灰色土			あり	
	5	10YR7/6	明黄褐色土		なし		

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壌 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
SB10	6	10YR5/2	灰黄褐色土		なし		φ5mm位の炭化物粒少し混じる
	7	10YR4/2	灰黄褐色土				焼土粒・炭化物40%混じる
	8	10YR4/1	褐灰色土				焼土粒・炭化物30%混じる
	9	10YR6/6	明黄褐色土				焼土・炭化物やや混じる
	1		硬化した焼土				
炉 (新旧)							
SB11 竈	1		焼土				
	2	10YR5/8	黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	焼土が混じる
SB12 竈	1	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiL	なし	なし	φ1.5mm炭化粒・焼土少々混じる マゾボシてる 壁根地の焼土
	2		炭				φ1mm位焼土粒50%炭化物少々混じる
	3		炭				焼土粒が多い
	4	2.5R5/8	明赤褐色土				硬い 火床
	5	10YR4/1	褐灰色土		なし		10YR7/4(鈍い黄褐色土)のブロック混ざりあった層
	6	10YR5/1 10YR7/4	褐灰色土 鈍い黄褐色土				炭化物少々混じる 袖石堀方
SB13 竈	1	10YR5/1	褐灰色土		なし		炭化物10%焼土粒たくさんから成る層
	2	10YR4/1	褐灰色土				灰が多くバサバサしている
	3	10YR6/2	灰黄褐色土		なし		10YR6/1(褐灰色土)の灰約50%焼土粒50%混じる
	4	2.5YR6/4	鈍い橙褐色土		なし		同色の焼土がほとんどを占める 少し灰が混じる
	5	2.5YR5/8	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
	6	10YR5/3	鈍い褐色土				
	7	10YR5/2	灰黄褐色土				
	8	10YR4/1	褐灰色土				
	9						ごくわずかに炭化物・焼土混じる 袖石の堀方
SB14 竈	1	10YR5/1	褐灰色土				焼土粒と炭化物等混じる
	2	10YR6/3	鈍い黄褐色土				焼土粒(φ1cm大)から成る層
	3		焼土				火床
	4	10YR4/6	赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
	5	2.5YR2/3	極暗赤褐色土				灰・焼土粒が混じる層 バサバサ
	6	10YR4/1	黒褐色土		なし		灰・焼土混じる
SB16 竈	1	10YR3/4	暗褐色土	SiL	ややあり	なし	
	2	10YR4/4	褐色土	SiL	ややあり	なし	
	3	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiL	ややあり	なし	
	4	10YR4/4	褐色土	SiL	なし	なし	10YR5/6(黄褐色土)が10%混じる
	1		灰・炭				
	2		焼土				

遺構名	層	JIS標準色票	土壌色	土性	しまり	粘性	備考
S B18 竈	1	2.5YR5/8	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
	2	10YR5/1	褐灰色土				φ0.5mm位の炭化物等わずかに混じる
	3	5YR6/4	鈍い橙色土				φ1cm大の2.5YR6/2(灰赤色土)ブロックが80%炭化物粒子灰等が混じる
S B19 竈	1	5YR5/4	鈍い赤褐色土	SiC	なし		炭化物・焼土粒・灰からなる層
	2	10YR7/4	鈍い黄褐色土				焼土粒や10YR4/1(褐灰色土)ブロックがほとんど混じる
	3	2.5YR5/6	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
S B20 竈	1	5YR6/3	鈍い赤褐色土				5YR5/1(褐灰色土)ブロック(焼土・灰の混合物)焼土ブロック多量に混じる
	2	5YR4/1	褐灰色土				土器などが混じる
	3	5YR6/8	橙色土				火床・硬く焼きしまる
	4	7.5YR6/4	鈍い橙色土				φ5mm位の焼土粒等混じる 竈の堀方?
	5	10YR6/1	褐灰色土	SiC		やや強い	竈の構築材?
	6						
S B21 竈	1	10YR4/6	褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR6/8(明黄褐色土)が7%混じる
	2	10YR6/8	明黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR4/6(褐色土)が5%混じる
	1	10YR6/1	褐灰色土		なし		灰100%炭化物・骨片等わずかに混じる
	2	5YR6/4	鈍い橙色土				焼土粒・炭化物・灰等からなる層
	3	2.5YR5/6	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
4	2.5YR5/1	赤灰色土		なし		10YR6/6(明黄褐色土)ブロック炭化物等混じる	
S B22 炉	1		焼土				
S B26 竈	1		焼土				
S B27	1	10YR3/1	黒褐色土	SiC	あり		炭化物等含まない
	2	10YR6/3	鈍い黄褐色土	SiC			φ1cm大の炭化物約10%混じる
	3	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiC	あり		
S B29 竈	1		焼土・灰・炭化物				混入物なし
	2	10YR7/6	明黄褐色土		なし		混入物なし 支脚堀方
	3	10YR5/1	褐灰色土				炭化物・灰・焼土混じる 火床の堀方?
	4	10YR6/1	褐灰色土				
	5	2.5YR5/6	赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
S B32 炉	1		焼土				
	2		灰				
S B33 炉	1		焼土				
	2		焼土・灰				
S B37	1	10YR5/1	褐灰色土	SiC	あまりなし		炭化物等含まない
	2	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiL	なし	なし	

遺構名	層	JIS標準色票	土壌色	土性	しまり	粘性	備考	
S B37	3	10YR5/2	灰黄褐色土				φ1mmの焼土粒・炭化物粒多い 土器片・炭化物粒少量混じる 焼土30% 炭化物も多い 10YR4/1(褐灰色土)ブロック・10YR7/6(明黄褐色土) ブロック共に約30%混じるボソボソしている	
	4	10YR5/3	鈍い黄褐色土		なし	なし		
	5	10YR5/2	灰黄褐色土					
	6	10YR4/2	灰黄褐色土					
	7	10YR4/1	褐灰色土		なし	なし		
	8		炭					
	9		焼土					
	炉	1		焼土				
	S B39	1	10YR5/3	鈍い黄褐色土	SiL	少ない		なし
2		10YR6/4	鈍い黄褐色土			強い		
3		10YR3/1	黒褐色土		あり			
4			焼土・炭化物					
S B40	1	10YR4/1	褐灰色土	SiC		ややあり	地山ブロック及び炭化物・焼土粒わずかに混じる 焼土ブロック・灰・炭化物等多量に混じる 土器片・石等混じる	
	2	10YR6/1	褐灰色土			やや強い		
	炉	1	焼土					
S B41	1	10Y R5/1	褐灰色土				φ1cmの地山ブロックを多量に含む 焼土等も混じる 硬く焼きしめる部分とブロック状に焼土粒が混じる部分が見られる 竈構築材か? 灰層・焼土・灰・炭化物等混じる 硬く焼きしめる 支脚の環方 混入物なし 火床 硬く焼きしめる	
	竈	1	2.5YR6/8	橙色土				
	2	10YR7/6	明黄褐色土					
	3	10YR5/1	褐灰色土					
	4	2.5YR6/8	橙色土					
	5	10YR6/1	褐灰色土					
6	2.5YR5/8	明赤褐色土						
S B42	竈	1	10YR7/3	鈍い黄褐色土		強い	竈構築材の粘土 硬く焼きしめる 焼土粒・灰・炭化物から成る層 灰等含まない 袖石の後? φ5mm~1cm大の焼土粒が混じる 煙道内部の土 火床・硬く焼きしめる	
	2							
	3	2.5YR6/8	橙色土					
	4	10YR5/1	褐灰色土					
	5	10YR5/1	褐灰色土					
	6	10YR4/1	褐灰色土					
	7	2.5YR5/8	明赤褐色土					
S B44	炉	1	焼土					
	2		攪乱					
S B48	1	10YR5/1	褐灰色土				φ5mm~1cm大の地山ブロック炭化物混じる 1cm大の地山ブロック混じる 埋め戻した土 炭化物・焼土・灰等混じる 粘土の固まり	
	2	10YR6/4	鈍い黄褐色土					
	3	10YR5/3	鈍い黄褐色土					
	4	10YR8/4	浅黄褐色土					

造 構 名	層	JIS 標準色票	土 壌 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B50	1	10YR3/2	黒褐色土	SiCL			10YR6/6(明黄褐色土)3%混じる
	2	10YR6/6	明黄褐色土				10YR3/2(黒褐色土)が15%混じる
	3	10YR2/2	黒褐色土	SiCL			
	4	10YR2/2	黒褐色土				10YR6/6(明黄褐色土)が15%混じる
	電	1	10YR5/3	鈍い黄褐色土			地山ブロック・焼土粒等混じる 層内部の土
	2	2.5YR6/8	橙色土				焼土がほとんど硬い
	3	10YR7/4	鈍い黄褐色土				電構築土
	4						
	5	10YR4/1	褐灰色土				焼土・炭化物等混じる
	6	10YR6/4	鈍い黄橙色土				混入物あまりない
S B52 炉	1		焼土				
S B54 炉	1		焼土				
	2		焼土・炭				
S B55 炉	1		焼土				
	2		灰				
S B58 炉	1		焼土・灰				
	2		焼土				
S B60 炉	1		焼土				
S B62 炉	1		焼土				
S B64 炉 (新旧)	1		焼土				
S B69 炉	1		焼土・炭・灰				
S B73 炉	1		炭				褐色土混じる
	2		焼土				かなり硬化している
S B75 炉	1		炭・灰				黒くなる
	2		焼土				硬く焼きしまる
S B77 炉	1		焼土				
S B78 炉	1		焼土・炭・灰				
	2		焼土				
S B80 電	1	2.5Y5/4	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	
	2	2.5Y5/4	黄褐色土	SiCL			焼土・炭が混じる
	3	2.5Y5/6	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	焼土・炭混じる
	4		焼土				
	5	10YR5/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	炭が少々混じる
S B81 炉	1		焼土・灰				地山との境に部分的に施けた部分が見られる
S B82 電	1	10YR5/2	灰黄褐色土	SiCL	ややあり		

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壌 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B82 竈	2		焼土				黒みがあった焼土
	3		焼土・炭・灰				
	4	10YR3/2	黒褐色土				焼土粒混じる
	5	2.5Y6/4	鈍い黄色土	SiCL	ややあり	なし	
	6		焼土				硬化している
S B83 炉	1		灰				
	2		焼土				
S B85 炉 (新旧)	1	2.5Y5/4	黄褐色土				炭混じる
	2		焼土・炭				
	3		焼土				
S B89 竈	1	10YR3/2	黒褐色土	SiL			シルト質礫土 焼土混じる
	2	5YR5/6	明赤褐色土				焼土
S B90 炉	1		焼土				
S B91 竈	1		焼土				
	2		焼土・炭				
S B93 炉	1		焼土				
S B95新炉 旧炉	1		焼土				
	2	2.5Y5/4	黄褐色土	SiCL			焼土粒・炭が少々混じる
	1		焼土				
	2	10YR5/4	鈍い黄褐色土				焼土が混じる
S B96 炉	1		焼土				
S B97 炉	1	10YR5/3	鈍い黄褐色土				
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土				
	3		焼土				
S B98 竈	1		暗褐色土				灰
	2		焼土・炭				
	3		焼土				火床
	4		焼土				後で乗ったもの
S B06 竈	1	10YR5/6	黄褐色土				
	2		焼土				10YR5/6(黄褐色土)と炭が30%混じる
	3	10YR3/4	暗褐色土				
	4	10YR4/3	鈍い黄褐色土				
	5	10YR5/4	鈍い黄褐色土				
	6	10YR5/6	黄褐色土				10YR7/8(黄褐色土)が10%混じる
	7		焼土				10YR5/6(黄褐色土)と炭が20%混じる
	8		焼土				火床

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壌 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B06 竈	9		焼土				10YR5/6(黄褐色土)と炭が25%混じる
S B15 竈	1						火床
S B17 (新床面) 竈	1	10YR4/6	褐色土	SiCL	あり	なし	10YR7/6(明黄褐色土)が7%混じる
	2	10YR4/6	褐色土	SiCL			10YR7/6(明黄褐色土)が15%混じる
	1		焼土・灰				
	2		焼土				火床
	(旧床面)竈	1		焼土			火床
S B30 竈	1	10YR6/6	明黄褐色土	SiC	あり	ややあり	黒褐色の灰15%が混じった層 焼土10%混じる
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiL	ややなし	ややあり	
	3	5YR5/6	明赤褐色土				
	4	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiL	あり	なし	石の廻方
S B31 竈	1	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL			焼土・炭粒が混じる
	2		焼土				10YR4/3(鈍い黄褐色土)が混じる
S B35 竈	1		焼土				褐色土がブロック状に入る
	2		暗褐色土				
	3		褐色土				
	4		焼土・炭				
	5		黄褐色砂質土				
S B45 竈	1	10YR5/1	褐灰色土				焼土ブロック・炭化物・灰等混じる
	2	10YR6/1	褐灰色土				混入物等含まない 袖石堀方?
	3	2.5YR5/8	明赤褐色土				火床 硬く焼きしめる
S B47 竈	1	10YR4/1	褐灰色土		なし	なし	φ100大の地山ブロック(黄色土)・焼土粒わずかに混じる
	2	10YR3/1	黒褐色土		なし	なし	地山ブロック1層より多い
	3	10YR6/1	鈍い黄褐色土				焼土粒・炭化物混じる
	4	10YR5/2	灰黄褐色土		なし	なし	混入物なし
	5	10YR5/3	鈍い黄褐色土				地山ブロックたくさん入る pit
	1	10YR6/8	明黄褐色土	LiC	あり		火床 φ1mm程の炭化物やや混じる
	2	10YR5/6	黄褐色土	LiC	あり		φ1-3mm程の黄色ブロックφ1-2mm程の炭化物やや混じる
	3	10YR4/4	褐色土	SiC	ややあり		φ1-3mm程の炭化物やや混じる
	4	10YR5/8	黄褐色土	LiC	あり		φ1-2mm程の炭化物やや混じる
	5	10YR4/6	褐色土	SiC	あり		φ1-3mm程の炭化物やや混じる
S B49 竈	1	10YR5/4	鈍い黄褐色土	LiC	あり		φ1-4mm程の炭化物やや多い φ1-5mm程の黄色ブロックやや混じる
	2	10YR5/8	黄褐色土	LiC	あり		φ1-3mm程の炭化物やや混じる
	3	10YR4/4	褐色土	SiC	ややあり		φ1-8mm程の炭化物微少に混じる
	4	10YR6/8	明黄褐色土	LiC	あり		火床 φ1-3mm程の炭化物やや混じる
S B67 竈	1	10YR7/6	明黄褐色土				焼土粒混じる

造構名	層	JIS標準色票	土壌色	土性	しまり	粘性	備考
SB67 竈	2		焼土				火床
	3	10YR8/6	黄褐色土				焼土粒混じる
	4	10YR5/3	鈍い黄褐色土				10YR7/6(黄褐色土)が5%混じる
SB68 竈	1		灰				焼土粒混じる
	2	10YR5/4	鈍い黄褐色土	SiCL	あまりなし	ややあり	焼土粒やや混じる
SB70 竈	1	2.5Y4/3	オリーブ褐色土	SiCL			
	2	10YR4/4	褐色土				10YR6/6(明黄褐色土)が5%ブロック状に混じる
	3		灰+焼土				
	4		焼土				火床
	5	10YR6/6	明黄褐色土				焼土粒混じる
	6		焼土				灰が混じる
SB72 竈	1		焼土				
	2	2.5Y5/2	暗灰黄色土		なし	なし	炭・焼土粒混じる
	3	2.5Y5/2	暗灰黄色土		なし	なし	焼土・炭多量に混じる
	4	2.5Y6/4	鈍い黄色土		なし	なし	2.5Y7/4(浅黄色土)がマーブル状に混じる
	5	2.5Y6/4	鈍い黄色土		なし	なし	焼土多量に混じる
SB76 竈	1		焼土				灰・炭が多量に混じる
	2		焼土				硬化していない
	3	2.5Y6/4	鈍い黄色土	SiCL	なし	なし	焼土・炭・灰が少々混じる
	4		炭・灰				
	5		焼土				硬化している 火床
SB03 竈	1		焼土				
SB24 炉	1	5BG5/1	青灰色土	HC			粘土によって構築された炉本体部 焼けて硬くなる
	2	2.5YR5/3	鈍い赤褐色土				焼けがしみた部分
SB94 炉	1		焼土				

ST01	1	10YR3/2	黒褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	
	2	10YR3/2	黒褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR5/6(黄褐色土)が30%混じる
	3	10YR5/6	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR3/2(黒褐色土)が5%混じる
	4	10YR5/6	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	

SD19	1	10YR4/3	鈍い黄褐色土				
	2	10YR6/3	鈍い黄褐色土				
	3	10YR4/1	褐灰色土				10YR6/4(鈍い黄褐色土)がブロック状に混じる
	4	10YR6/4	鈍い黄褐色土				
	5	10YR4/1	褐灰色土				10YR6/4(鈍い黄褐色土)がブロック状に混じる 3層より多い

遺構名	層	JIS標準色票	土壌色	土性	しまり	粘性	備考
SD19	6	10YR5/1	褐灰色土				
	7	10YR5/2	灰黄褐色土				

S I 01	1		暗黄褐色粘質土				炭が多量に混じる
S I 02	1	10YR4/6	褐色土	SiCL	あり	ややあり	φ1~4mm程の炭化物混じる
	2	10YR3/3	暗褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	φ1~5mm程の炭化物、φ1~4mm程の黄色ブロッコや混じる
	3	10YR3/4	暗褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	φ1mm~3mm程の炭化物、φ1~5mm程の黄色ブロッコや混じる
	4	10YR4/3	鈍い黄褐色土	LiC	ややなし	あり	φ1~3mm程の炭化物微少に混じる
	5	10YR4/4	褐色土	LiC	ややあり	あり	φ1~3mm程の炭化物微少に混じる
	6	10YR5/6	黄褐色土	SiC	あり	あり	φ1~4mm程の炭化物微少に混じる
S I 03	1	10YR5/4	鈍い黄褐色土	S	なし	なし	
S I 04	1	10YR4/6	褐色土	SiL	なし	なし	
	2	10YR5/4	鈍い黄褐色土	SiL	なし	なし	
S I 05	1	10YR4/4	褐色土				
	2	10YR5/3	鈍い黄褐色土				
	3	10YR7/4	鈍い黄褐色土				
	4	10YR6/4	鈍い黄褐色土				

10. 編物石計測表

遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材
SB04	13.0	5.5	375	硬砂岩	09	13.5	5.5	270	硬砂岩
	14.0	5.0	410	硬砂岩		15.5	7.0	840	硬砂岩
	12.2	4.7	275	硬砂岩		14.0	8.0	1000	砂岩
	15.0	6.0	560	不明		16.5	7.5	645	硬砂岩
	16.5	7.5	520	砂岩		17.0	6.0	630	硬砂岩
	14.0	7.0	550	砂岩	10	14.0	6.0	595	硬砂岩
	16.0	6.0	490	不明		17.0	7.0	885	硬砂岩
	12.0	6.0	350	砂岩	12	12.0	5.5	380	硬砂岩
	12.0	5.5	400	硬砂岩		15.5	8.0	790	硬砂岩
	15.3	6.5	720	不明		13.0	5.0	370	不明
	14.0	5.0	505	硬砂岩		17.5	5.0	530	硬砂岩
	16.0	7.5	840	不明		15.0	5.0	400	硬砂岩
	14.5	6.0	630	不明		17.5	7.0	790	不明
	20.5	7.0	1020	不明		17.0	5.5	810	不明
	07	17.5	5.5	730		硬砂岩	16.5	5.5	650
08	16.0	5.5	630	硬砂岩		18.0	5.5	730	不明
	14.7	6.5	580	硬砂岩		15.5	6.5	755	不明
	15.0	5.0	625	硬砂岩	13.5	5.5	655	砂岩	
	16.0	5.0	500	硬砂岩	13	14.2	5.0	410	硬砂岩
	14.2	6.5	505	硬砂岩		14	17.0	7.0	1020
	16.5	4.5	450	硬砂岩	16.0		6.0	860	硬砂岩
	15.8	4.0	500	緑色岩	15.5		6.0	790	硬砂岩
	15.5	6.0	505	砂岩	15.0		6.0	650	硬砂岩
	16.0	5.5	700	硬砂岩	16	12.7	6.0	705	花崗岩
	15.0	6.5	640	不明		17.0	7.5	800	緑色岩
16.5	7.5	815	硬砂岩	13.0		5.5	515	硬砂岩	
15.0	6.5	505	硬砂岩	14.7		5.3	370	硬砂岩	
16.5	6.5	640	硬砂岩	15.0		6.0	560	硬砂岩	
09	16.0	5.0	615	硬砂岩		14.0	7.0	625	硬砂岩
15.5	5.5	765	硬砂岩	19	16.0	7.0	590	硬砂岩	
12.5	5.5	485	緑色岩		12.8	5.5	450	硬砂岩	
9.5	3.2	95	硬砂岩	20	12.8	4.0	330	緑色岩	
15.0	6.0	665	硬砂岩		11.5	6.5	490	硬砂岩	
15.5	6.0	550	不明		12.8	5.5	475	硬砂岩	

遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	
S B22	15.5	6.5	425	硬砂岩	39	17.0	6.0	430	緑色岩	
	14.0	6.7	435	硬砂岩	40	15.5	4.0	360	硬砂岩	
	18.5	6.0	640	不明		13.7	4.7	420	小砂岩	
23	15.0	6.0	650	硬砂岩		17.5	5.5	500	砂岩	
29	15.5	6.5	680	不明	41	15.5	5.5	475	不明	
	15.5	7.0	700	硬砂岩	43	16.7	5.5	530	硬砂岩	
	15.7	6.5	515	不明		15.0	5.7	650	硬砂岩	
	14.5	7.0	700	硬砂岩		16.5	7.0	740	硬砂岩	
	17.5	6.0	660	硬砂岩		14.3	5.0	565	硬砂岩	
	8.5	4.5	260	不明		14.0	5.0	410	砂岩	
	15.5	6.0	600	硬砂岩		13.5	4.8	400	硬砂岩	
	17.0	6.5	810	硬砂岩		15.0	4.8	395	硬砂岩	
	17.5	6.0	730	硬砂岩		16.0	5.8	490	硬砂岩	
	18.0	6.5	800	硬砂岩		13.7	5.5	495	硬砂岩	
	15.0	6.5	570	硬砂岩		16.0	6.0	500	不明	
	14.5	6.5	590	硬砂岩		15.2	5.0	390	不明	
	17.0	6.0	690	硬砂岩		17.3	6.5	715	硬砂岩	
	14.5	6.5	660	硬砂岩		6.5	6.3	110	硬砂岩	
	14.0	6.5	620	不明		14.5	5.5	510	硬砂岩	
	32	16.0	5.8	780		硬砂岩	15.7	6.0	480	硬砂岩
		33	16.0	7.0		670	硬砂岩	16.5	5.5	615
16.5	7.7		730	硬砂岩		16.5	5.0	400	硬砂岩	
15.0	7.5		700	硬砂岩	14.5	4.0	515	硬砂岩		
14.3	5.5		520	硬砂岩	15.3	4.0	520	硬砂岩		
15.5	7.0		890	硬砂岩	14.0	6.0	340	硬砂岩		
14.5	5.8		690	緑色岩	12.0	8.0	480	硬砂岩		
37	14.5	6.0	610	硬砂岩	6.5	3.5	50	硬砂岩		
	18.5	7.0	1080	硬砂岩	8.0	4.5	60	硬砂岩		
	16.0	6.0	815	砂岩	6.0	3.5	25	硬砂岩		
	18.0	7.0	1145	硬砂岩	9.0	7.5	110	硬砂岩		
	16.0	5.5	595	硬砂岩	3.0	3.0	25	砂岩		
	15.5	6.0	520	不明	7.5	3.0	40	硬砂岩		
	18.0	6.0	995	砂岩	10.8	5.0	215	砂岩		
	14.0	4.5	445	硬砂岩	16.0	6.5	535	砂岩		
	12.5	3.5	340	硬砂岩	6.5	5.0	125	不明		
	15.5	6.5	710	不明	15.0	5.0	450	不明		

遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	
S B 43	15.5	4.5	610	不明	65	18.0	5.5	680	硬砂岩	
	4.0	4.0	20	硬砂岩		15.0	5.0	270	硬砂岩	
	14.0	5.3	460	花崗岩		16.0	7.0	600	硬砂岩	
	15.2	5.0	400	硬砂岩		17.0	6.5	615	硬砂岩	
	14.5	6.0	550	硬砂岩		18.5	5.0	680	硬砂岩	
	15.0	4.8	410	硬砂岩		16.5	6.0	620	硬砂岩	
44	14.5	6.0	690	硬砂岩	75	14.5	4.0	480	硬砂岩	
	16.0	5.0	470	硬砂岩		17.5	4.0	620	硬砂岩	
	16.5	7.0	650	硬砂岩		18.0	4.5	610	緑色岩	
	15.0	6.5	560	硬砂岩	77	15.5	5.0	730	硬砂岩	
	18.0	6.0	825	硬砂岩		17.0	5.5	620	硬砂岩	
	10.5	7.0	395	硬砂岩		15.0	5.5	330	硬砂岩	
	14.5	6.0	470	不明	78	13.5	5.5	430	硬砂岩	
	13.0	7.5	745	硬砂岩		13.0	6.0	410	砂岩	
	17.0	6.0	810	不明		11.5	5.5	390	硬砂岩	
	17.2	5.0	370	不明		12.0	5.5	425	硬砂岩	
48	16.2	7.0	710	硬砂岩		13.0	6.2	450	硬砂岩	
	50	16.0	6.5	527		硬砂岩	12.5	7.0	400	硬砂岩
9.8		5.5	235	硬砂岩		14.5	7.0	670	不明	
9.5		4.5	200	硬砂岩	80	15.0	5.5	620	不明	
16.0		6.5	580	硬砂岩		15.0	6.5	635	硬砂岩	
11.2		5.5	290	硬砂岩		15.0	5.0	350	硬砂岩	
10.0		5.3	248	硬砂岩		17.0	6.0	575	硬砂岩	
10.3		5.0	200	硬砂岩		11.0	4.0	260	硬砂岩	
10.0	4.2	220	不明	15.7		6.0	550	不明		
60	15.2	5.7	470	硬砂岩		06	11.8	5.8	380	硬砂岩
63	16.2	5.3	450	硬砂岩	16.5		5.0	395	硬砂岩	
	16.3	6.8	520	花崗岩	15.3		4.6	450	硬砂岩	
65	13.0	5.0	330	硬砂岩	13.5		3.3	175	硬砂岩	
	16.0	6.5	740	硬砂岩	36	14.5	5.0	520	硬砂岩	
	16.5	6.0	675	硬砂岩		68	14.0	6.0	435	硬砂岩
	11.7	9.0	470	砂岩			12.0	3.5	225	硬砂岩
	17.0	7.5	1020	不明			15.5	7.0	590	硬砂岩
	16.5	5.0	890	不明			16.5	5.0	470	硬砂岩
	14.8	7.5	535	砂岩			13.0	5.0	390	不明

IV ま と め

調査結果は以上の如くであるが、時間の制約・担当者の努力不足等で十分な調査結果の分析・検討ができなかったことは誠に遺憾であるが、発掘調査及び整理作業時に気付いた感想や疑問点及び問題点などを時代毎に掲げてまとめとする。

なお、本遺跡の立地は前述のとおり、天竜川に面した狭長な平坦面である。一部は天竜川流路により、欠失した部分もあるが遺跡の全体を調査し得たことを念頭に各時代を概括したい。

1. 縄文時代

今次調査では顕著な遺構・遺物は検出されなかったが、集石土坑は該期と考えられるが根拠はなく詳細は不明である。また、遺構外出土の遺物の中には該期のものが若干出土しているが、特に土器に関しては時間的制約で資料提示できなかった。

よって今次調査位置は、縄文時代に於いては中心的活動地とは考えがたい。

2. 弥生時代

竪穴住居址3軒（SB56・63・100）とそれに伴う遺物が確認された。時間的には出土遺物より、SB56・63がほぼ同時期で後期後半の中島式期新段階、SB100は中期中葉の北原式期にそれぞれ位置付けられると考えられる。

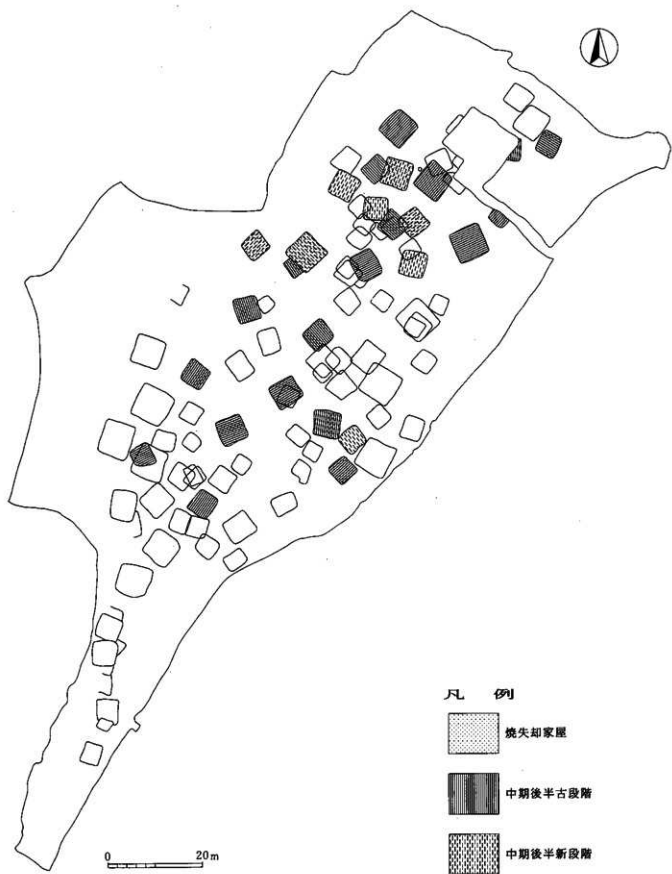
SB100に関しては前述の如く炉址らしき箇所を調査したのみであり、且単独という点より今次調査地点に於ける位置付けは困難であるが、平成9年度治水対策事業に伴う井戸下遺跡に於て、時期が先行するが中期の阿島式期の住居址及び遺物が出土していることより、井戸下遺跡の調査報告により弥生中期の様相が明らかになると思われる。この井戸下遺跡は細新遺跡の天竜川のほぼ対岸に位置する遺跡であり、天竜川氾濫源隣接地域における遺跡の状況を考える上に重要である。

後期後半に位置付けられるSB56・63は調査区北東側でそれぞれ検出されており、これらが所属する集落が大規模なものであるとすれば、その位置はaトレンチで確認した湿地帯の北東側であるe・f・gトレンチを設定した周辺であろうと思われるが、前述の如く攪乱のため、詳細は不明である。

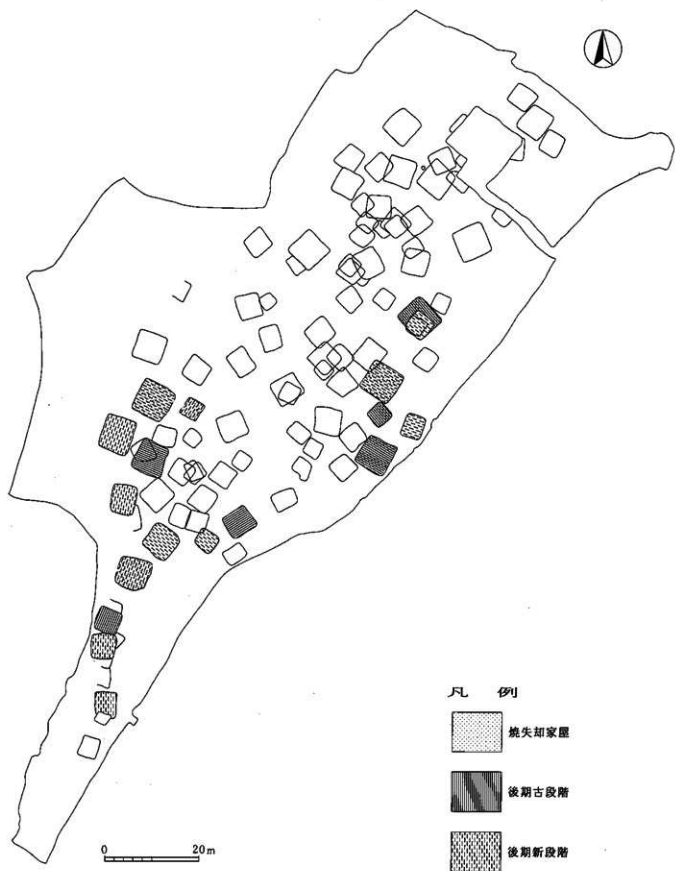
該期の遺物については当地域に普遍的に出土するものである。遺構についてはSB56炉址が当地域ではあまり見られない形態を有している。これは石組炉と呼ばれているもので当地域では5例目に当たる。

3. 古墳時代

該期については本遺跡の中心をなす時代であり、項目を細分することとする。



挿図1 古墳時代中期後半の集落変遷



挿図2 古墳時代後期の集落変遷

(1) 集落について

検出した住居址100軒中、69軒が該期に相当する。それらを遺構の重複状況と、『長野県史考古資料編』全1巻(4)遺構・遺物(財)長野県史刊行会 1988)を基準資料として出土遺物から集落の変遷を考えると、中期後半古段階・同新段階、後期古段階・同新段階の大きく4時期に分けられる。ただし、出土遺物量等により詳細な位置付けができなかった遺構も多い。故に後述する段階毎の遺構数は傾向としては捉えうるが、各期の戸数の確定にまでは至らない。

中期後半古段階に相当する遺構は住居址19軒・土坑1基と考えられる。これらの遺構はほぼ調査区中央部から北側にかけて分布している。主軸は2方向がある。次の中期後半新段階では住居址8軒とやや減少し、調査区北側に集中する。主軸は古段階と同様2方向と思われる。

後期古段階に至り、住居址6軒となり、調査区中央部からやや南側に移行し、新段階では住居址12軒がほぼ古段階と同様な分布を示す。主軸は各々2方向が考えられる。

以上のように集落の変遷が概略として捉えられる。但し、前述したように十分な分析及び検討ができないため、今後の研究に委ねたい。

(2) 遺物について

検出遺構に比例して多くの遺物が出土している。その多くが住居址一括資料と思われ、特に当地域の土器編年の基準資料として十分に耐えられるものと確信している。しかし、本報告書では資料化することに重点を置き分析及び検討まで至らなかったことは遺憾である。

前述の集落変遷は、出土した土器による編年に基づいて述べた訳であるが、担当者が該期の土器研究及び本遺跡出土土器からの情報を十分に消化できていないため、多くの問題点があると思われる。例としては中期後半の土器の細分に於いては、本報告書では坯の有無に注目し細分した。また、後期については坯・高坯の形態及び内面黒色土器の数量から行った。特に後期についてはより細分できる可能性があると思われる。

出土した土器において注目されるものとしては、SB18より出土した須恵器甕とSK20出土の双口土器があげられる。須恵器甕は、5世紀後半と考えられ、半高での流儀を持ちつつも製作は国内でなされているようである。東海地方では類例があるものの、当地方では元より東海地方以東では初見である。本集落内において初期須恵器他器種の出土量はごく少量であり、本器のみが単独で本集落に持ち込まれたといえ、特殊な背景がこの器自体にあったことも推測される。双口土器については同址出土遺物により中期後半(5世紀後半)に位置付けられ、楕円球状の胴部に2つの頸～口縁部を持つもので、類例があまり見当たらない。所謂日常什器とは考え難く、祭祀に関連するものと思われる。

該期の住居址から石器が出土している。当地方では古墳時代に於いても石器の使用が指摘されているが、今次調査でもそれを裏付ける結果となった。その多くは砥石・編物石であるが、弥生時代の収穫具とされている有肩扇状型石器・挟入打製石庖丁が確認されている。それらの石器と対比される鉄器は非常に少なく、今回図示できなかったがSB54から鉄鎌・鋤先・鉄斧2点が、SB40から鉄斧が出土しているのみである。しかし、砥石が出土していることより鉄器は普遍的に存在していたと思われる。また、鉄器が出土した住居址はSB54が中期後半古段階、SB40は中期後半新段階であり、調査時の所見では中期後半までは確実に(収穫具としての)石器が使用されていたといえる。このことから中期後半まで

は石器と鉄器が併用して使用されていたと考えられる。

(3) 遺構について

今次調査に於いて検出した住居址に於いて相当数が焼失却家屋であった。焼失却家屋としたのは失火による焼失と人為的意図のある焼却の双方が考えられることによる。時期別にみると中期後半古段階が住居址19軒中10軒、中期後半新段階は8軒中4軒、後期古段階は6軒中3軒、後期新段階は12軒中4軒となっている(挿図1・2)。焼失・焼却の判断はほとんどができなかったが、SB45については、電が破壊されている焼失却家屋であった。このことは電を破壊した後、焼却したと考えられる。一方、焼失却家屋のうち比較的遺物の出土量が多いものは、使用中の什器がそのまま残された可能性があり、失火による火災家屋とも考えられる。現場での調査時点では「一集落火災に遭ったのではないかと考えていたが、整理作業を進めていく中で住居址の廃棄パターンとして「焼却」が多かったのではないかと考えている。というのは前述した井戸下遺跡に於いてもほとんど同時期(中期後半～後期)の住居址が同じような焼失却家屋であったためである。今後類例を検討して明確にしたい。

4. 平安時代

該期は竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑が検出され、それに伴う遺物が出土している。出土遺物から時期を検討すると9世紀初頭の住居址はSB06・17・35、9世紀中葉はSB05・30・47、9世紀後葉がSB36・49・59・67・70・74・76、10世紀後葉から11世紀初頭にかけての住居址はSB68・72にそれぞれ位置付けられる。掘立柱建物址は出土遺物がなく、遺構の重複関係より時期決定したもので詳細な時期の位置付けはできなかった。以上より該期に於いてはほぼ連続して集落が営まれ、9世紀後葉が集落として最盛期を迎えたことが看取できる。また、この時期に於いて、住居址7軒中3軒の電の形態が壁を掘込む石芯粘土電であり、該期にのみ存在する。

該期の遺物については特筆すべき点は特にないが、SB49から墨書土器が出土した。灰釉陶器碗の底部に書かれているものであるが、判読は不能である。また、SB74からは灰釉陶器の底部を転用した碗が出土している。SB49・74はいずれも9世紀後葉に位置付けられ、周辺の遺跡の状況は不明であるが、集落規模・文化程度共に周辺集落の中核をなしていたと考えてもよさそうである。

5. 中世・近世

中世に於いては掘立柱建物址が1棟確認された。中世の遺構については当地方では掘立柱建物址が主体となるが明確に確認できる場合が少ない。よって本遺跡に於いても他にも該期の遺構があったと思われるが、確認できなかった。

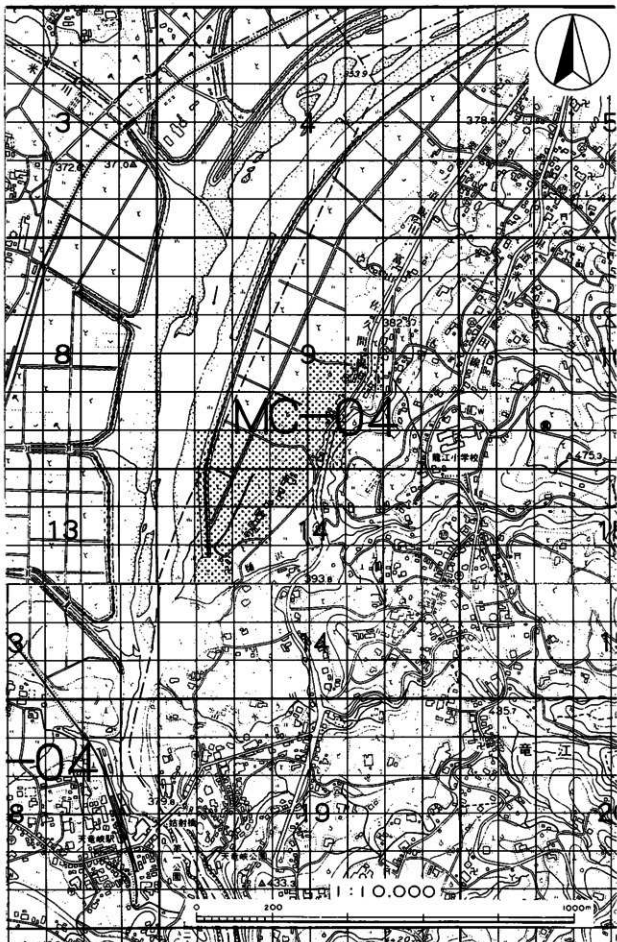
近世では土墳墓が多く検出されている。ほぼ全てが円筒状の形状で、副葬品として六道銭・キセル等が出土している。平面形が隅丸長方形で礫が入っているものもあり、分類も可能と思われる。

以上時期毎、概略で気付いた点を述べてきた。まとめを記述して改めて細新遺跡の重要性を再認識した所である。本遺跡は治水対策事業により地中に埋没しており、調査時の風景とは全く異なっている。

これも現在・未来の人間のハード的利益を考えれば致し方ないことかもしれない。しかし、過去から保存されてきた人類共有の財産を現在の人間が破壊してしまったことは、未来の人々へ、その代償として調査の成果がソフト的な利益として与えることができれば幸いである。

最後になりましたが、酒井清治・原明芳両氏には多くの御教示を賜りここに記して感謝申し上げます。

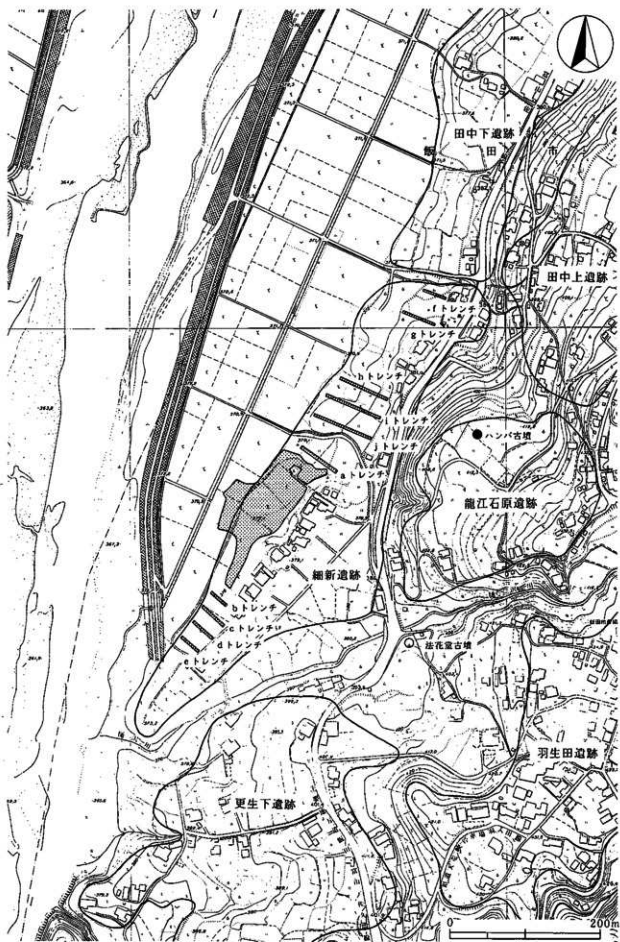
圖 版



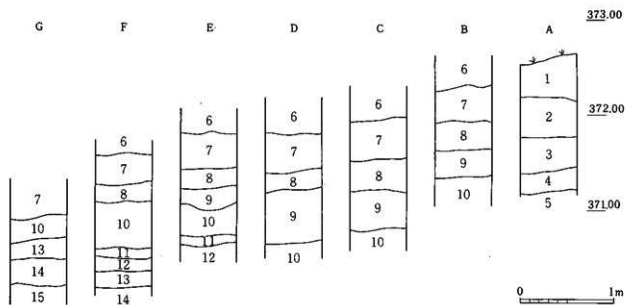
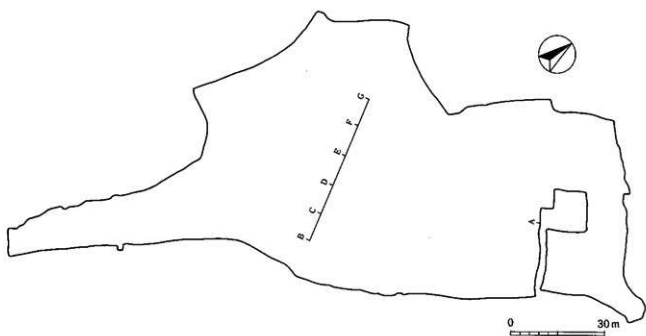
第1図 基準メッシュ図区画調査位置図



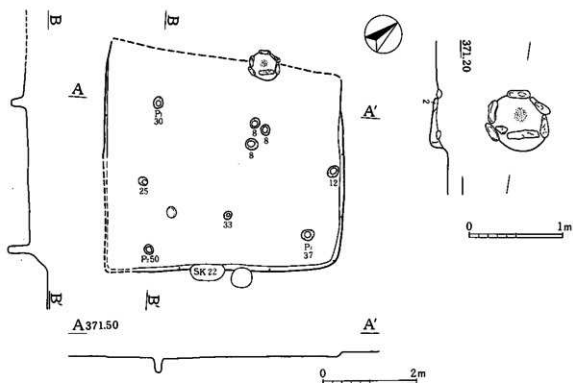
第2圖 調査遺跡及び周辺遺跡位置図



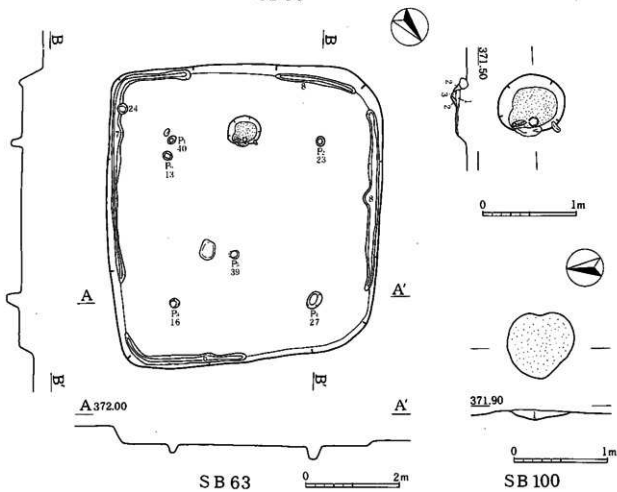
第3図 調査位置図及び周辺地図



第4图 基本层序



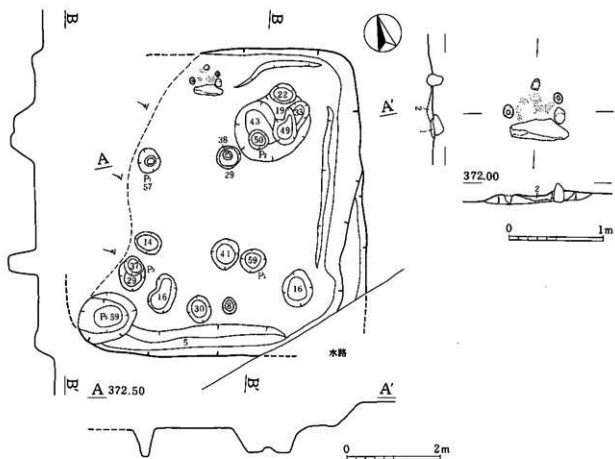
SB 56



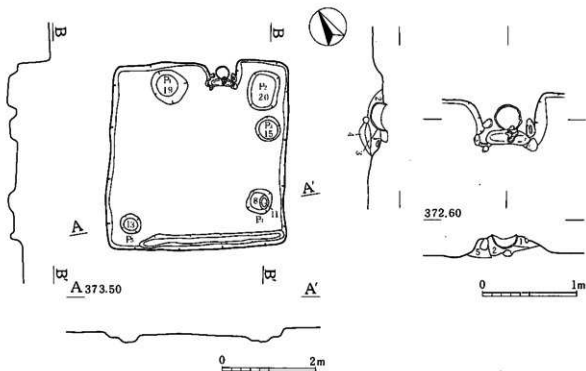
SB 63

SB 100

第 5 圖 SB 56 · 63 · 100

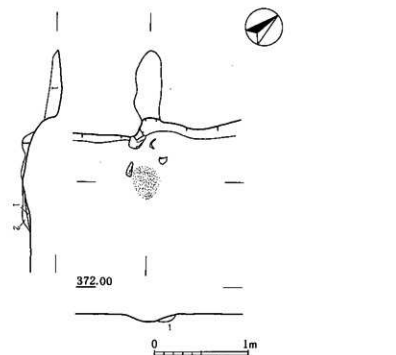
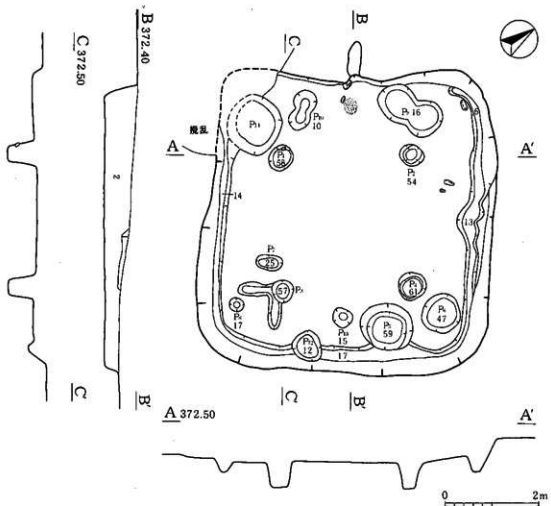


SB01

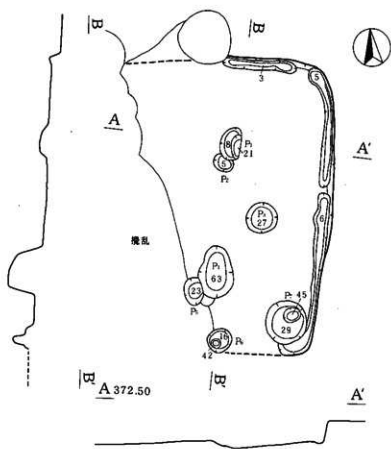


SB02

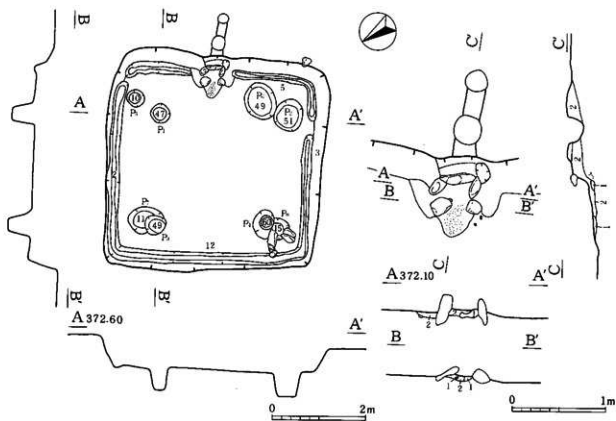
第6图 SB01·02



第7圖 SB04

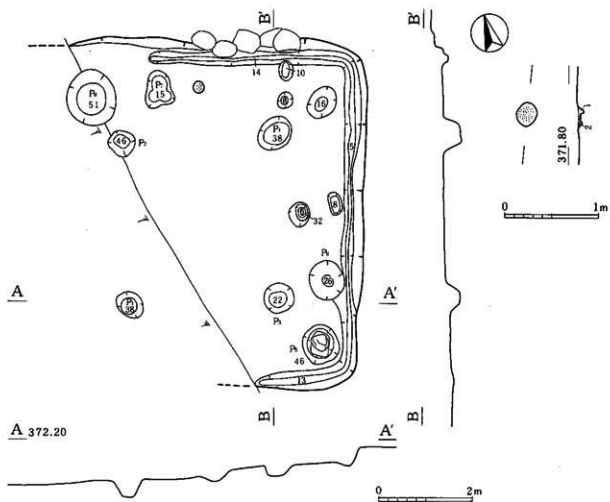


SB07

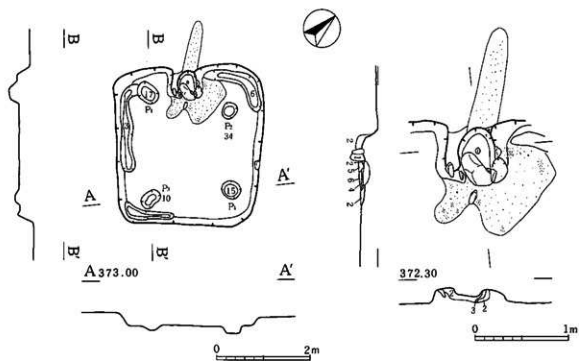


SB11

第8圖 SB07・11

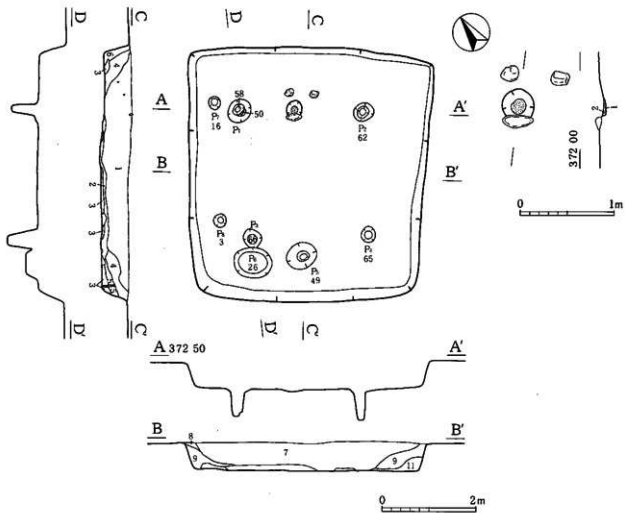


SB 08

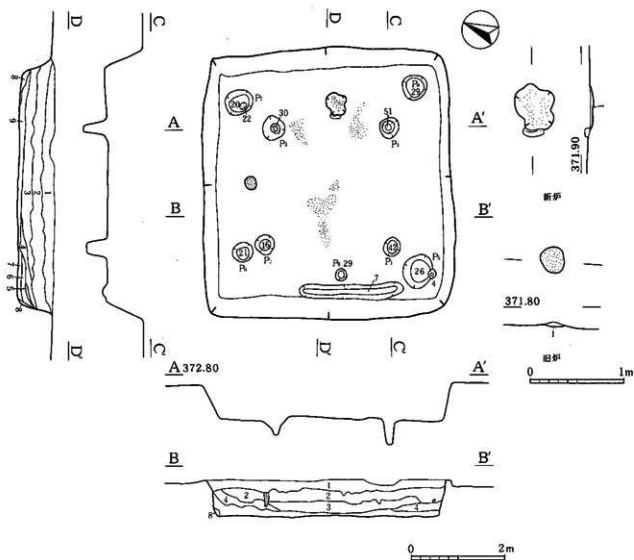


SB 14

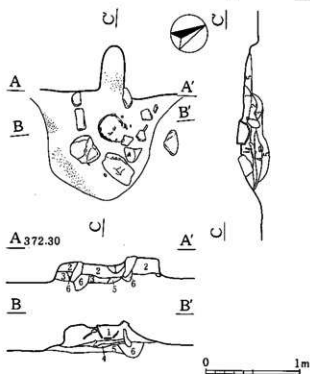
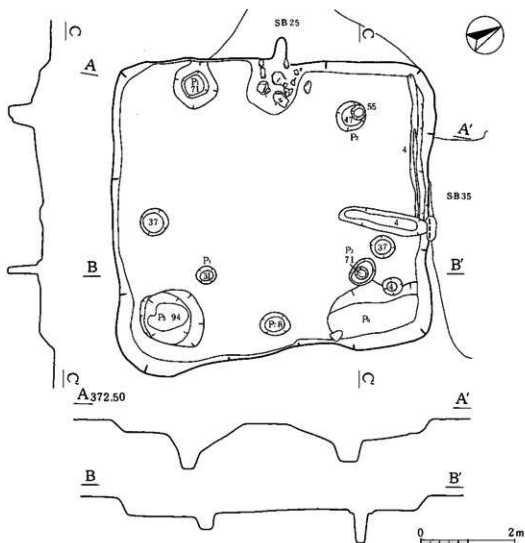
第9圖 SB 08 · 14



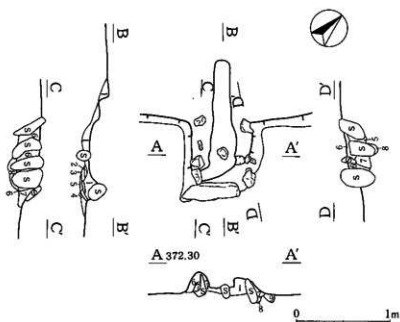
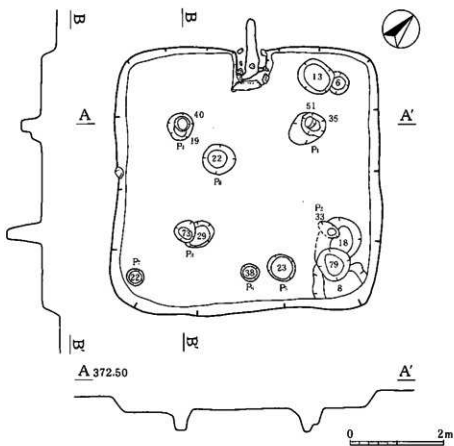
第10圖 SB09



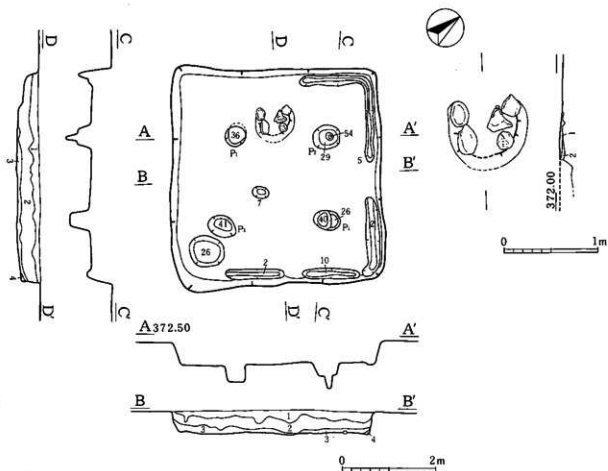
第11圖 SB10



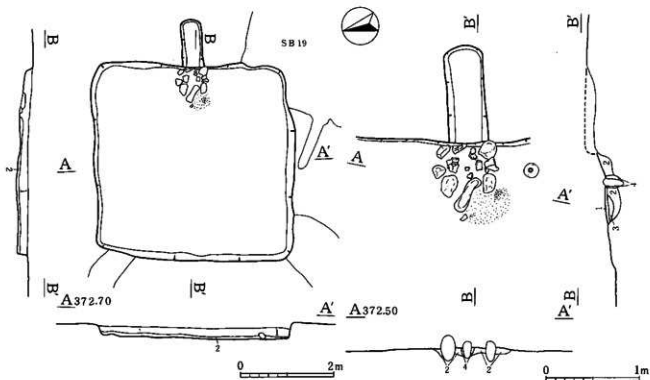
第12圖 SB12



第13圖 SB13

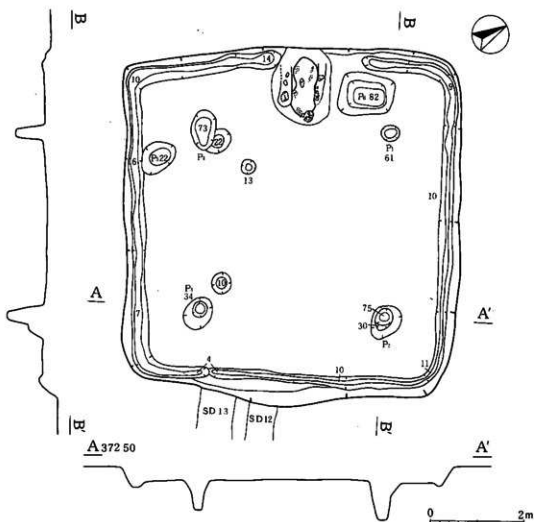


SB 16

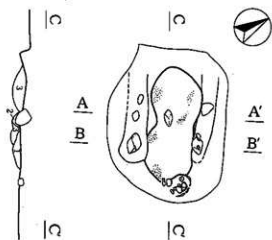


SB 21

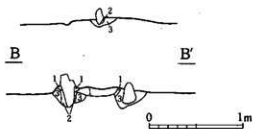
第14圖 SB16・21



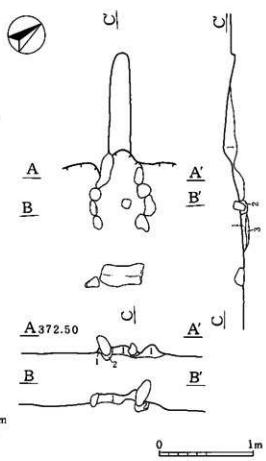
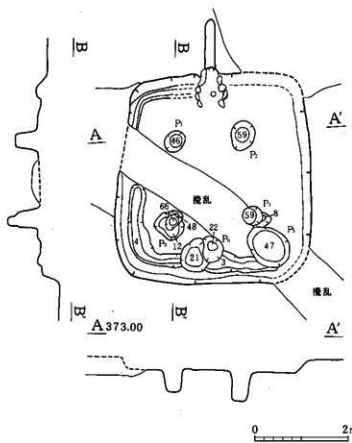
A 372 50



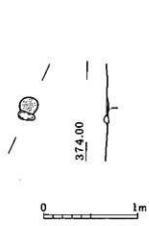
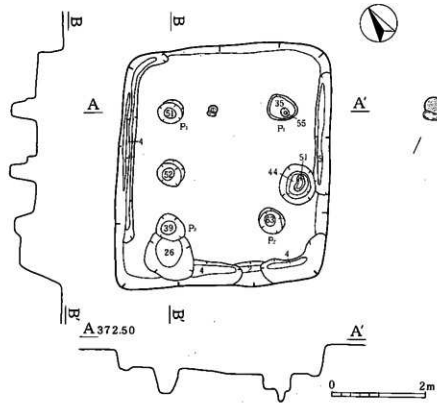
A 372.30



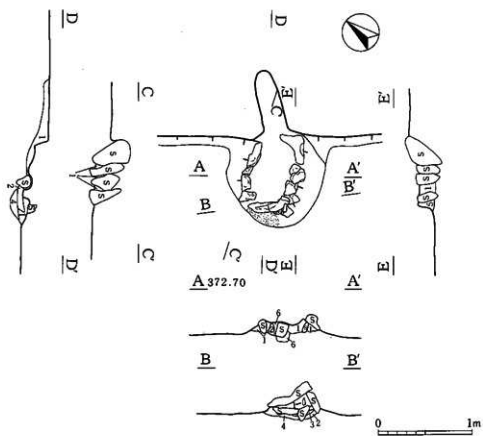
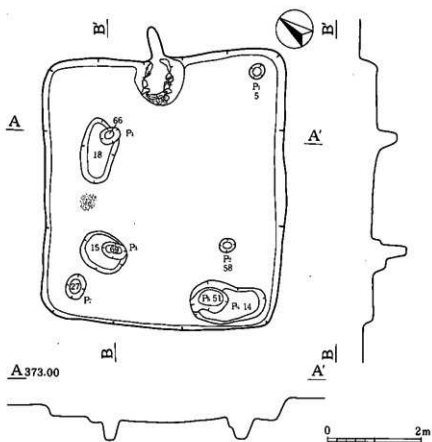
第15圖 SB18



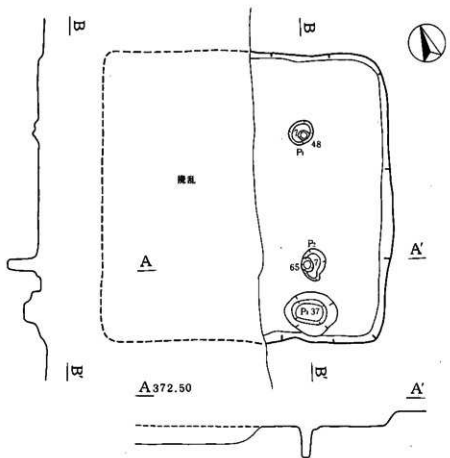
SB 19



SB 22
第16圖 SB 19・22

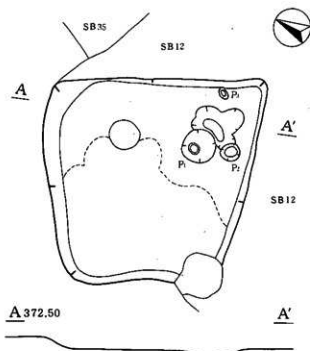


第17圖 SB20



SB 23

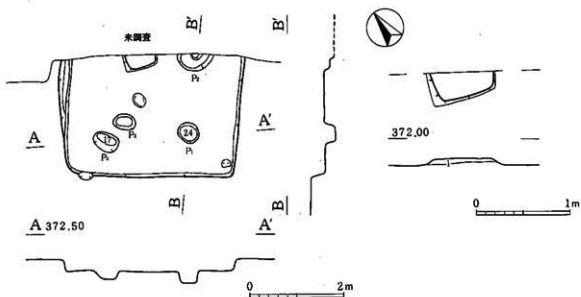
0 2m



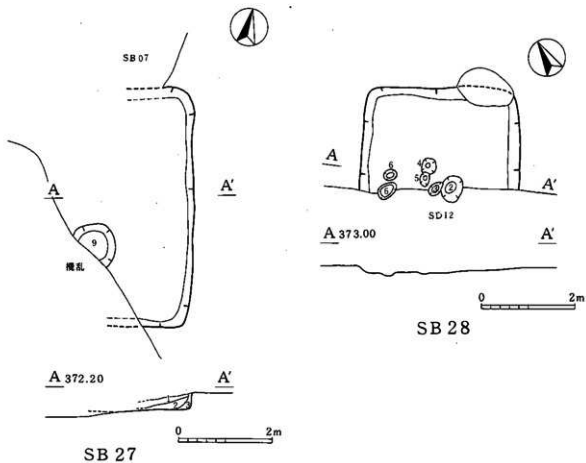
SB 25

0 2m

第18圖 S B23・25



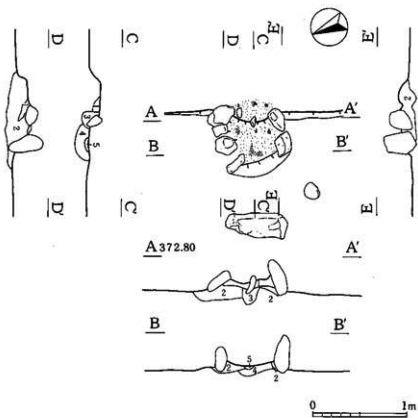
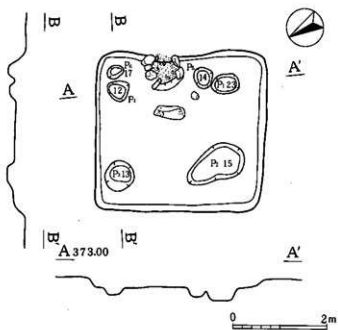
SB 26



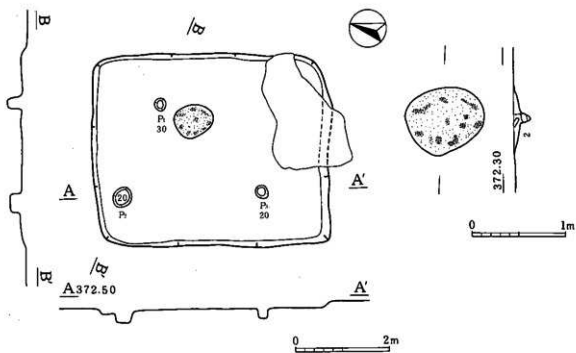
SB 27

SB 28

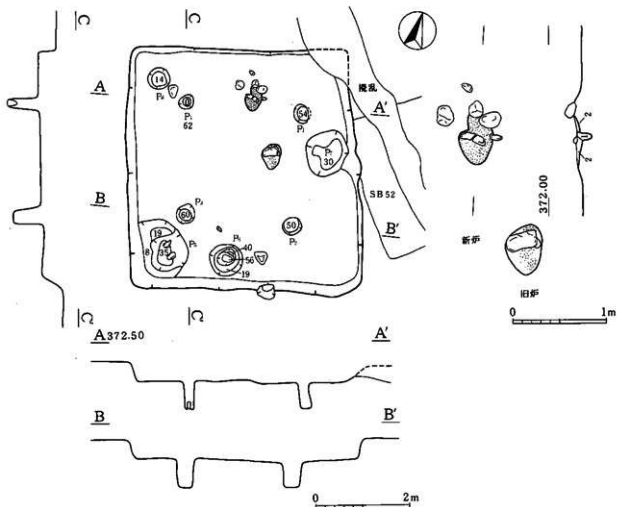
第19圖 SB 26 · 27 · 28



第20圖 S B29

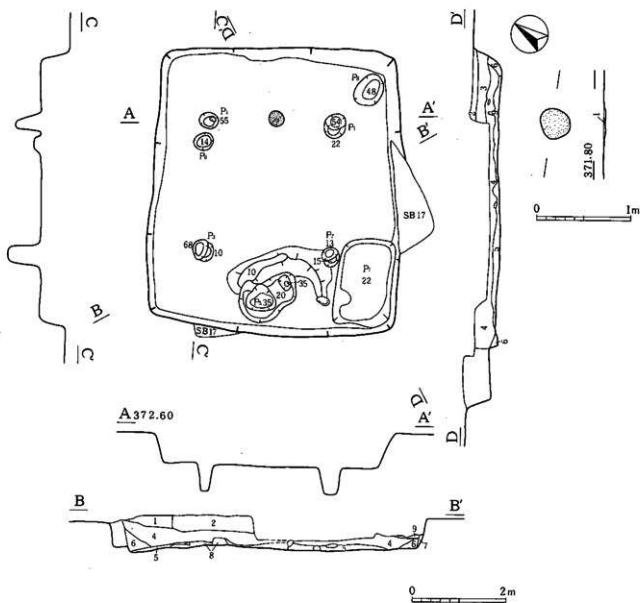


SB 32

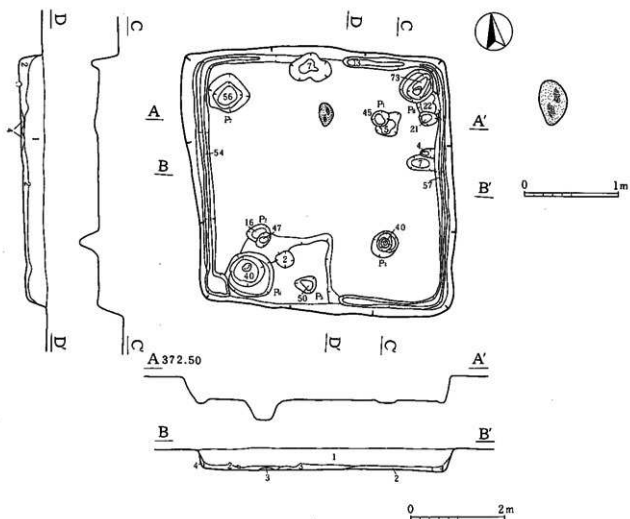


SB 33

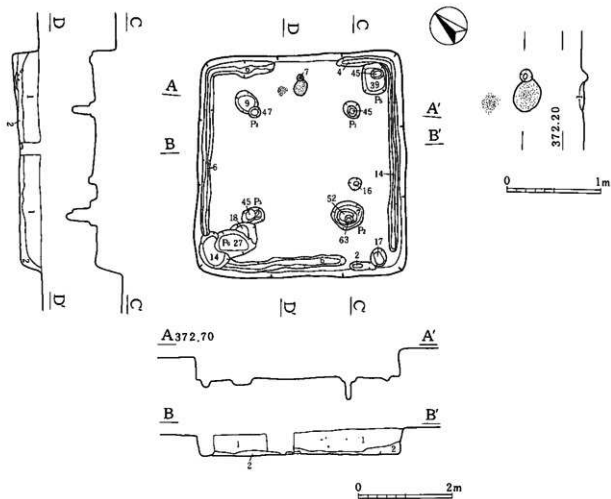
第21图 SB32·33



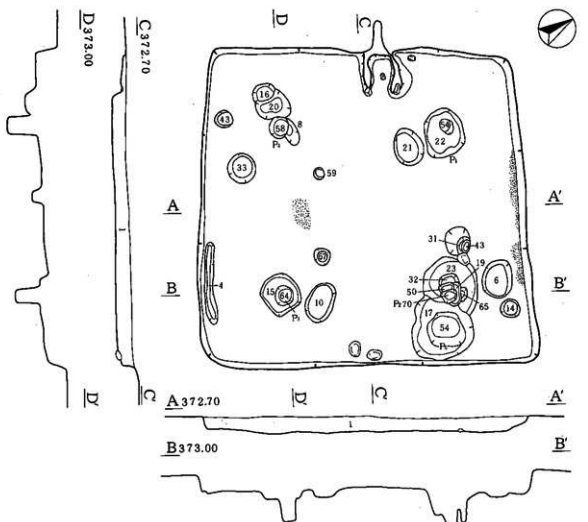
第22图 SB37



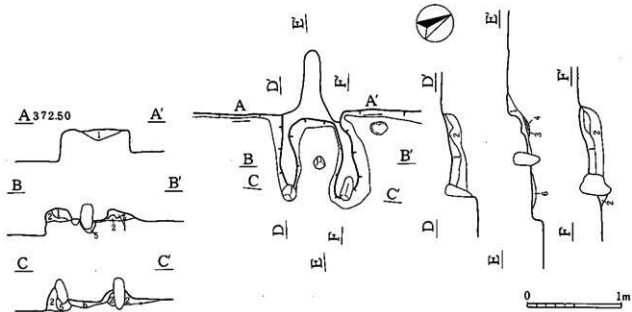
第23圖 SB39



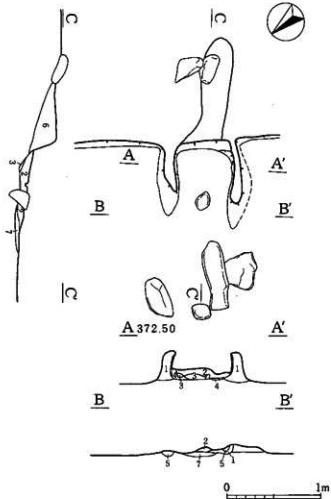
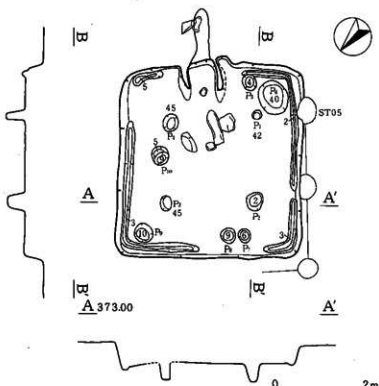
第24图 SB40



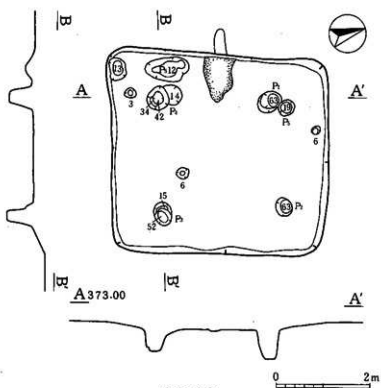
0 2m



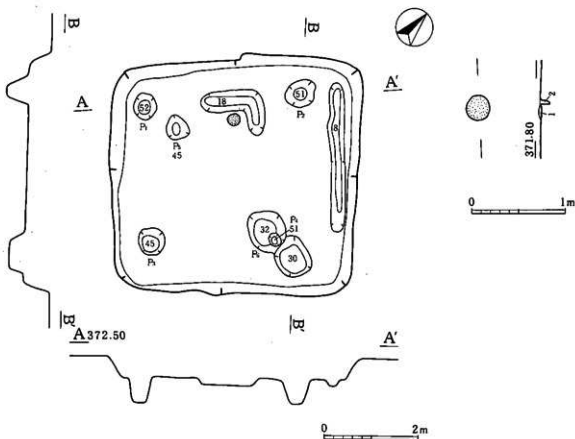
第25圖 SB41



第26图 S B 42

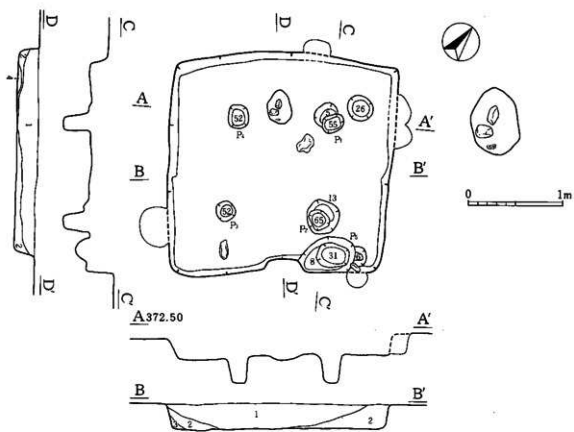


SB 43



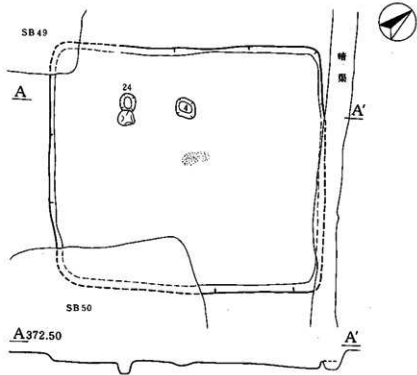
SB 44

第27圖 SB 43・44



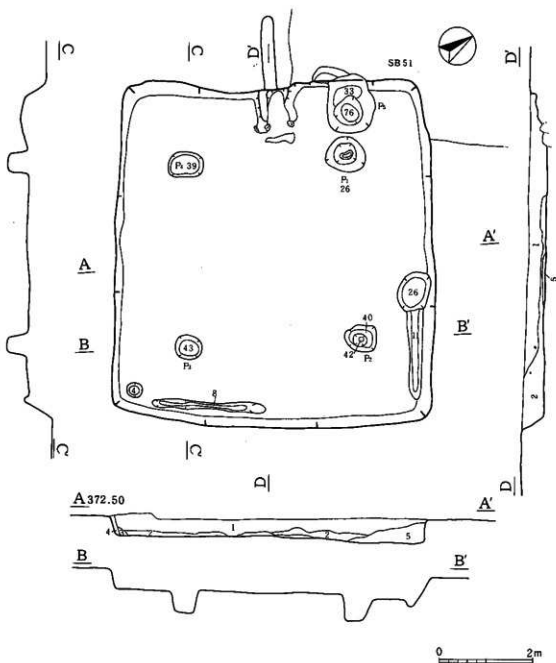
SB 48

0 2m

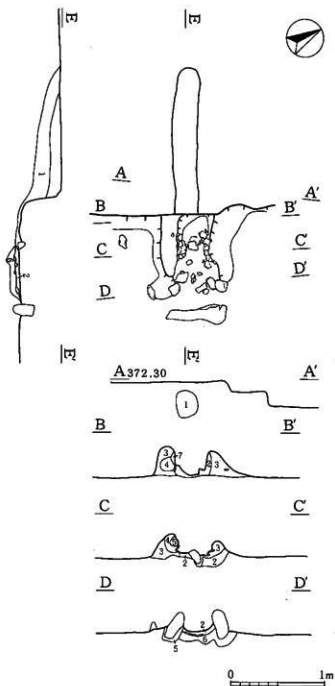


SB 51

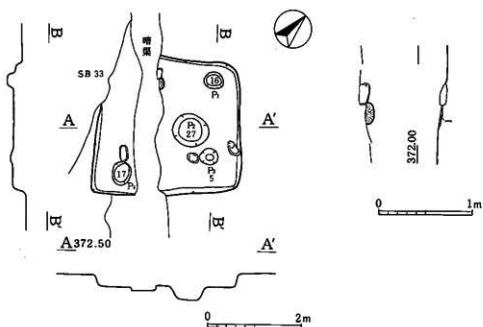
第28回 SB 48・51



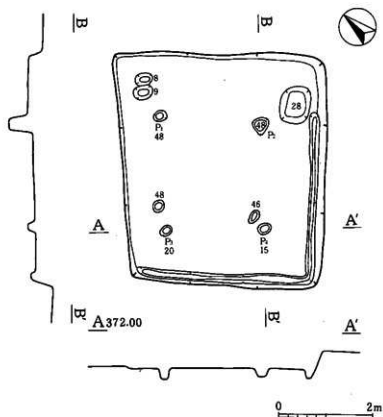
第29圖 SB50



第30図 SB50カマダ

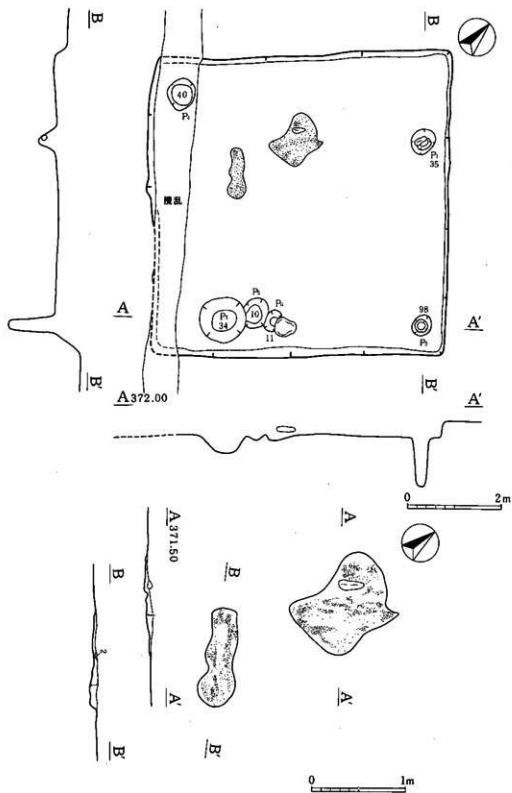


SB 52

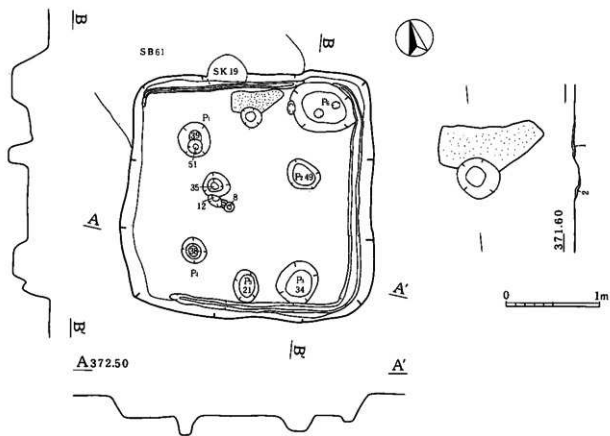
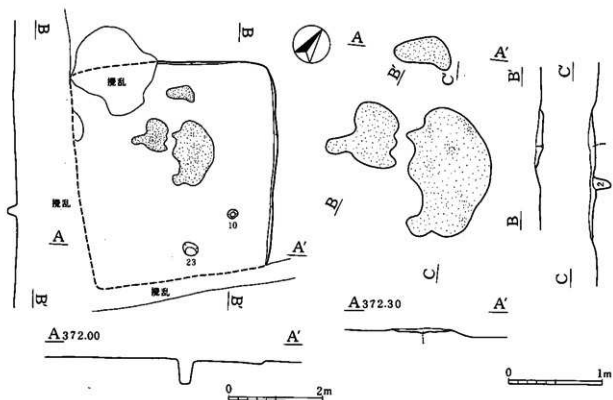


SB 53

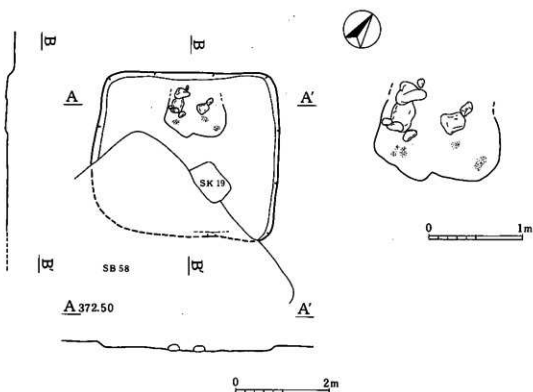
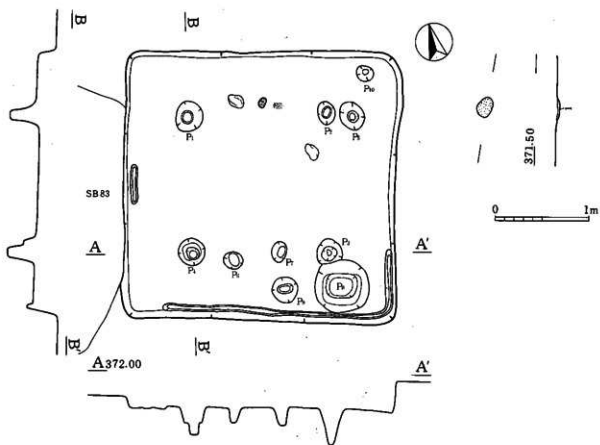
第31圖 SB 52・53



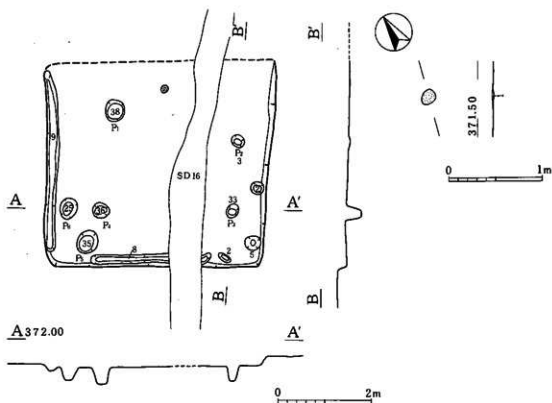
第32圖 SB54



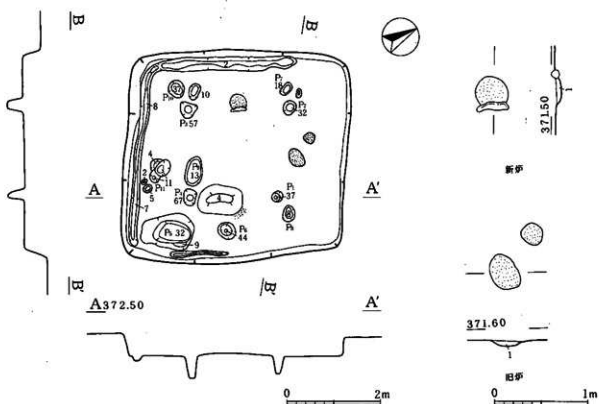
SB 58
第33圖 SB 55 · 58



SB 61
第34圖 S B 60 · 61

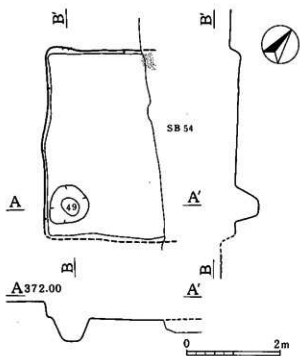


SB 62

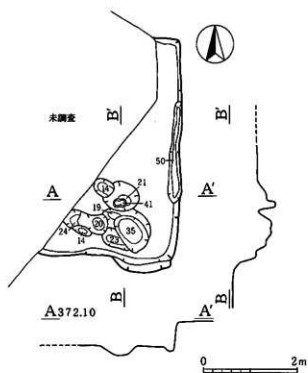


SB 64

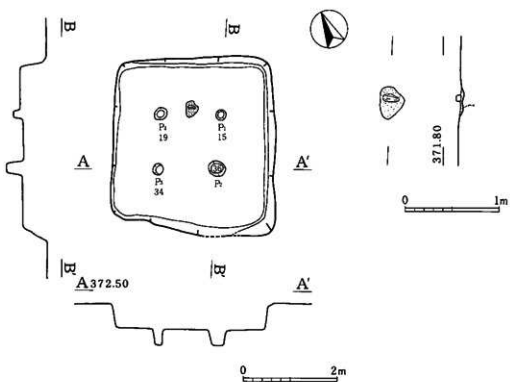
第35圖 SB 62・64



SB 65

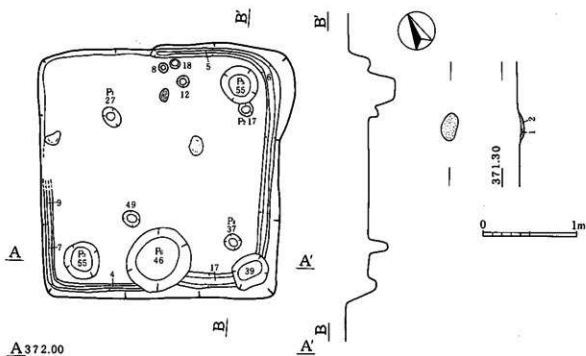


SB 66



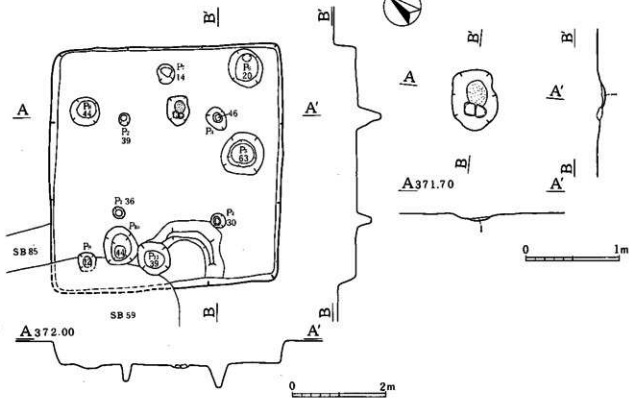
SB 69

第36圖 SB 65・66・69



A 372.00

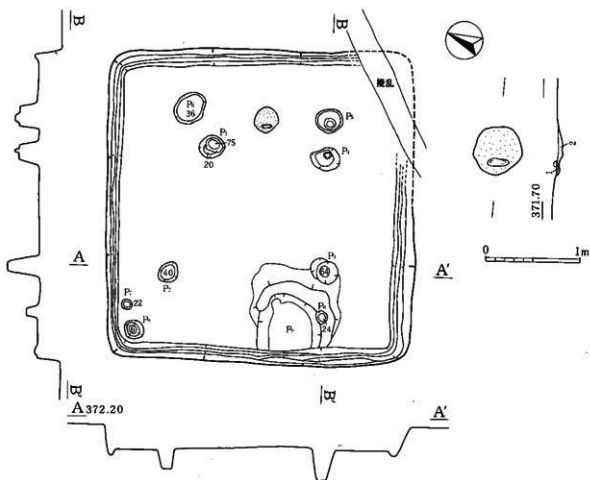
SB 73



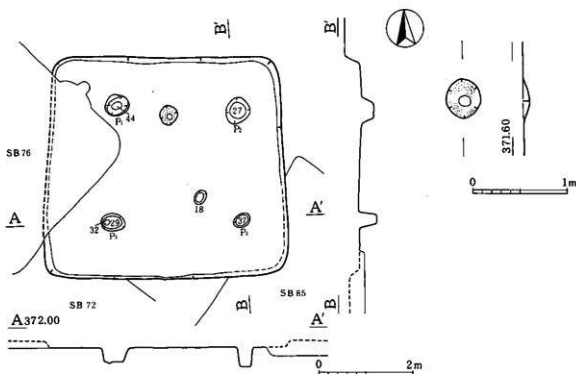
A 372.00

SB 77

第37圖 SB 73 · 77

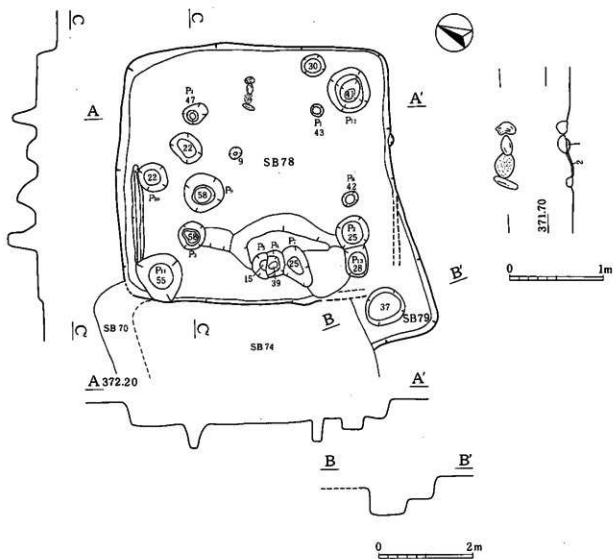


SB 75

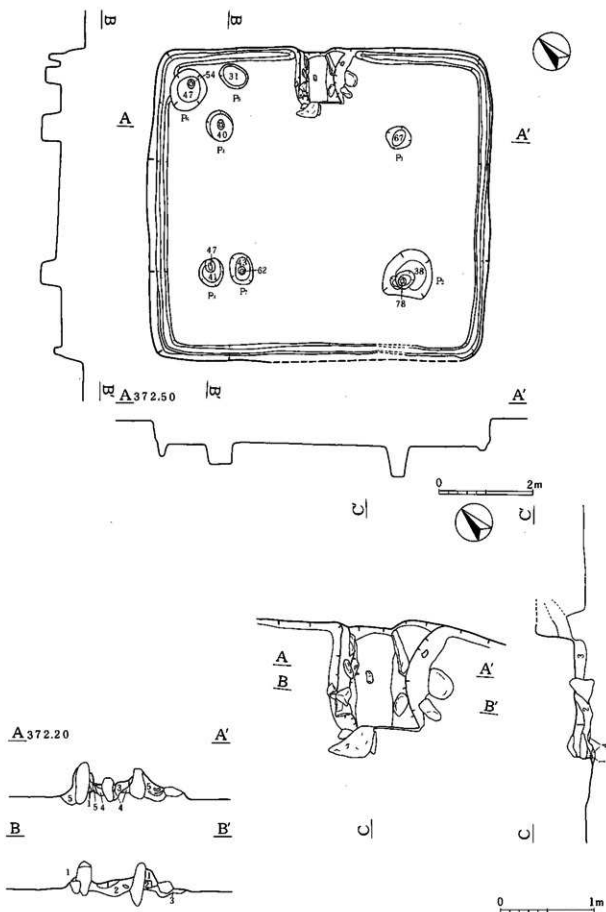


SB 81

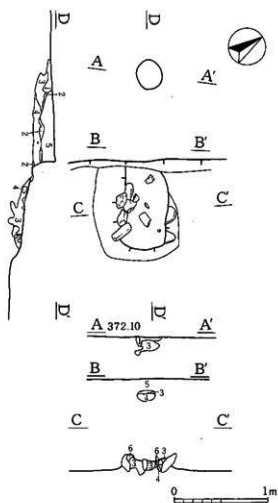
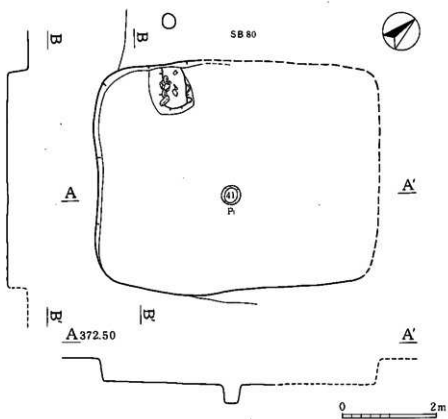
第38圖 SB 75 · 81



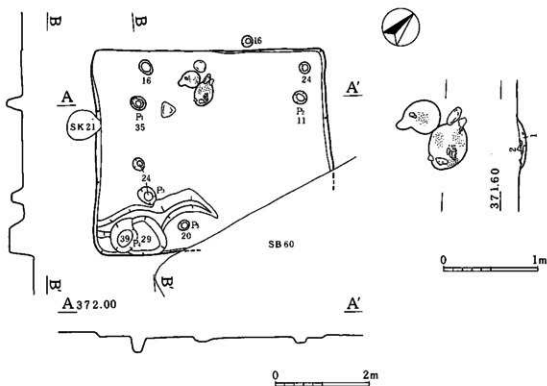
第39圖 S B 78 · 79



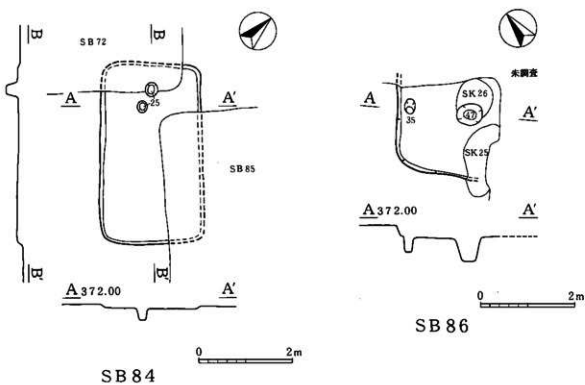
第40图 S B80



第41圖 SB 82



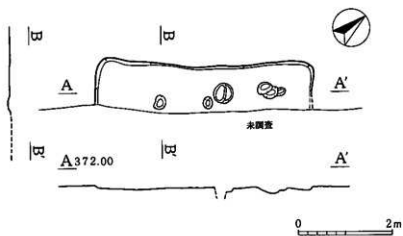
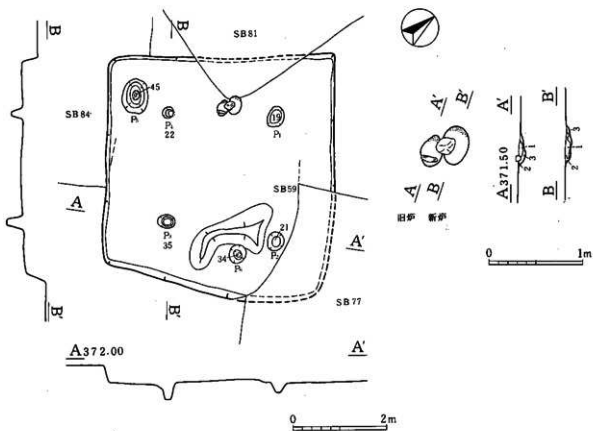
SB 83



SB 84

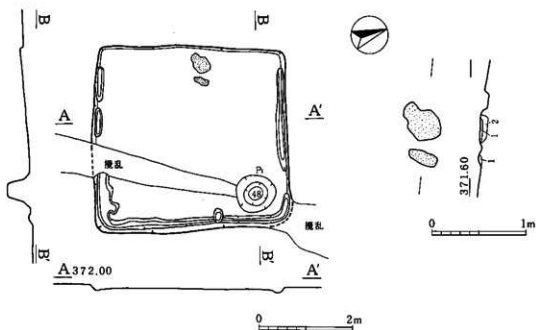
SB 86

第42圖 SB 83・84・86

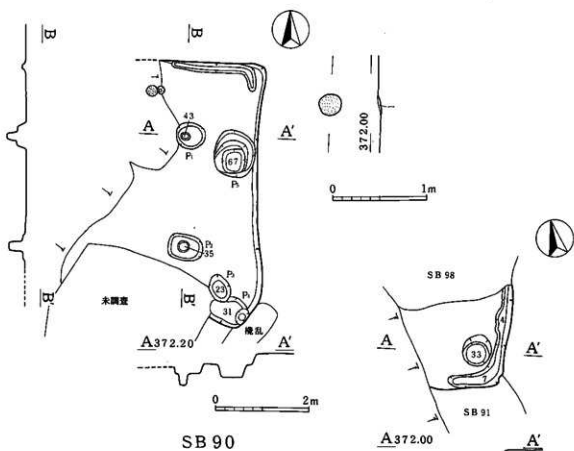


SB 88

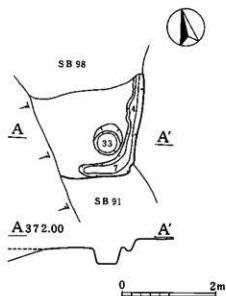
第43圖 SB 85・88



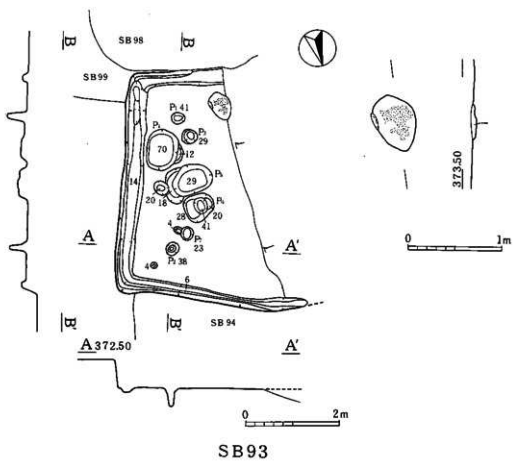
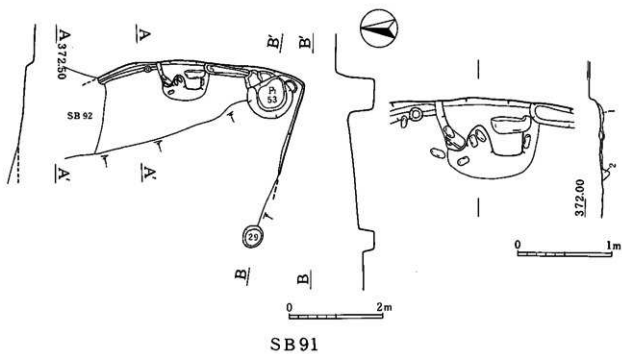
SB 89



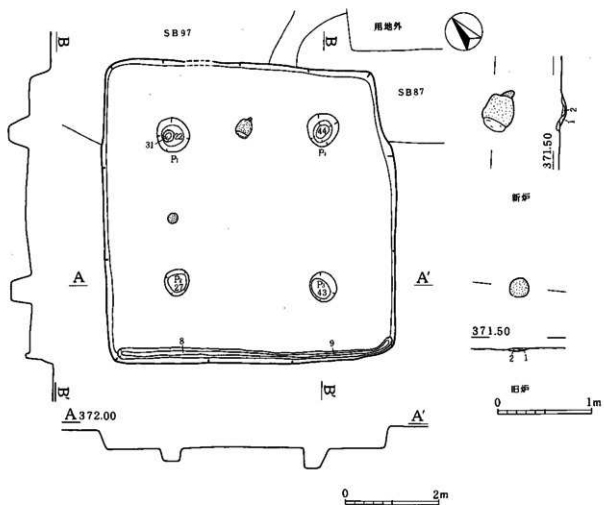
SB 90



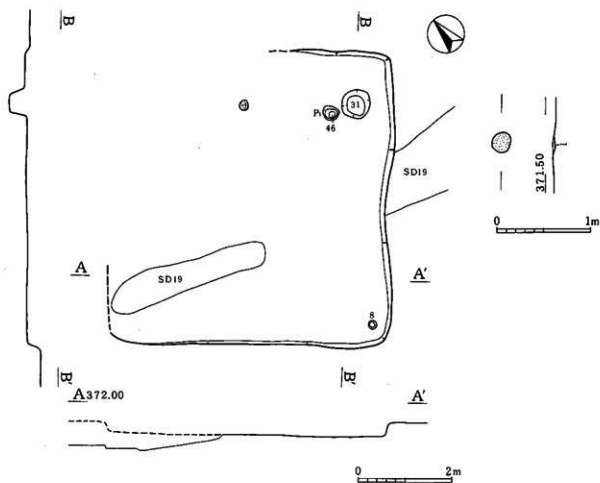
SB 92



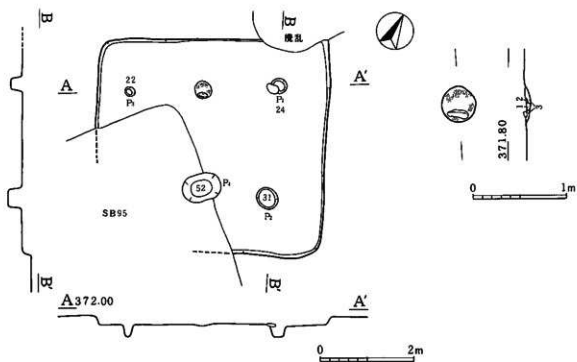
第45圖 S B91・93



第46图 SB95

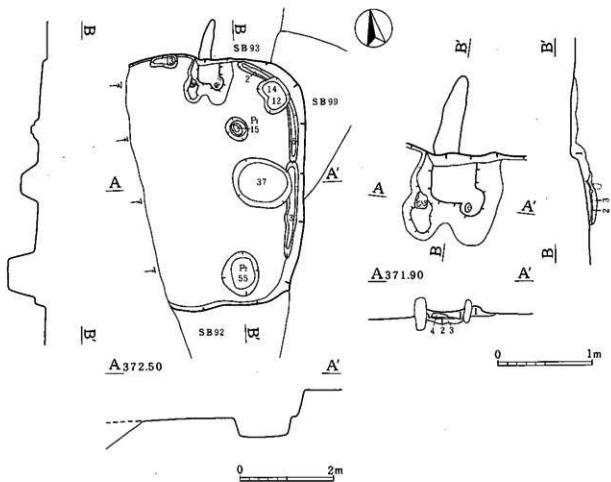


SB96

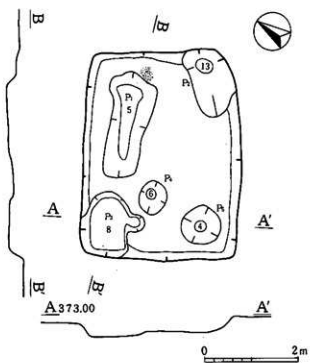


SB97

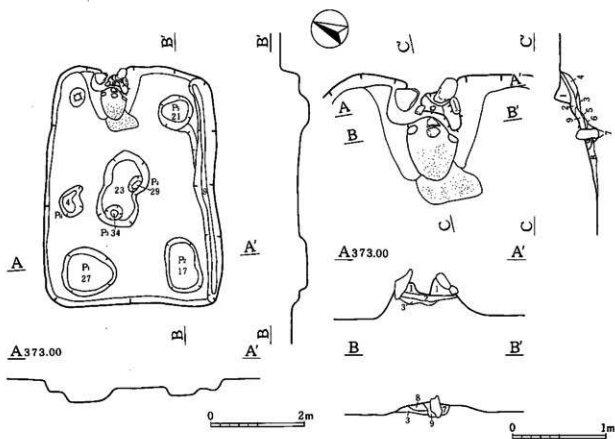
第47圖 SB96・97



第48图 SB 98

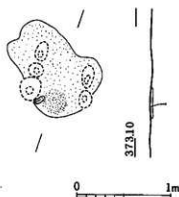
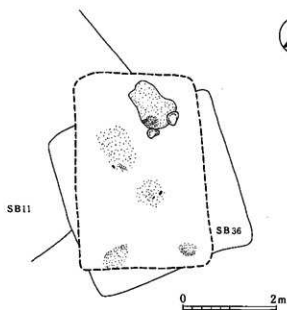


SB 05

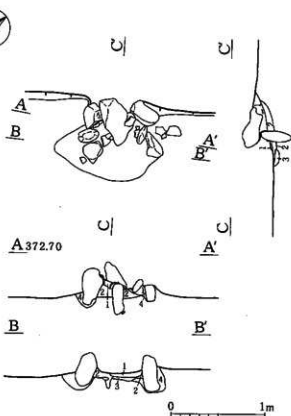
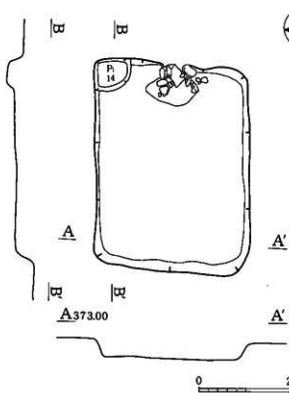


SB 06

第49圖 SB 05・06

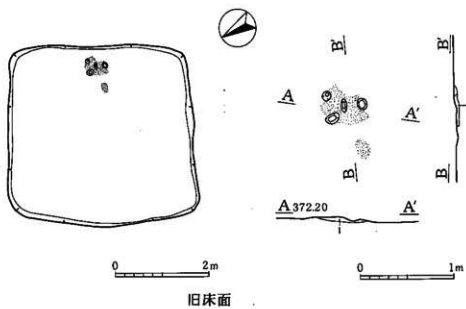
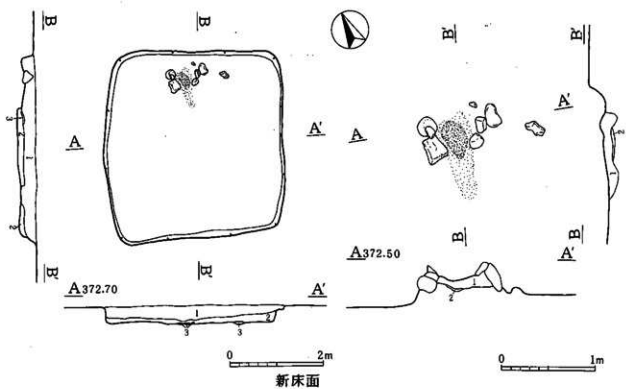


SB 15

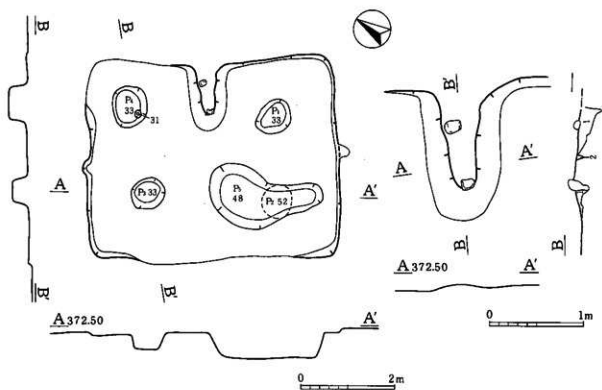


SB 30

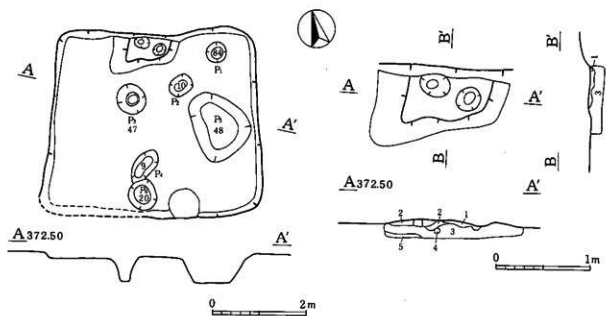
第50图 SB 15 - 30



第51图 SB17

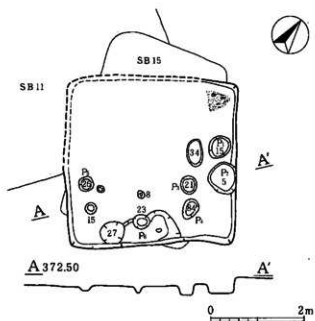


SB31

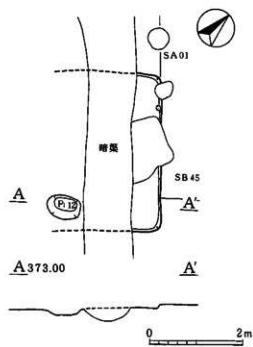


SB35

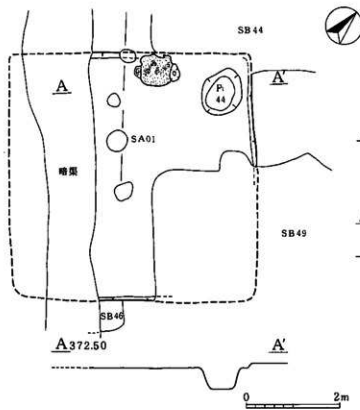
第52圖 SB31・35



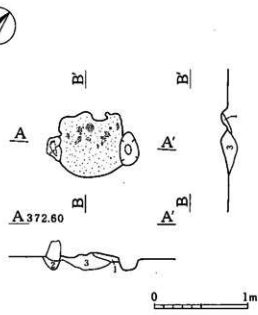
SB 36



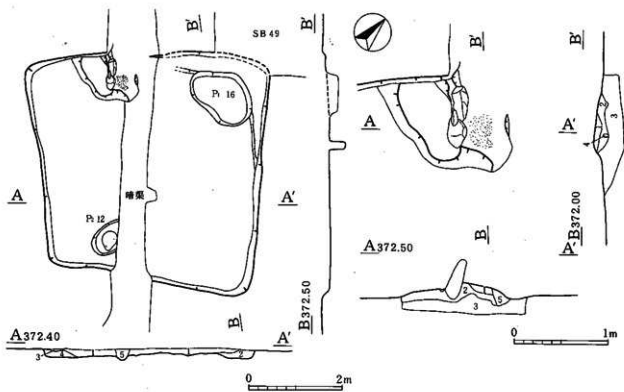
SB 46



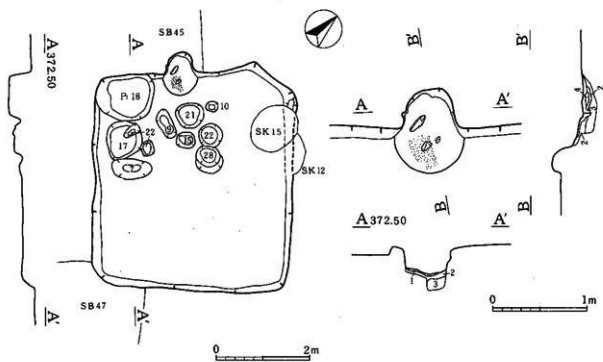
SB 45



第53图 SB 36·45·46

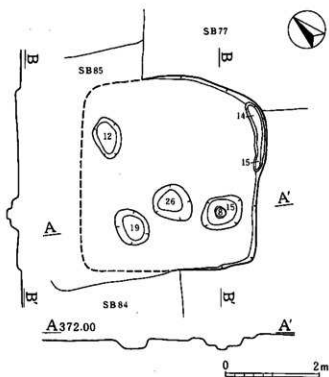


SB 47

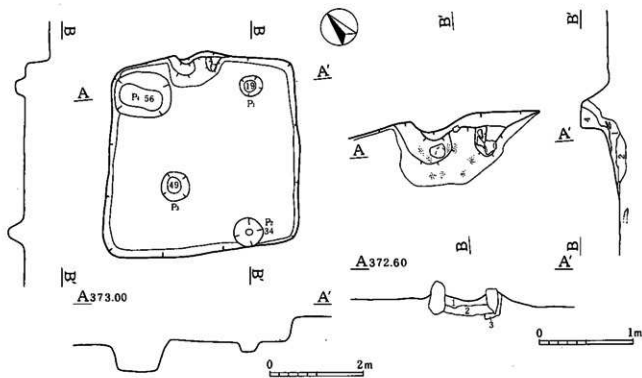


SB 49

第54图 SB 47·49

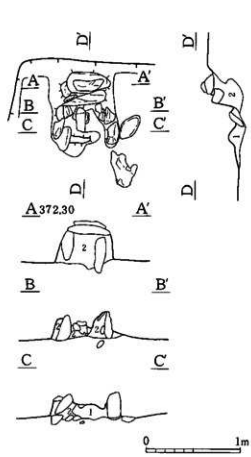
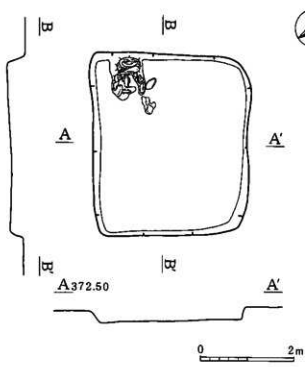


SB 59

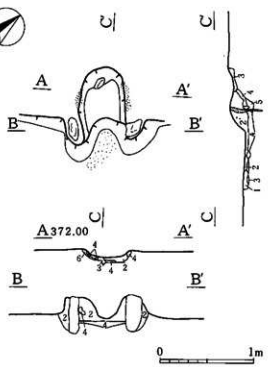
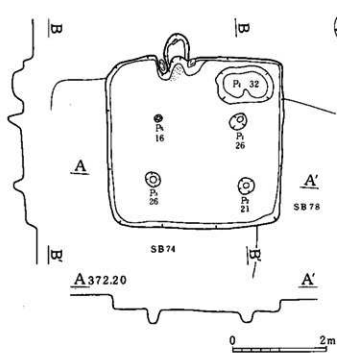


SB 67

第55图 S B 59 · 67

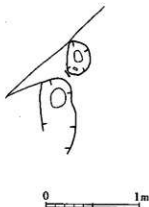
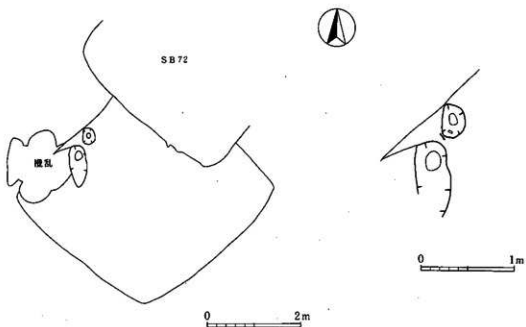


SB 68

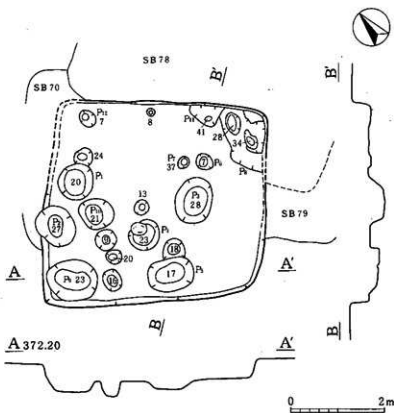


SB 70

第56图 SB 68 · 70

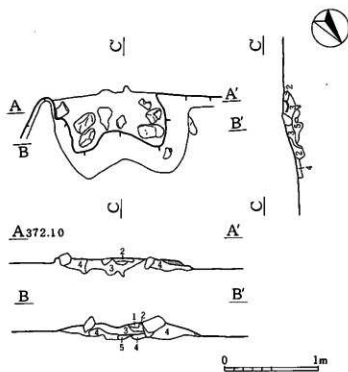
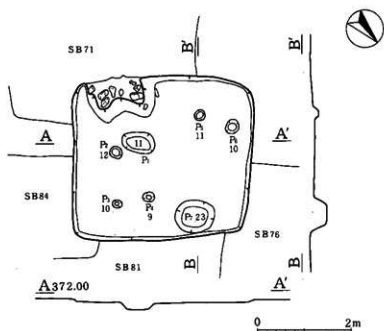


SB71

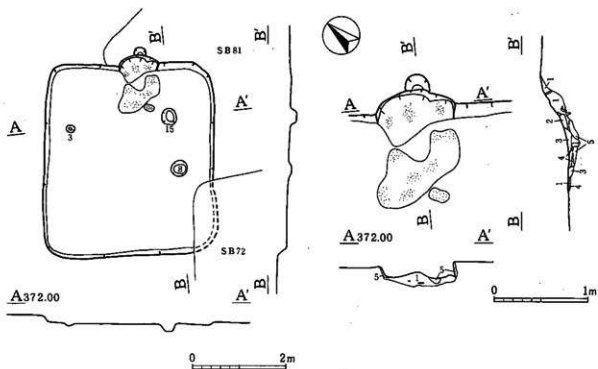


SB74

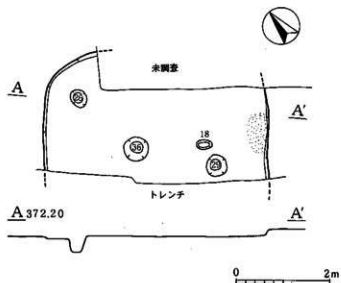
第57图 SB71·74



第58圖 S B72

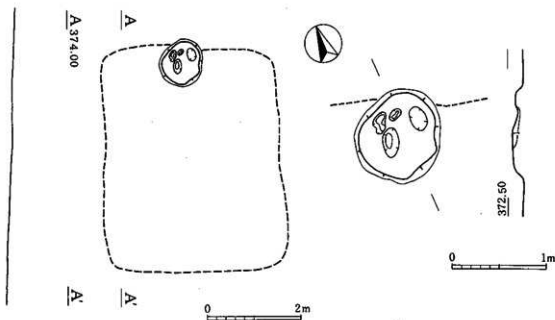


SB 76

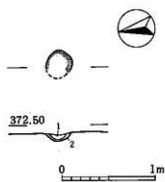


SB 87

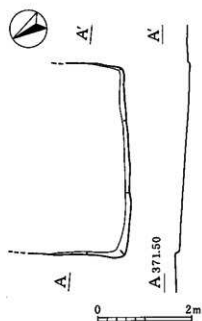
第59図 SB 76・87



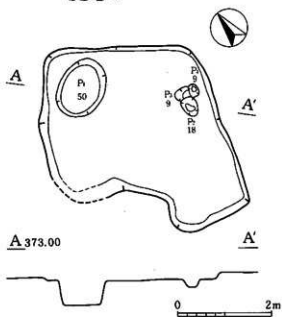
SB03



SB24

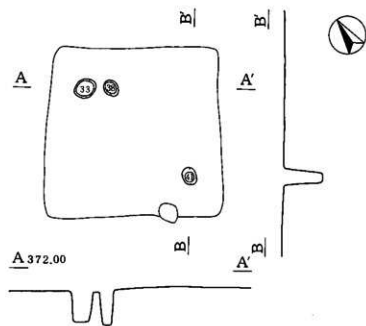


SB34

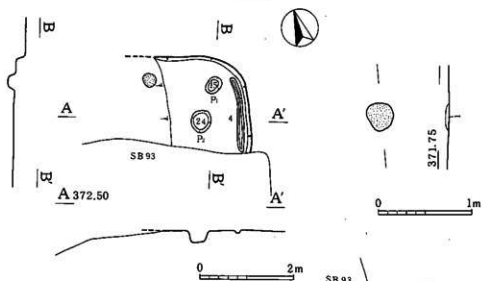


SB38

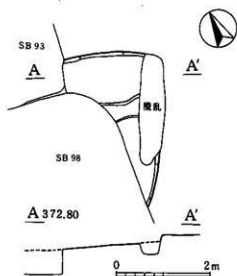
第60圖 S B 03 · 24 · 34 · 38



SB 57

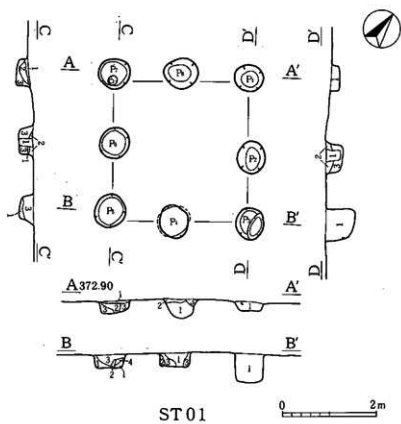


SB 94

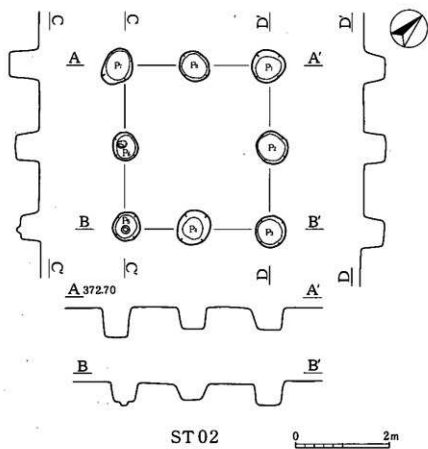


SB 99

第61圖 S B 57 · 94 · 99

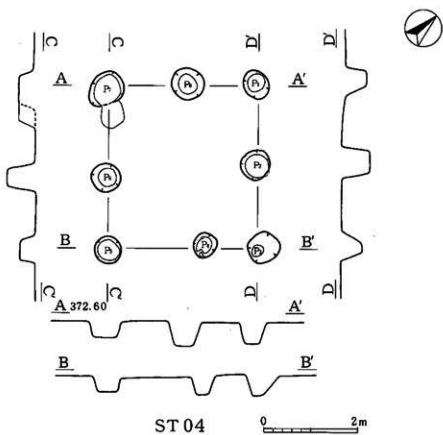
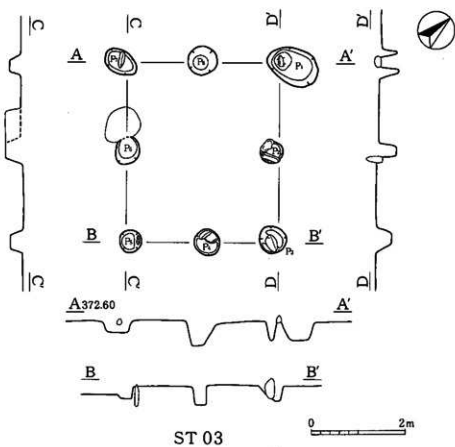


ST 01

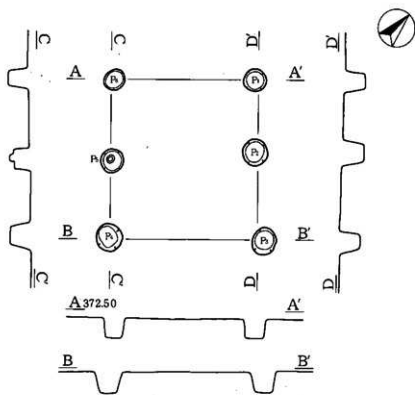


ST 02

第62圖 ST 01・02

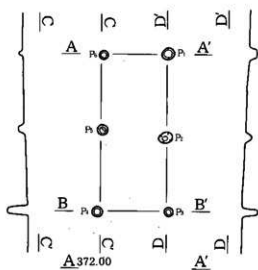


第63圖 ST 03·04



ST 05

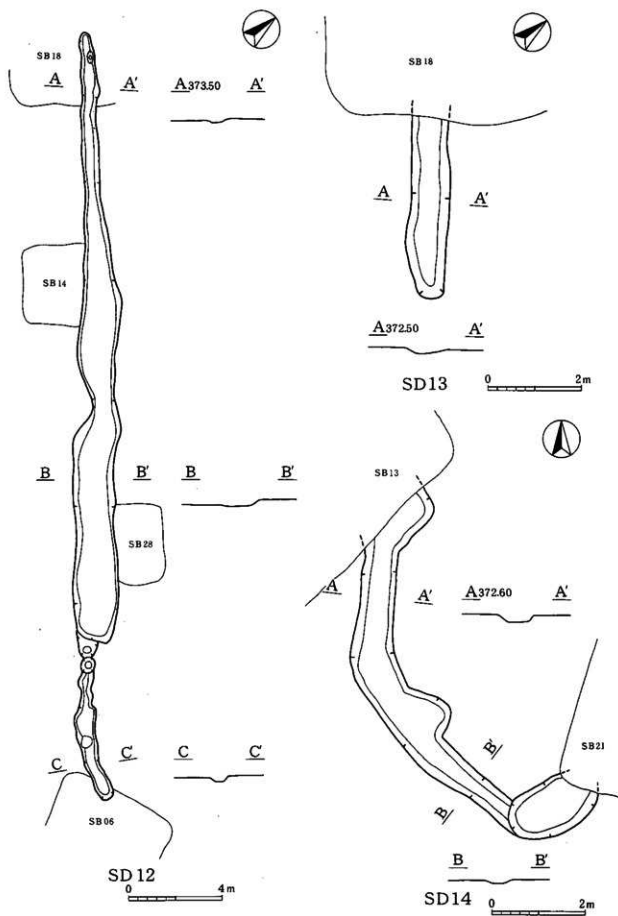
0 2m



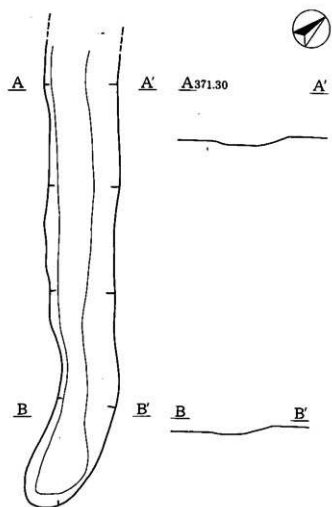
ST 06

0 2m

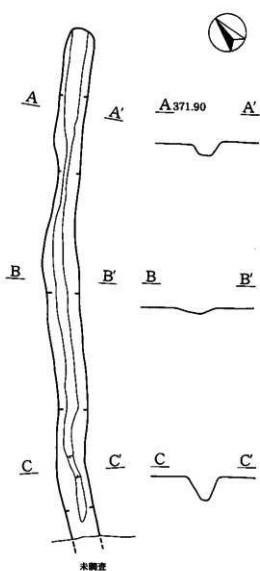
第64图 ST 05 · 06



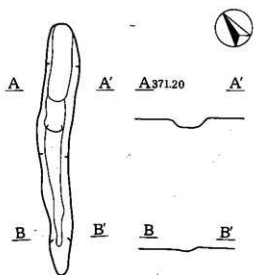
第65圖 SD12・13・14



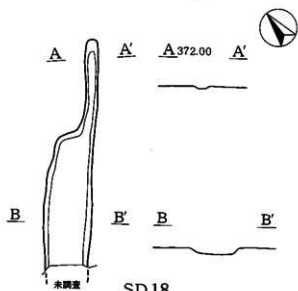
SD15



SD16



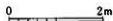
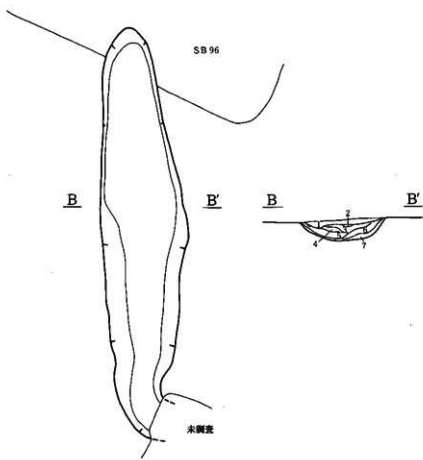
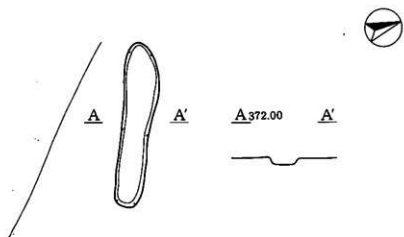
SD17



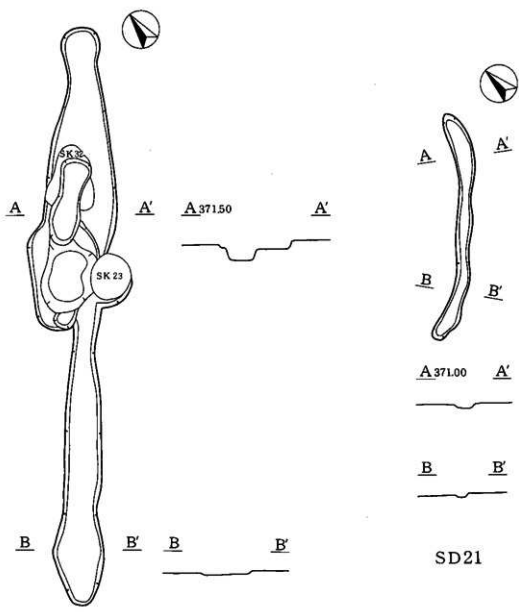
SD18



第66圖 SD15・16・17・18



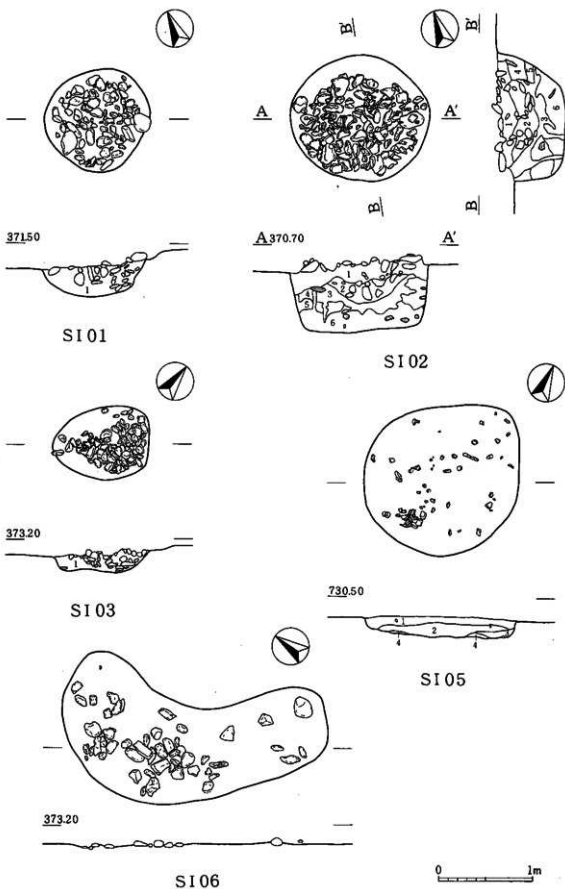
第67圖 S D19



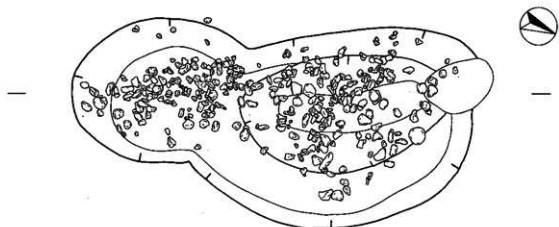
SD 20

SD21

第68圖 S D20 · 21



第69图 S I 01 · 02 · 03 · 05 · 06

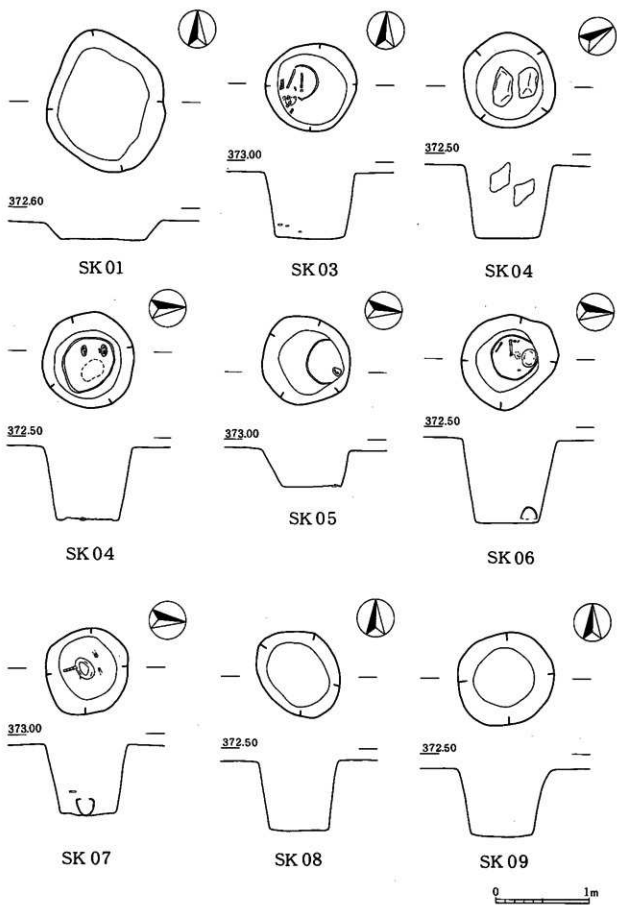


373.50

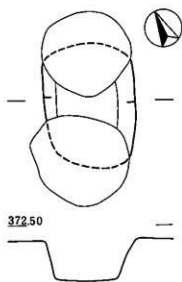


0 1m

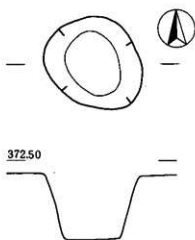
第70図 S 104



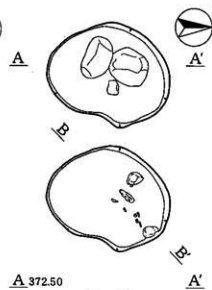
第71图 SK01·03·04·05·06·07·08·09



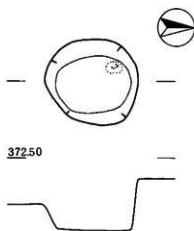
SK10



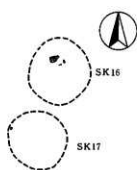
SK11



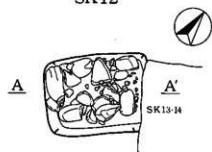
SK12



SK15



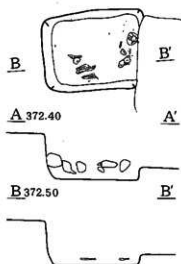
SK16-17



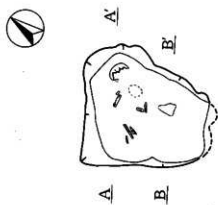
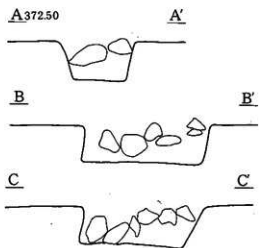
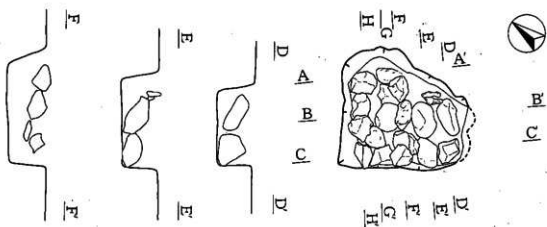
SK18



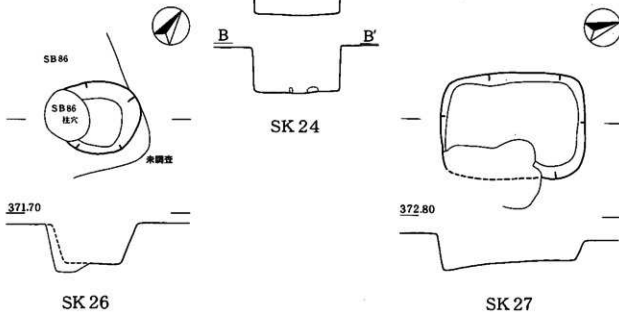
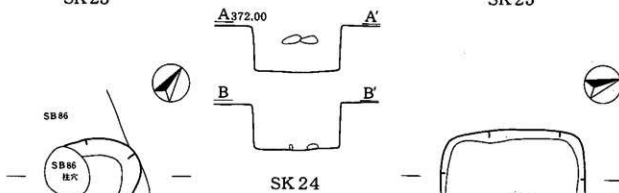
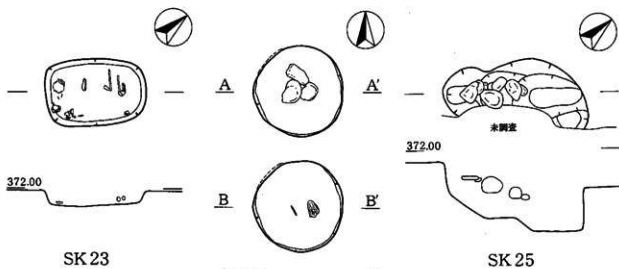
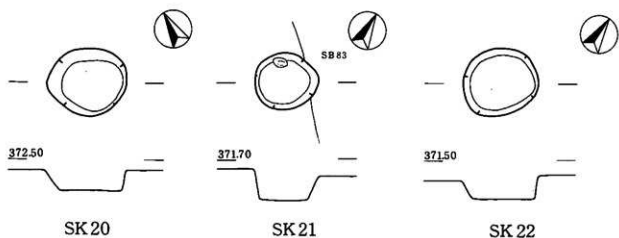
SK19



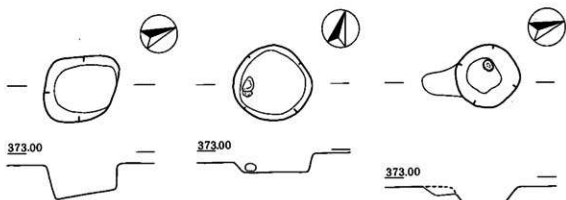
第72圖 SK10 · 11 · 12 · 15 · 16 · 17 · 18 · 19



第73圖 SK13·14



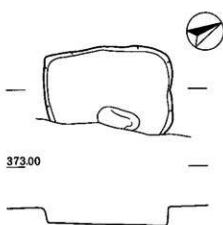
第74圖 SK 20・21・22・23・24・25・26・27



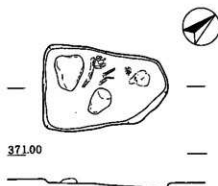
SK28

SK29

SK30



SK31



SK32



SK33

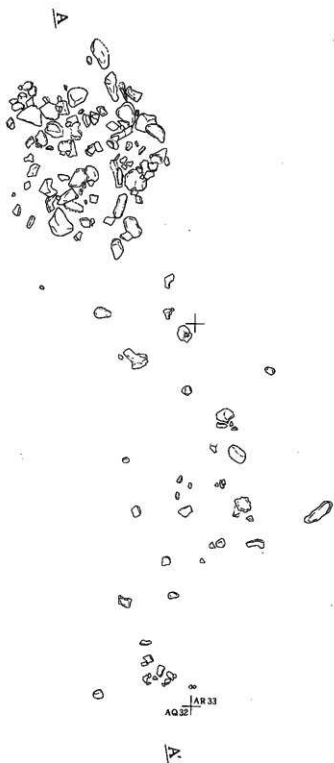


第75圖 SK28・29・30・31・32・33

AS 32 | AT 33

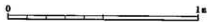


A 37270

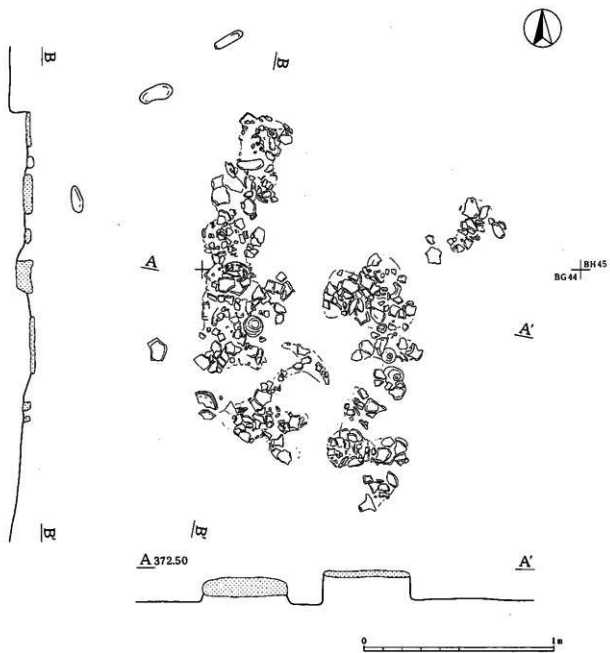


AR 33
AQ 32

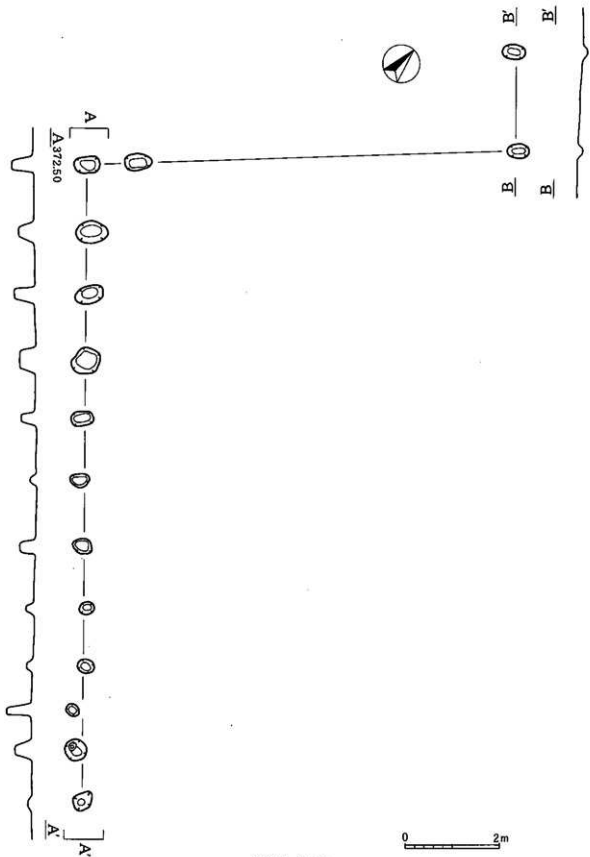
A



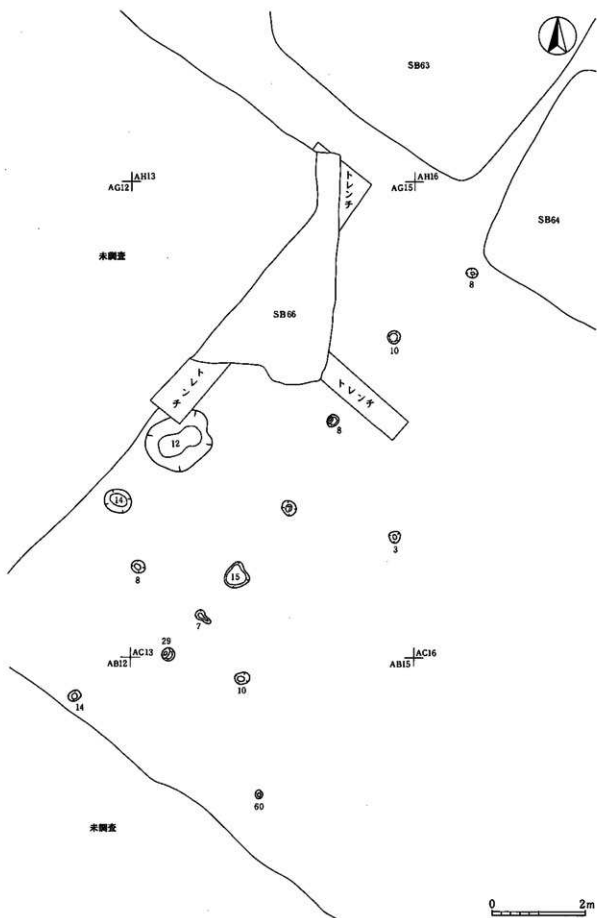
第76图 土器集中区1



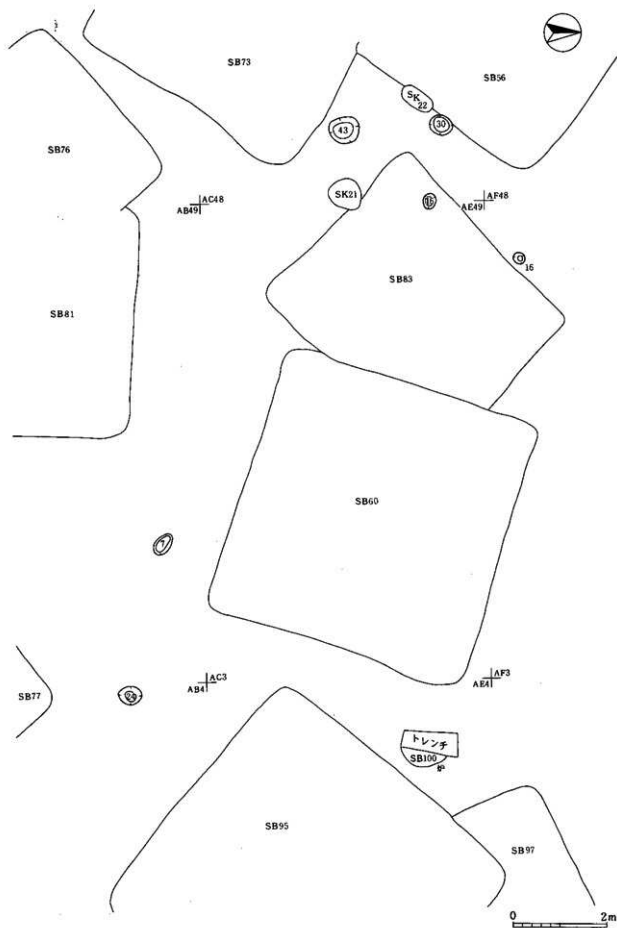
第77图 土器集中区 2



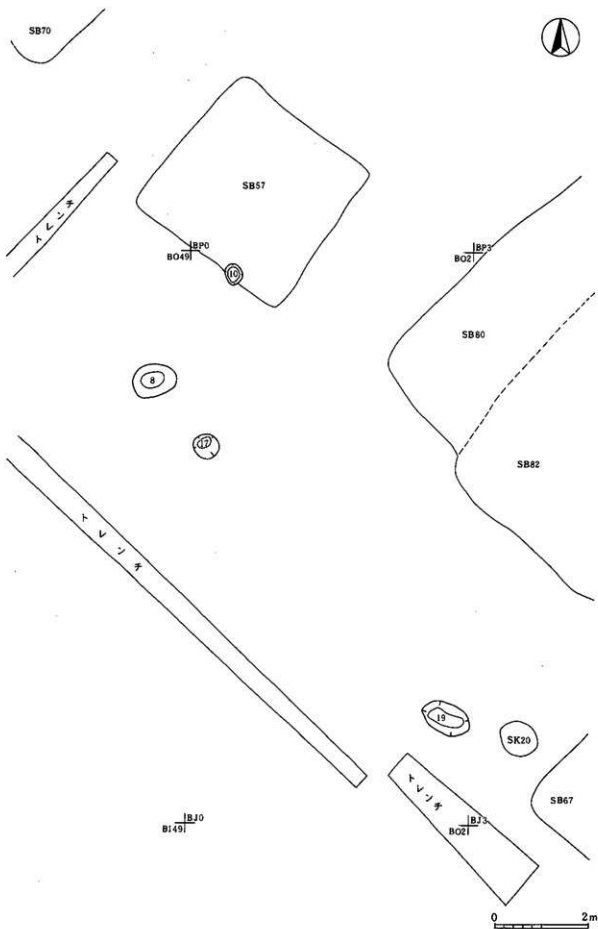
第78图 SA01



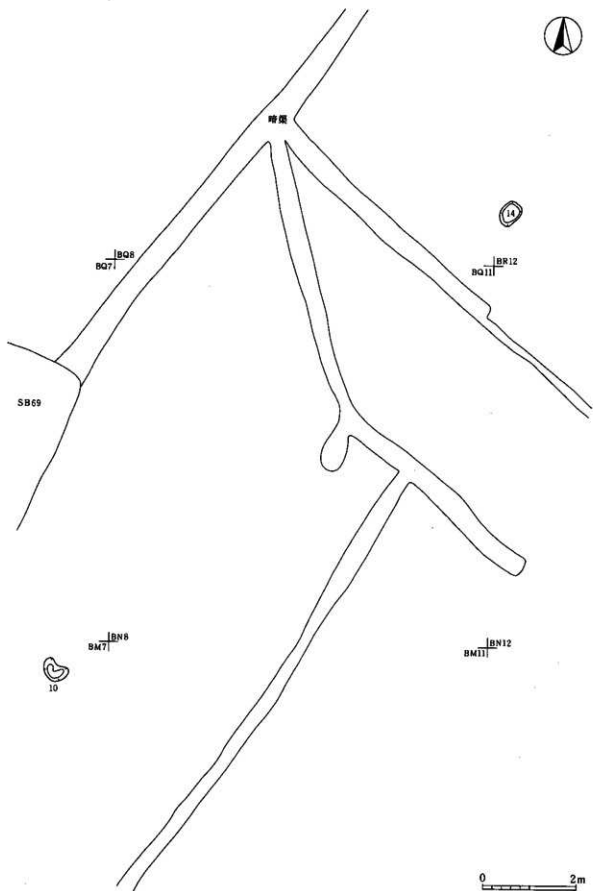
第79回 ビット(1)



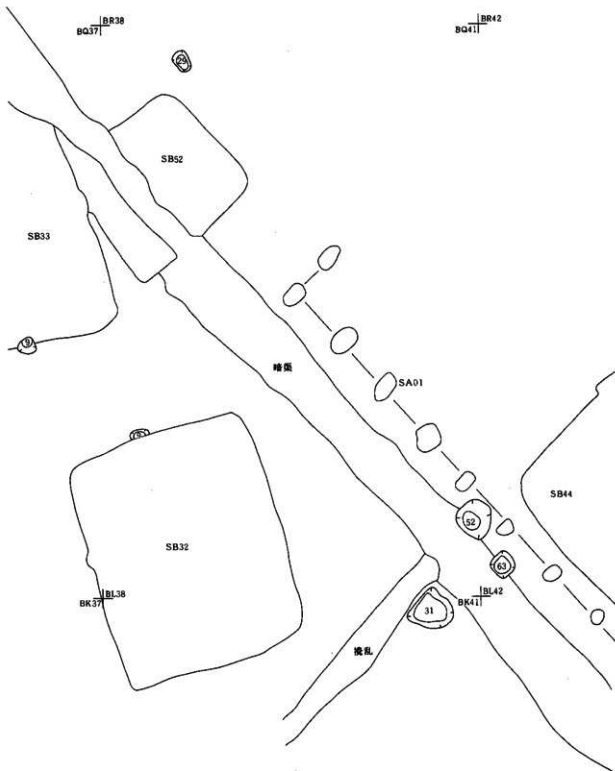
第80図 ビット(2)



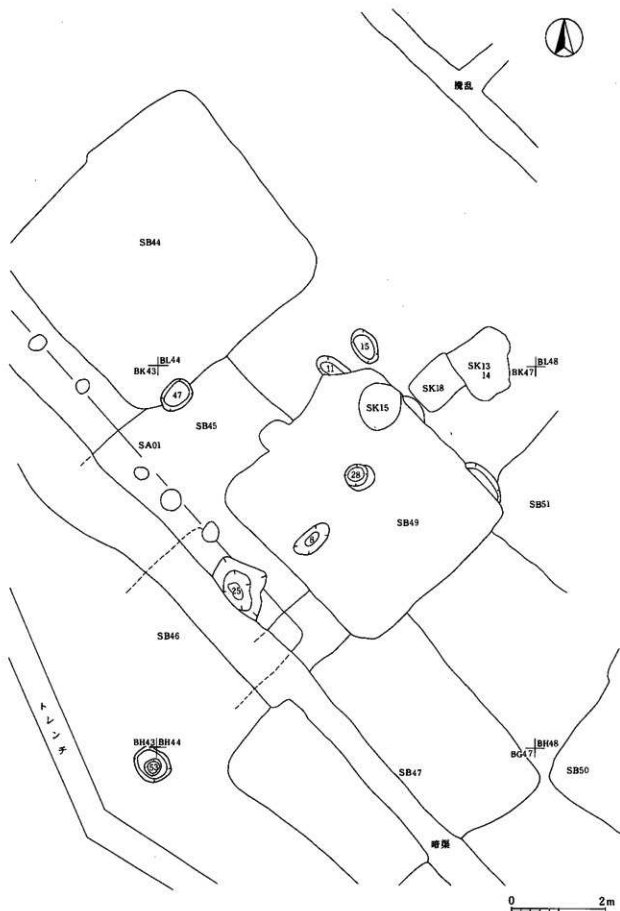
第81図 ビット(3)



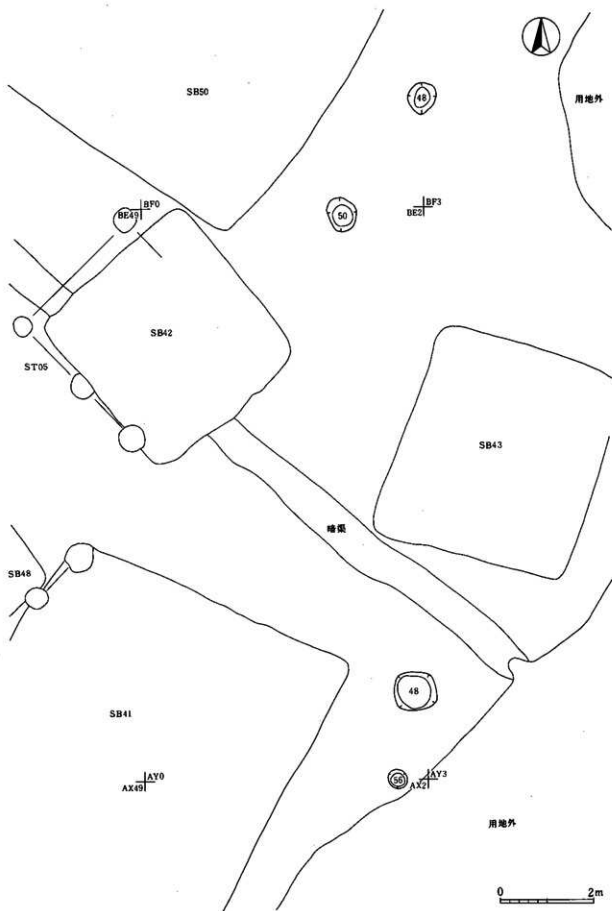
第82図 ビット(4)



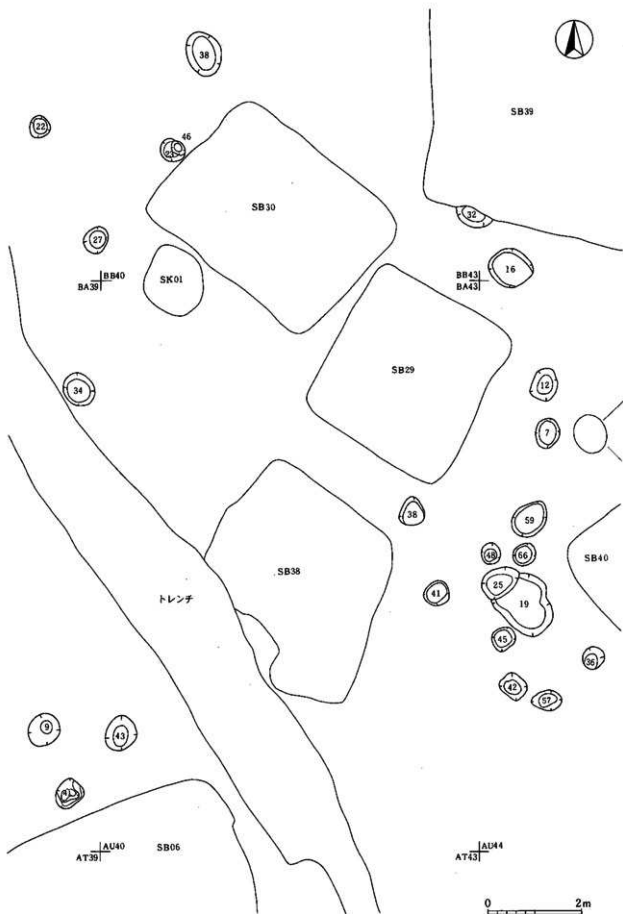
第83図 ピット(5)



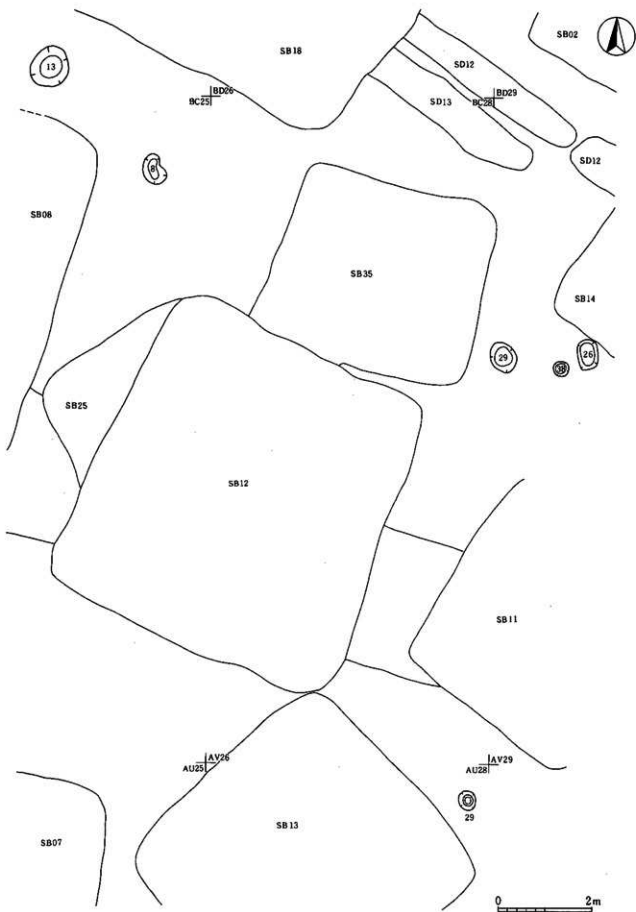
第84図 ビット(6)



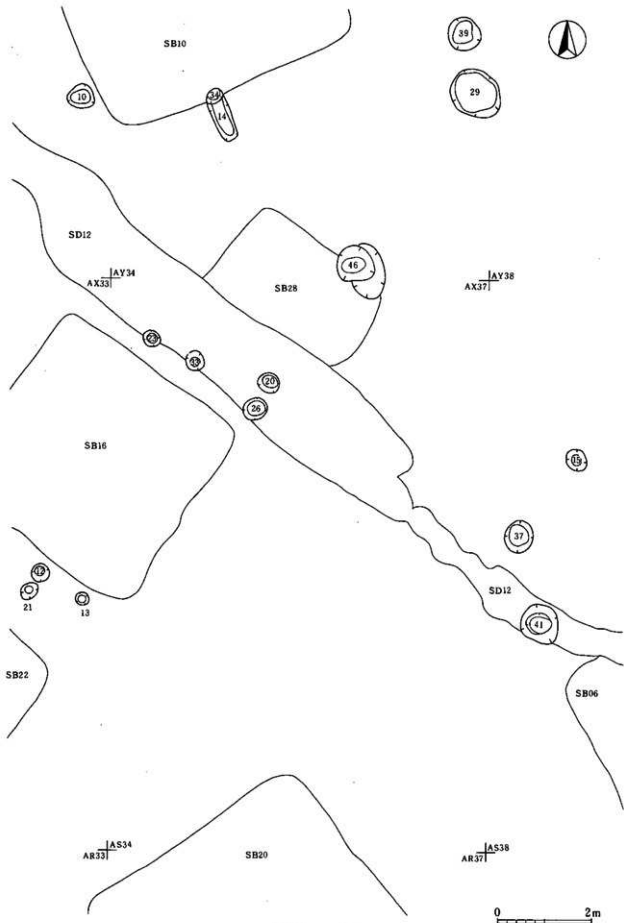
第85図 ピット(7)



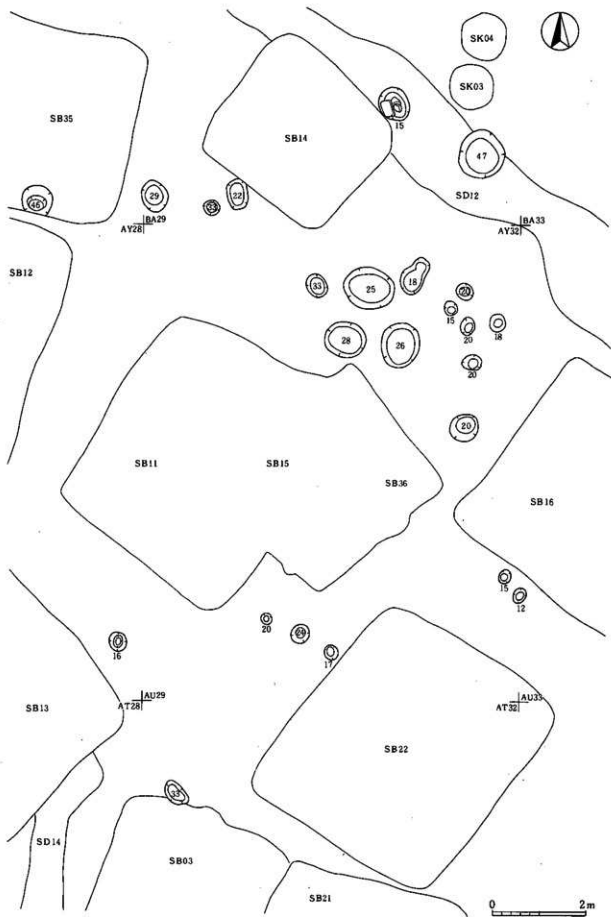
第86図 ビット(8)



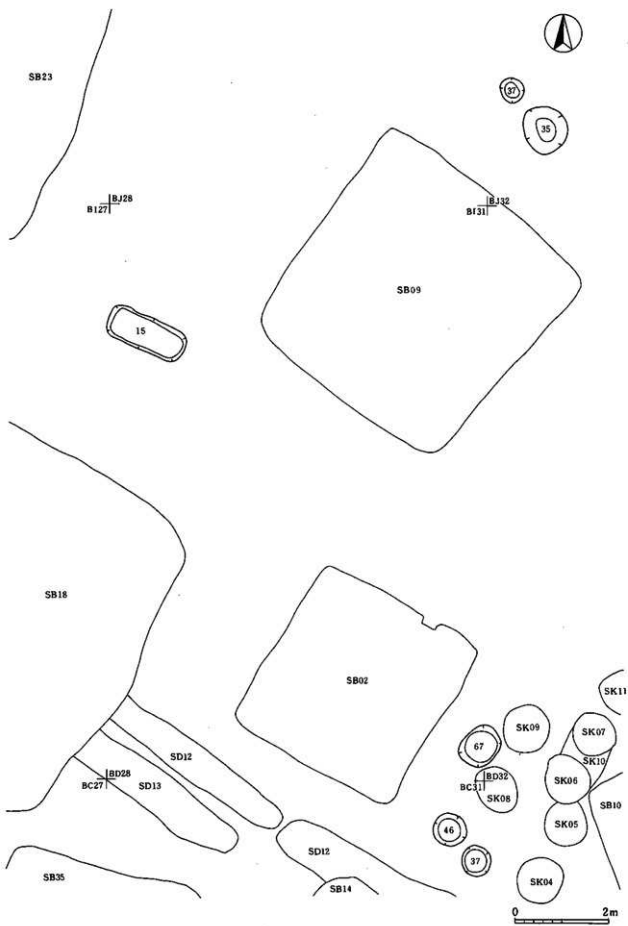
第87図 ピット(9)



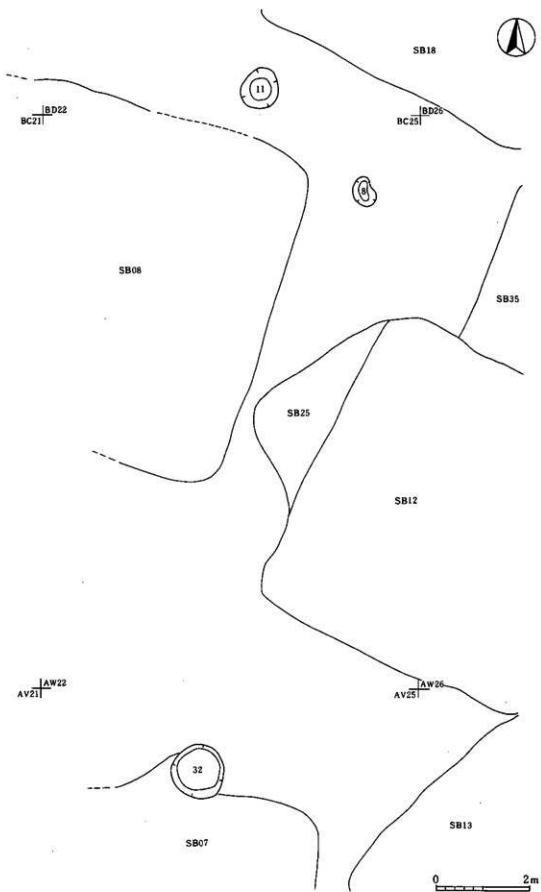
第88図 ビット00



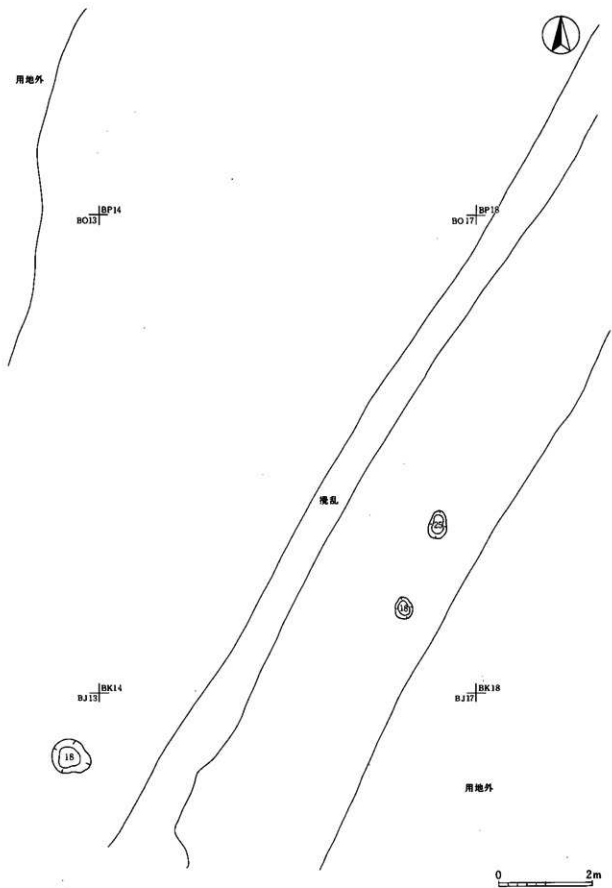
第89図 ピット(1)



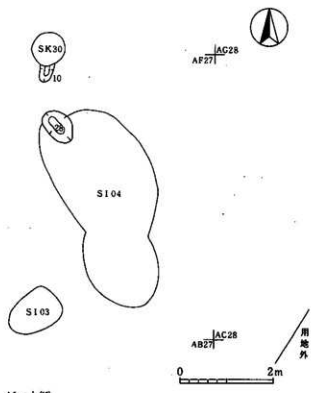
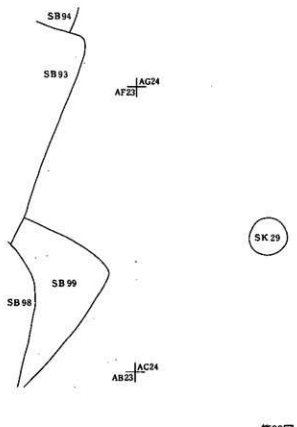
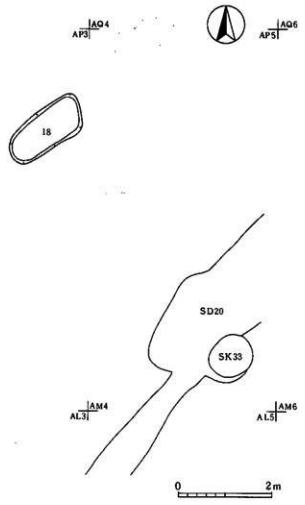
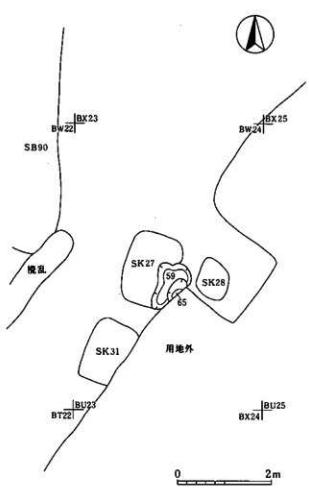
第90図 ビット02



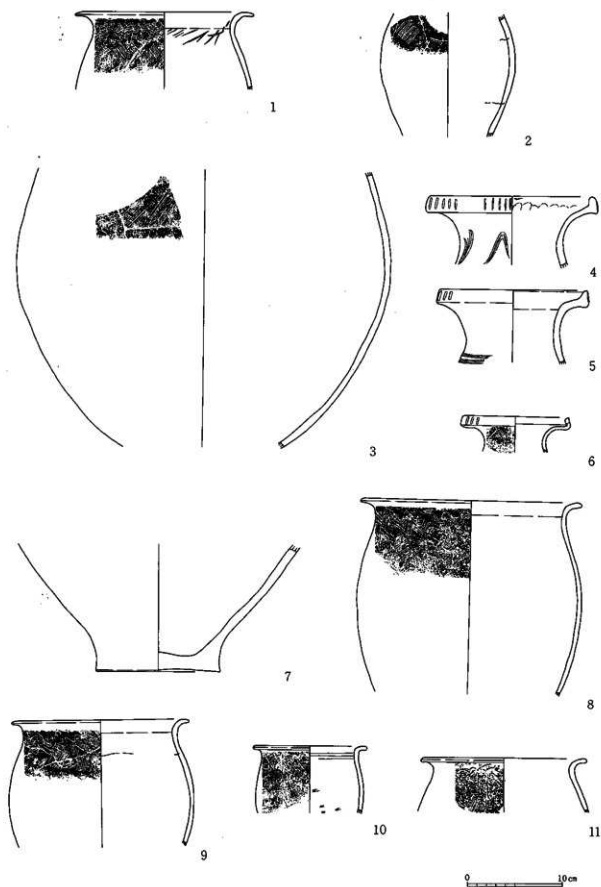
第91図 ビット03



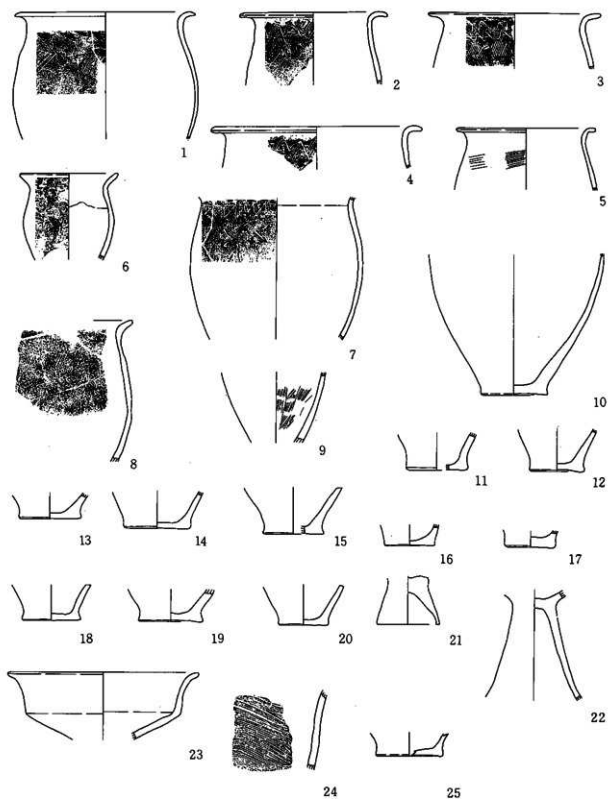
第92回 ビット00



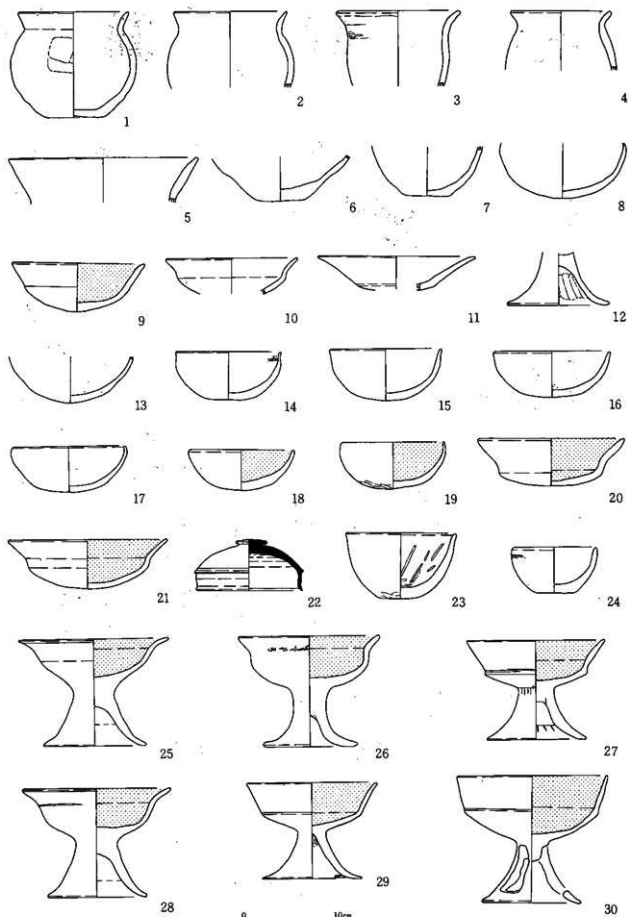
第93図 ビット9



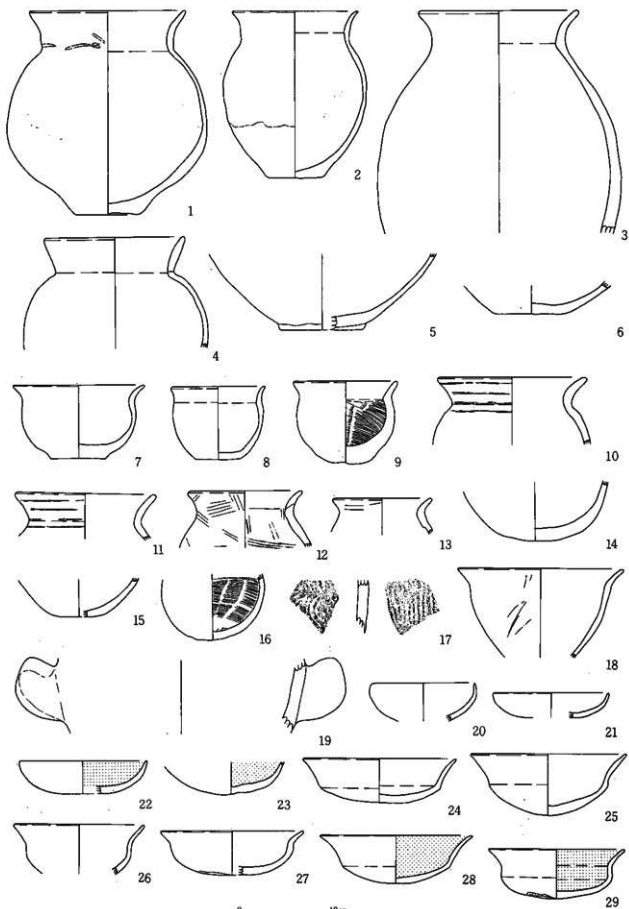
第94图 出土遗物 1-3 SB66
4-11 SB63



第95図 出土遺物 1-23 S B 63
24-25 S B 100

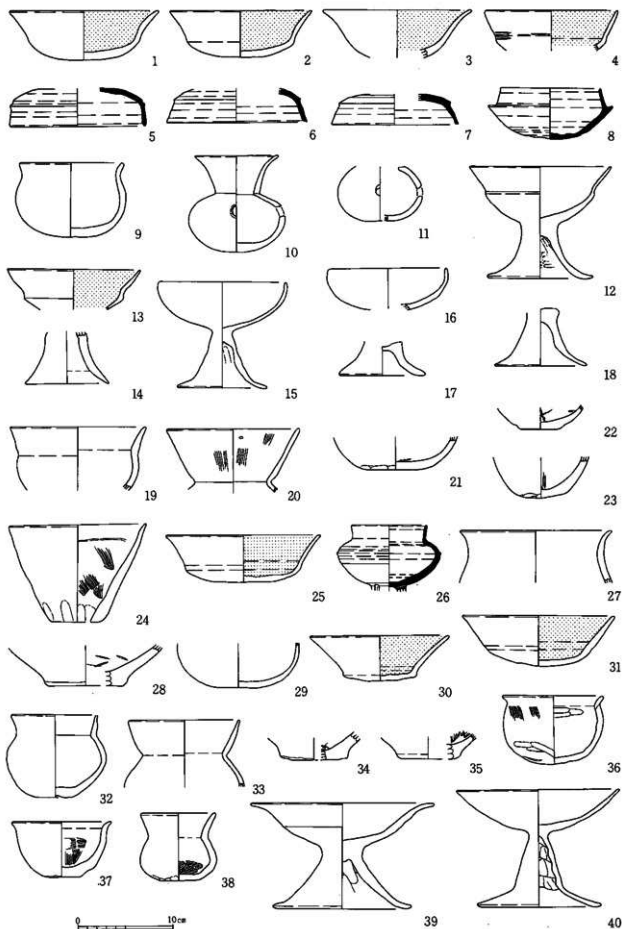


第96图 出土遺物 1~12 S B01
13~30 S B02



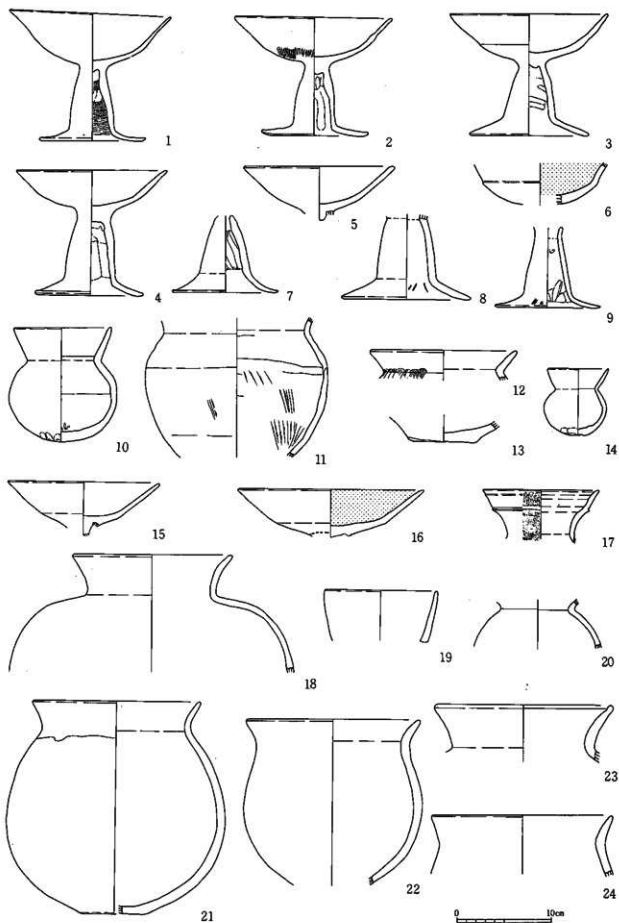
0 10cm

第97图 出土遗物 1-29 SB04

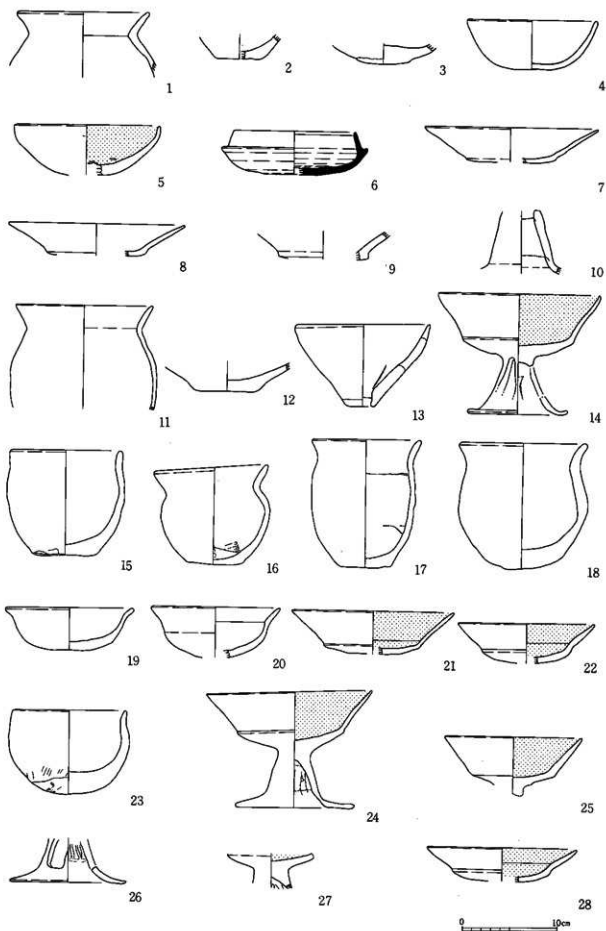


第98図 出土遺物

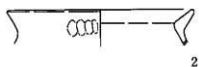
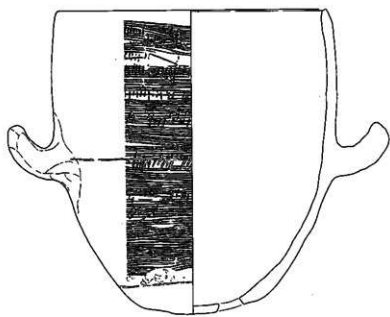
1~18 S B04 27~31 S B08
19~26 S B07 32~40 S B09



第99圖 出土遺物 1-9 SB09 18-24 SB12
10-17 SB10



第100図 出土遺物 1-10 SB12 15-28 SB18
11-14 SB13



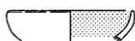
2



3



4



5



6



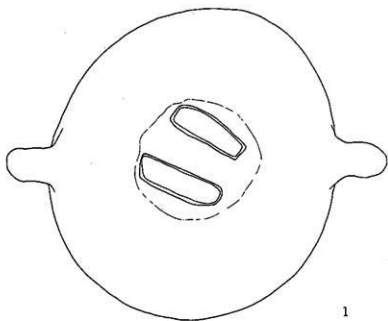
7



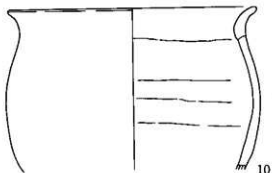
8



9



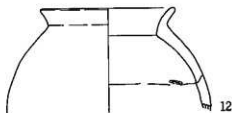
1



10

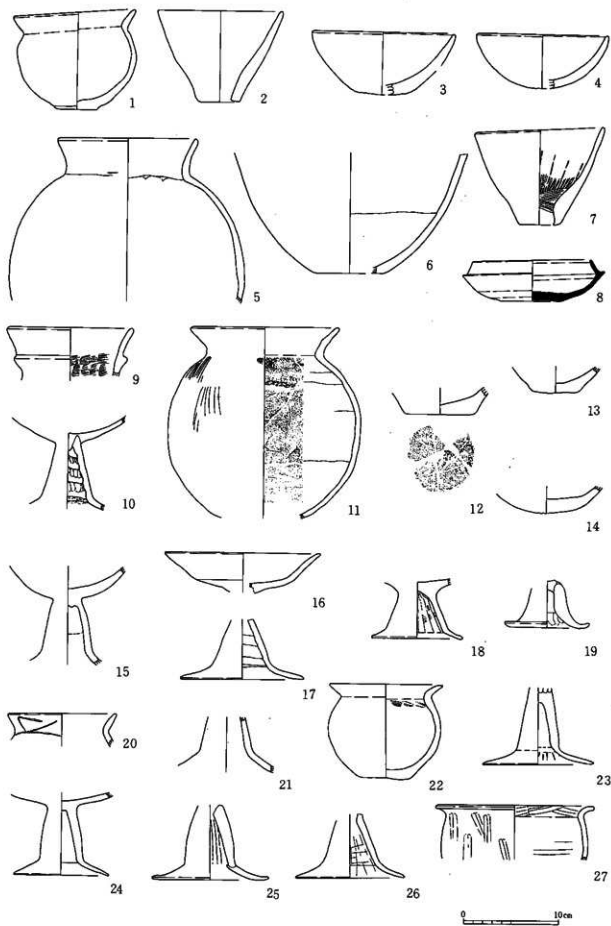


11

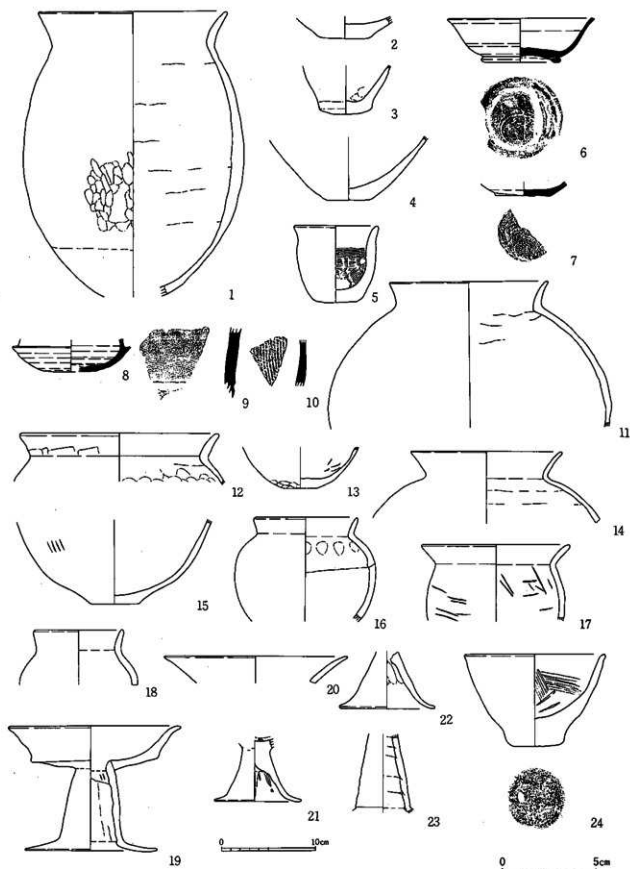


12

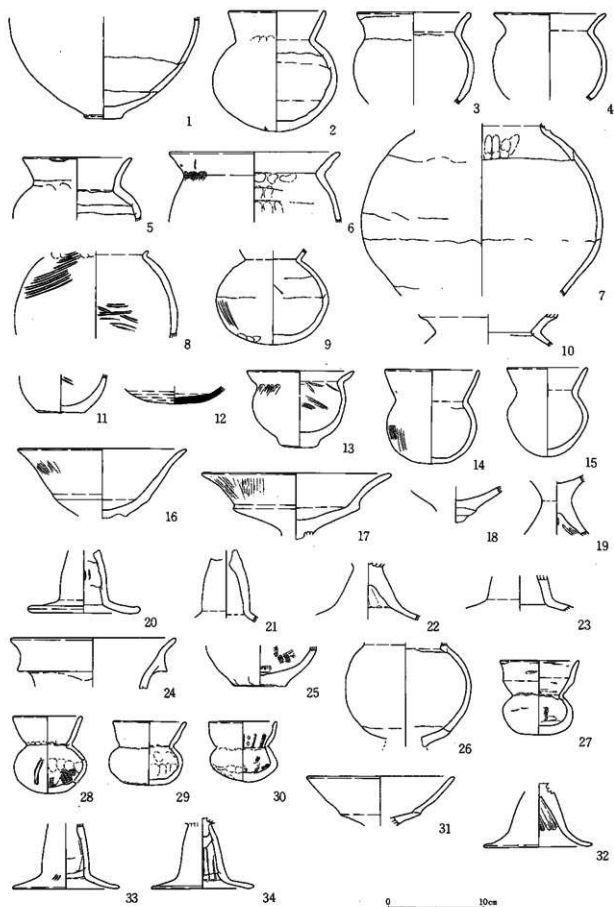
第101図 出土遺物 1 SB18 10~12 SB20
2~9 SB19



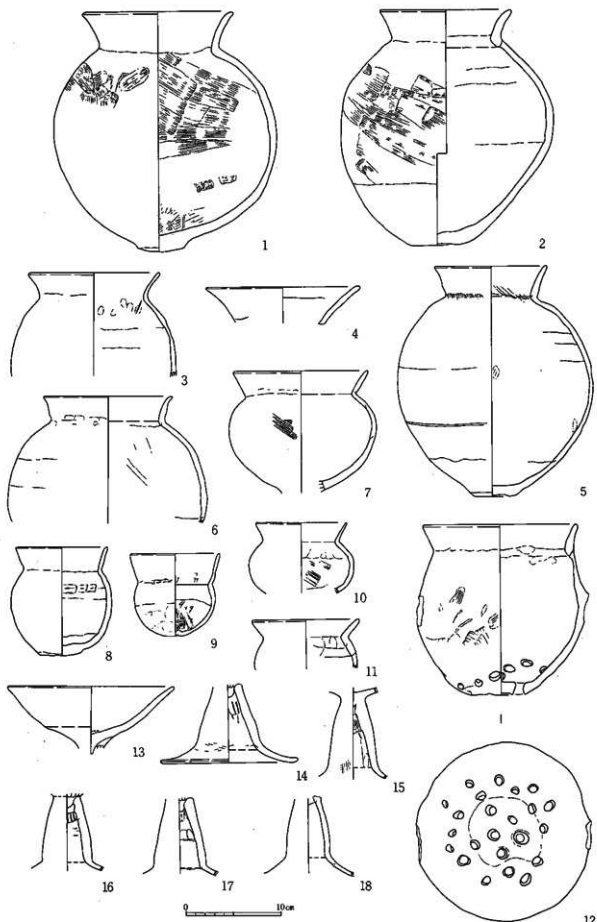
第102図 出土遺物 1~4 S B20 9~19 S B22 22·23 S B25 27 S B27
5~8 S B21 20·21 S B23 24~26 S B26



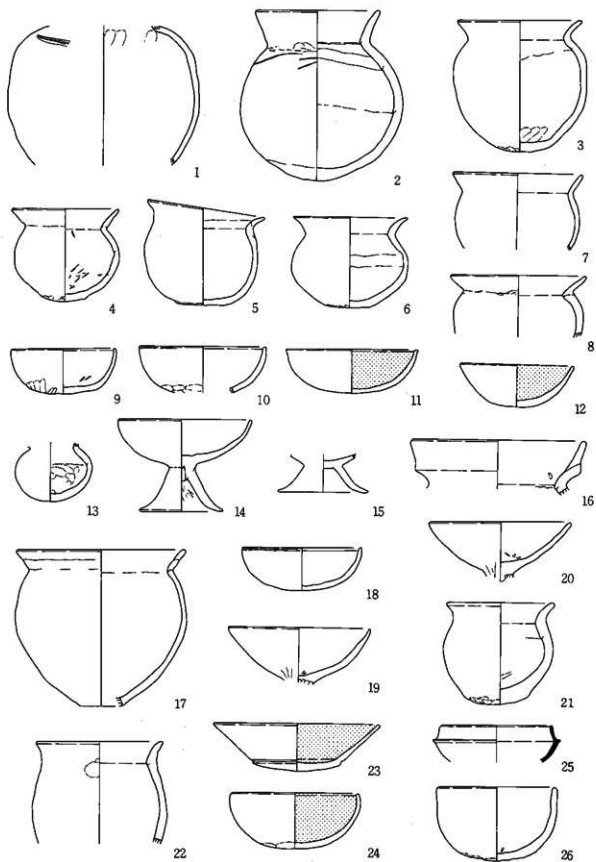
第103团 出土遺物 1~7 SB28 11~13 SB32
8~10 SB29 14~24 SB33



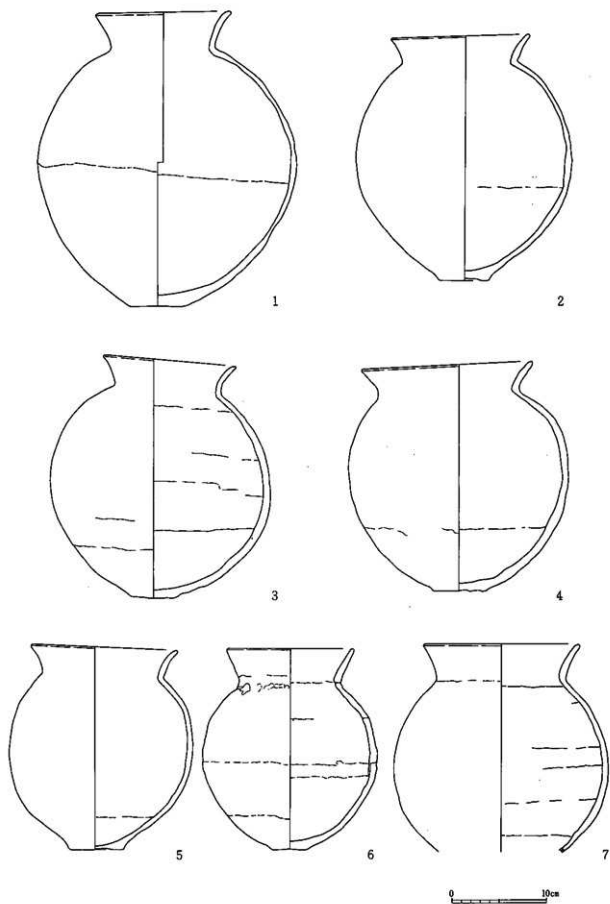
第104图 出土遺物 1-23 S B37
24-34 S B39



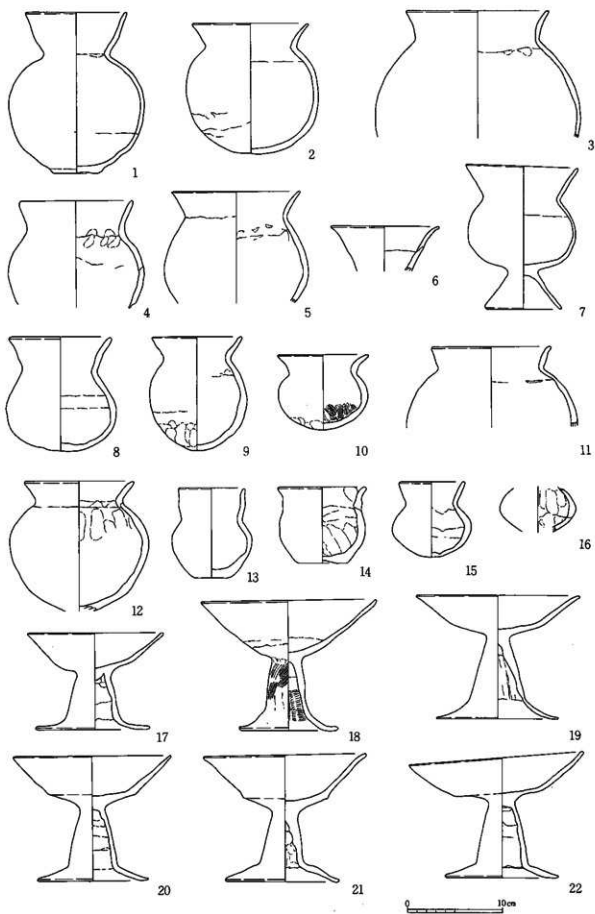
第105图 出土遗物 1~18 SB40



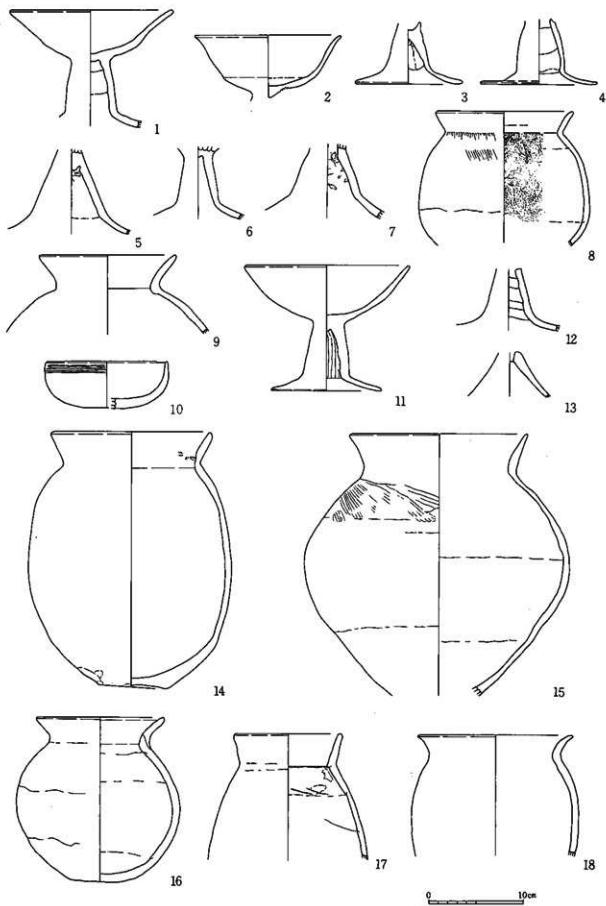
第106図 出土遺物 1~15 S B41 21~26 S B43
11~20 S B42



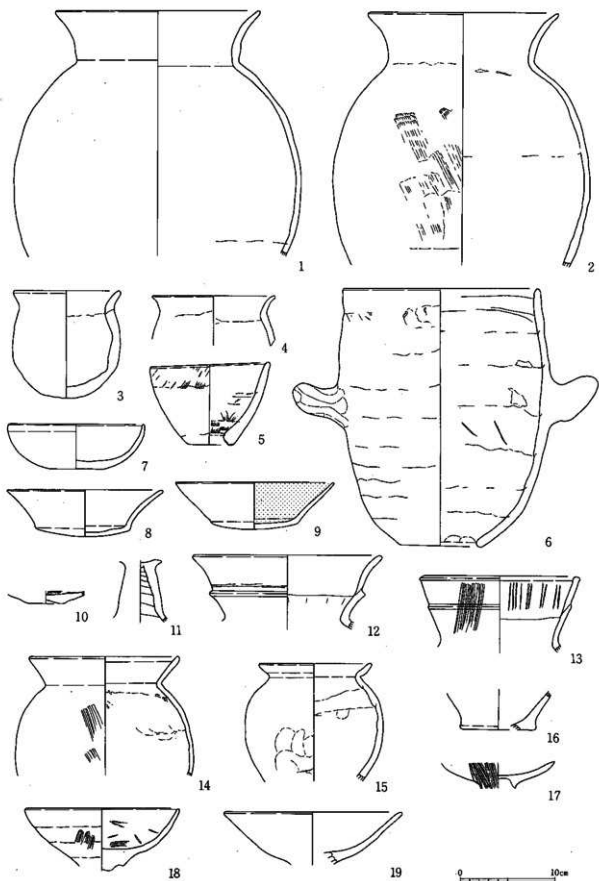
第107図 出土遺物 1~7 SB44



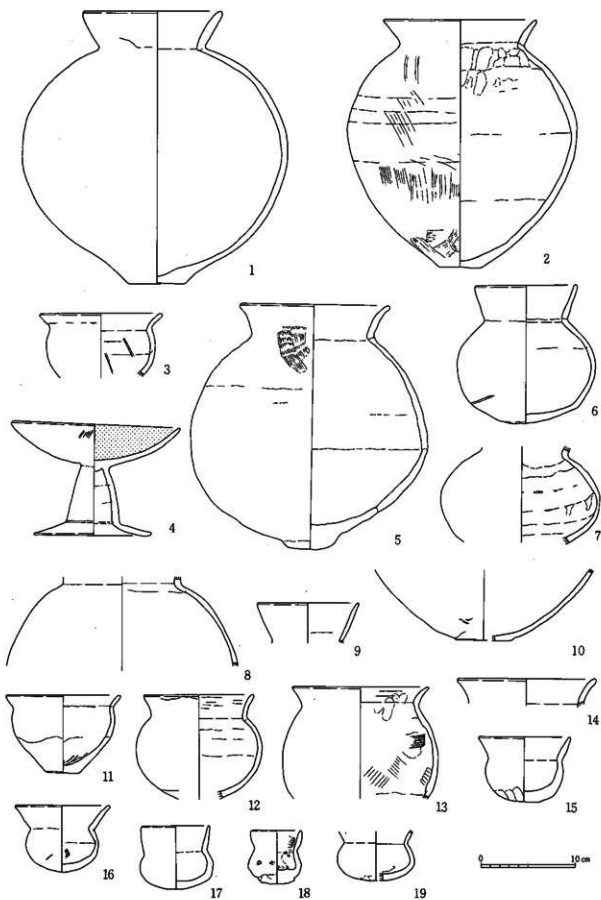
第108图 出土遺物 1-22 S B44



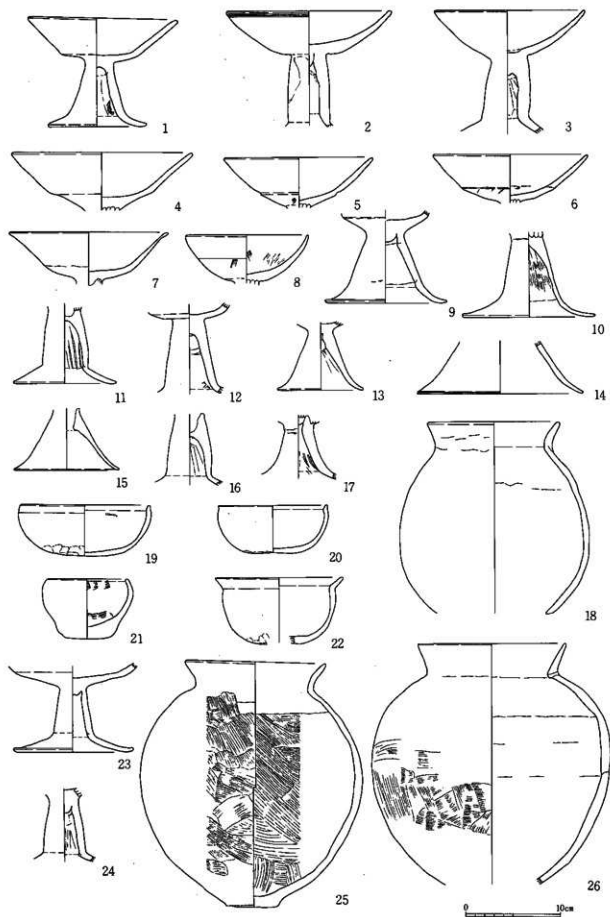
第109図 出土遺物 1~7 SB44 14~18 SB50
8~13 SB48



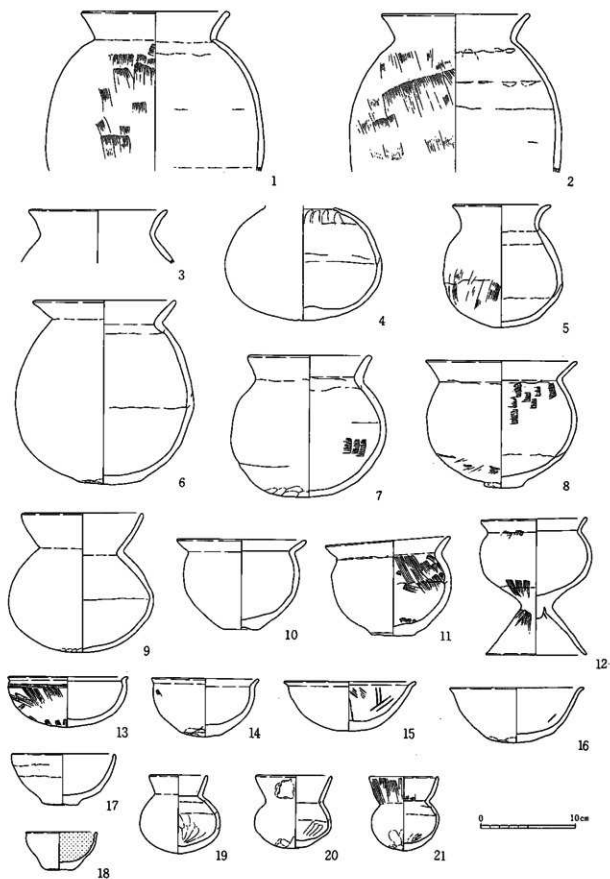
第110図 出土遺物 1-9 S B50 12-19 S B52
10・11 S B51



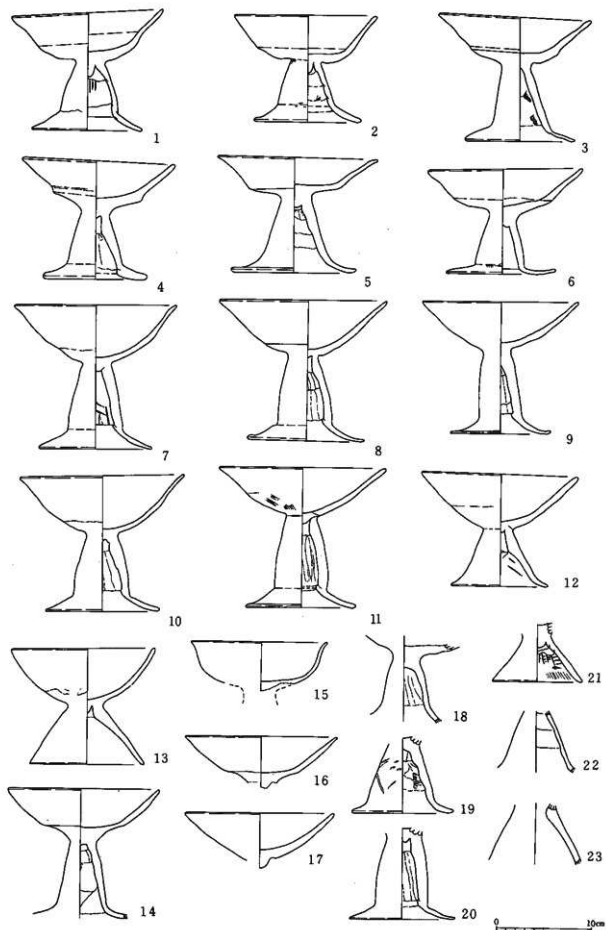
第111圖 出土遺物
 1-4 S B 53
 5-19 S B 54



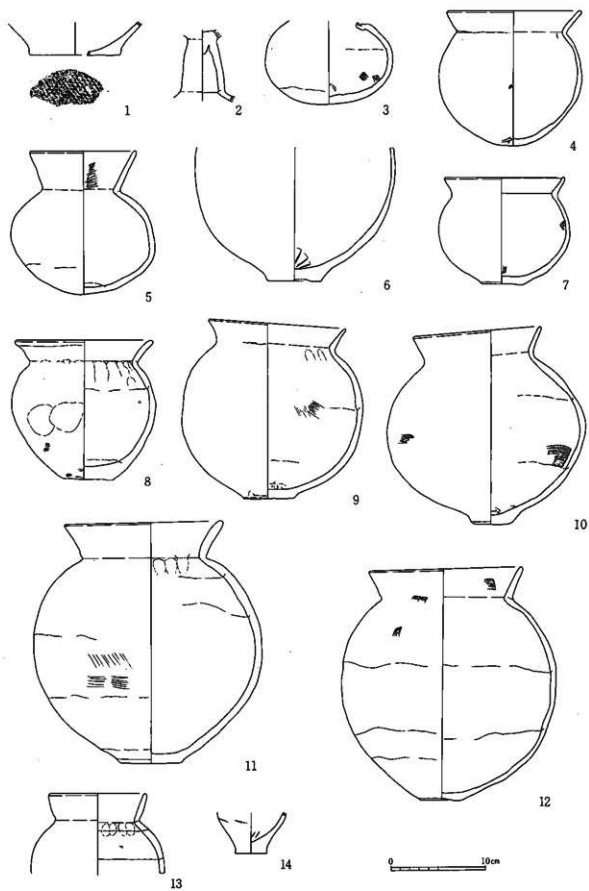
第112圖 出土遺物 1-17 S B54 25-26 S B60
18-24 S B58



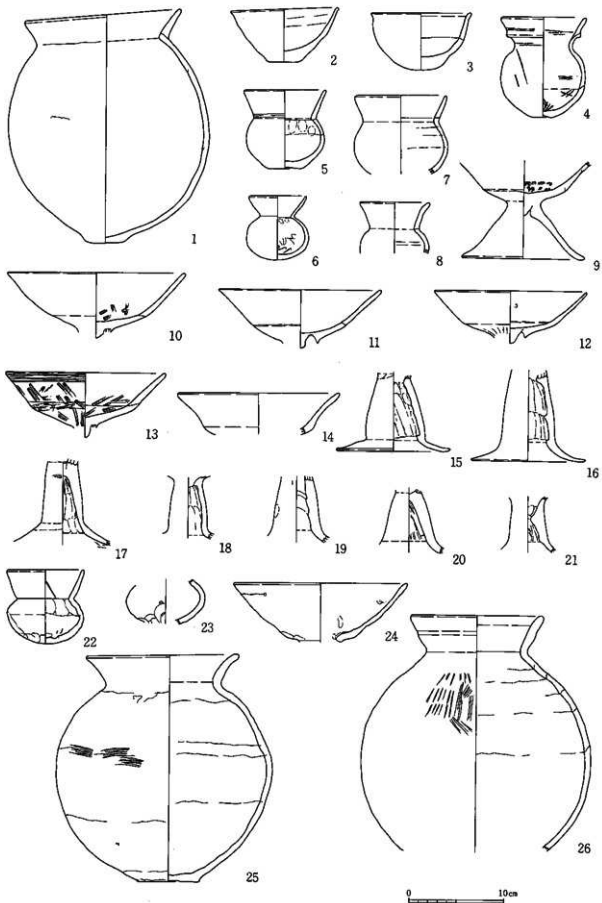
第113圖 出土遺物 1~21 SB60



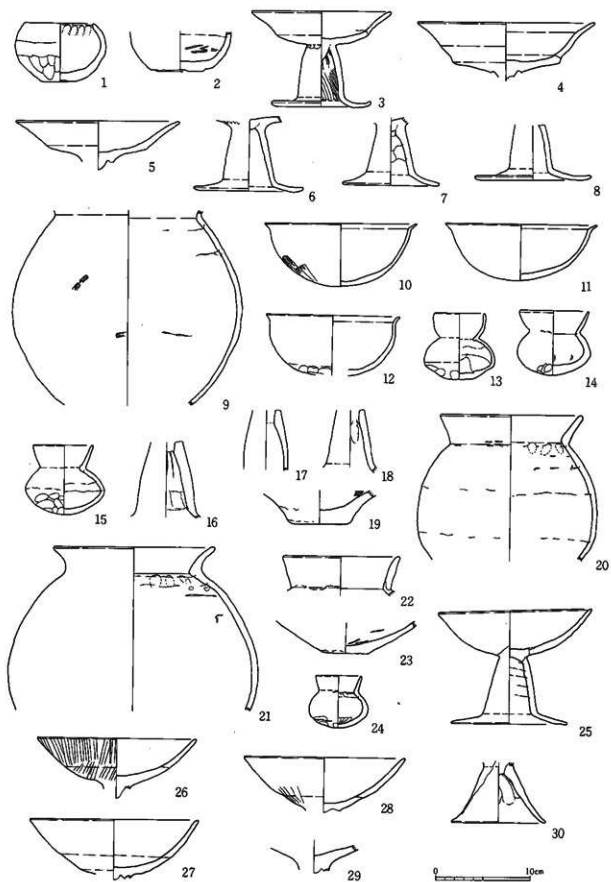
第114图 出土遺物 1~23 SB60



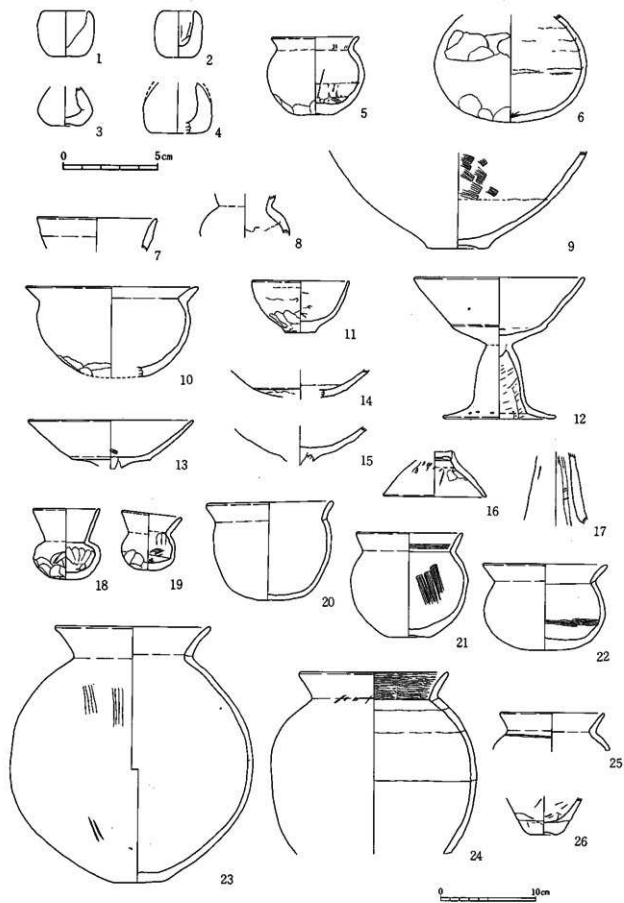
第115図 出土遺物 1・2 SB61 4~14 SB64
3 SB62



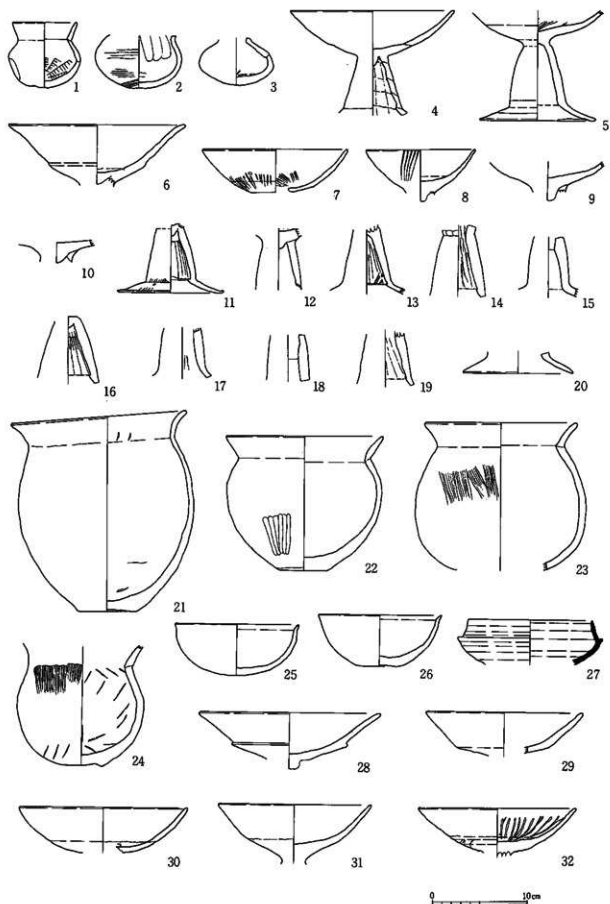
第116图 出土遺物 1-21 S B64 25-26 S B66
22-24 S B65



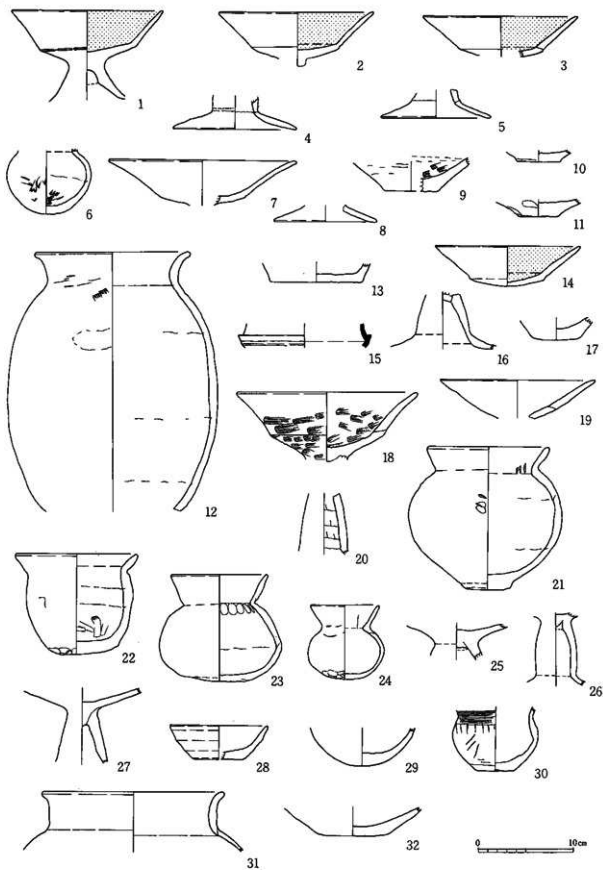
第117图 出土遗物 1-4 SB66 9-18 SB73
5-8 SB69 19-30 SB75



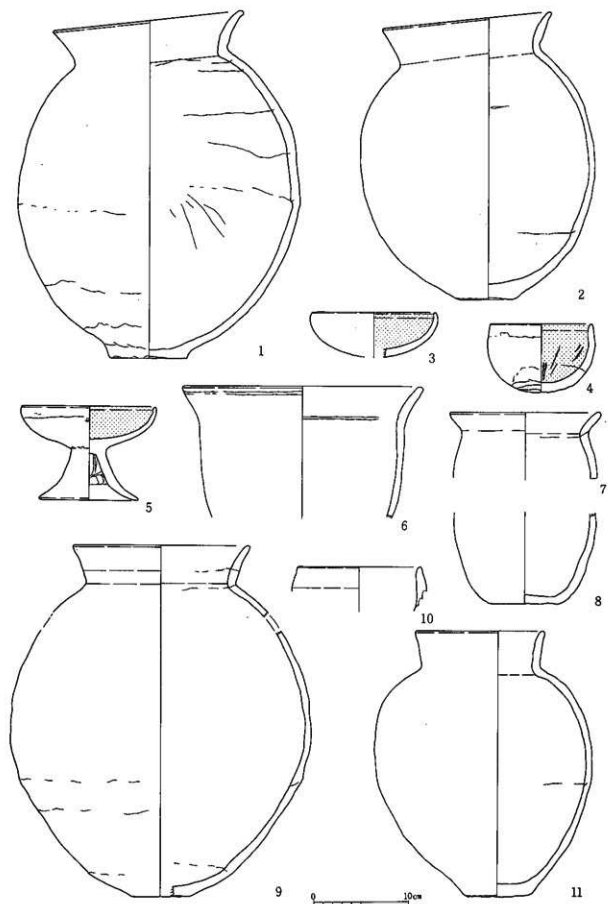
第118図 出土遺物 1-4 SB75 20-26 SB78
5-19 SB77



第119圖 出土遺物 1-20 S B78
21-32 S B80



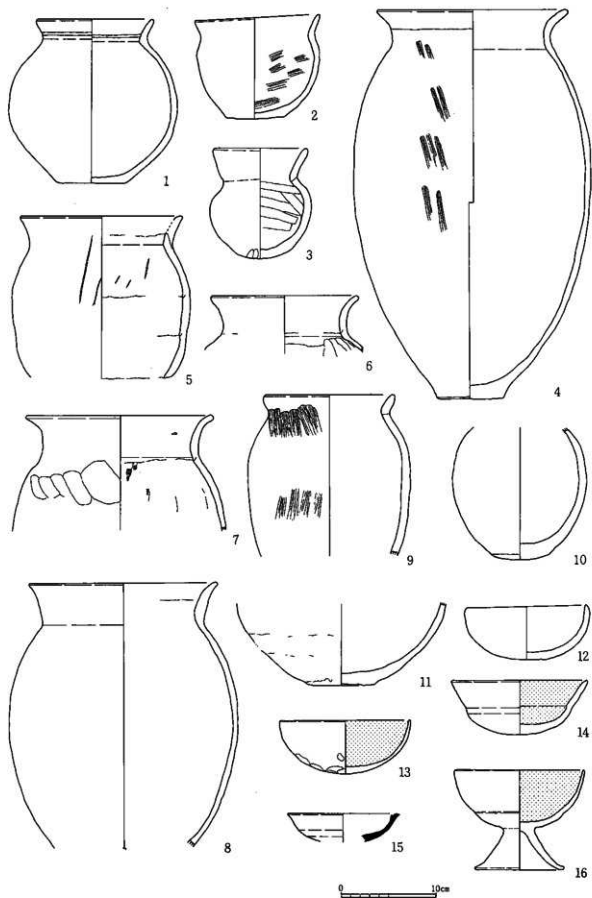
第120图 出土遺物 1~5 S B80 9~16 S B82 21~26 S B85 28~30 S B88
 6~8 S B81 17~20 S B83 27 S B86 31·32 S B89



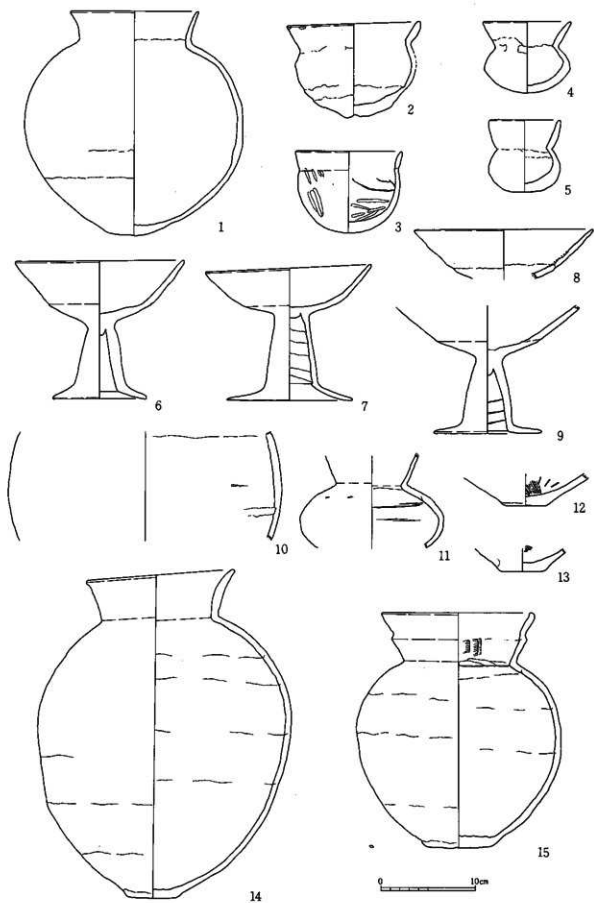
第121図 出土遺物

1-5 SB90 9 SB92

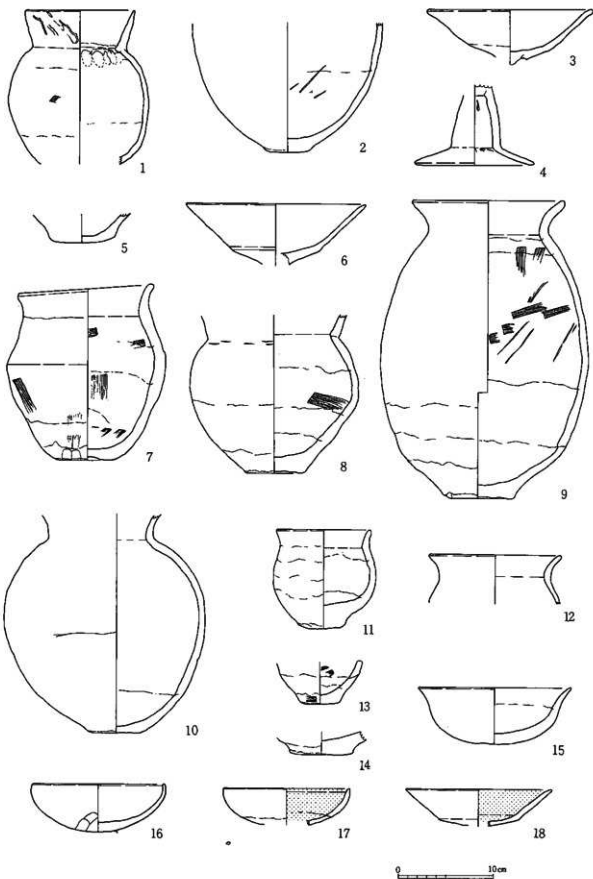
6-8 SB91 10-11 SB93



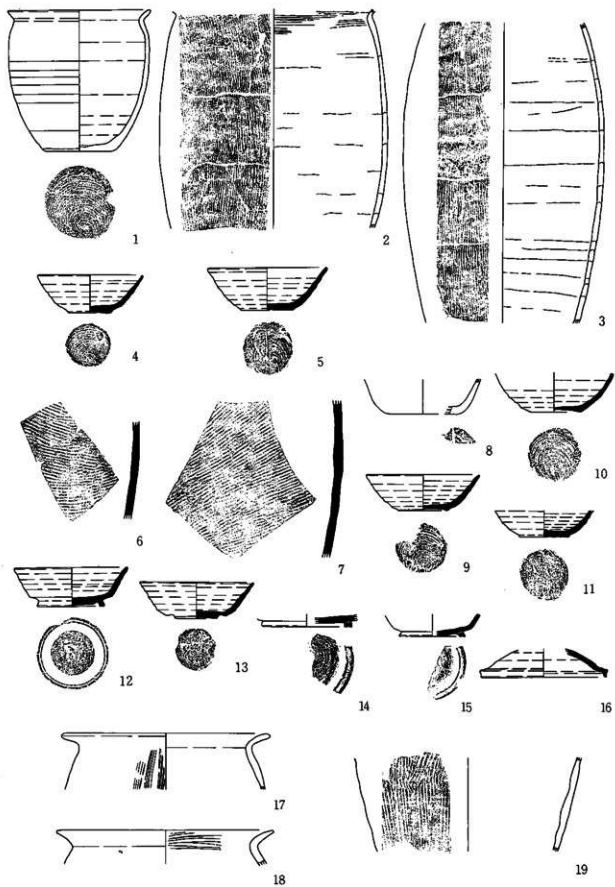
第122图 出土遺物 1~16 S B93



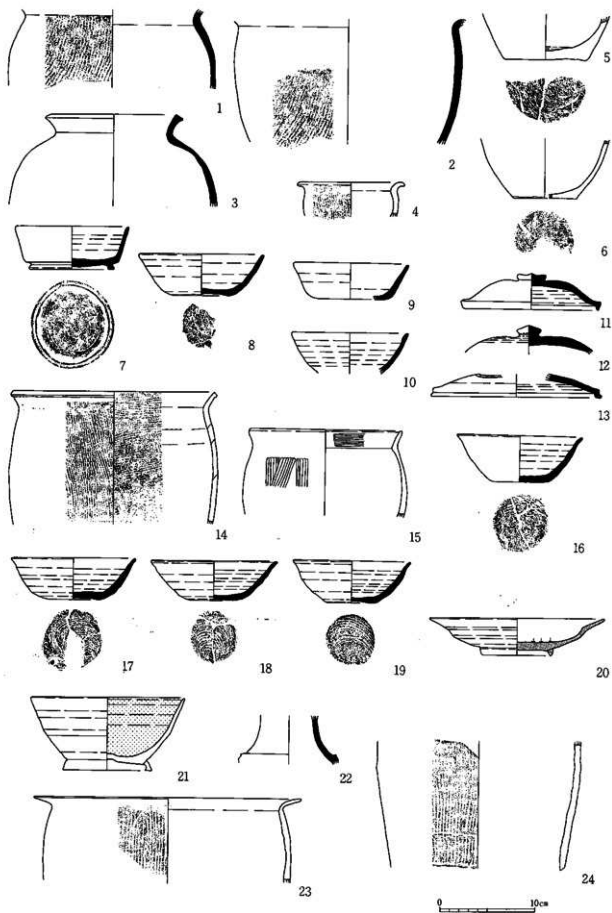
第123圖 出土遺物 1-9 S B96
10-15 S B96



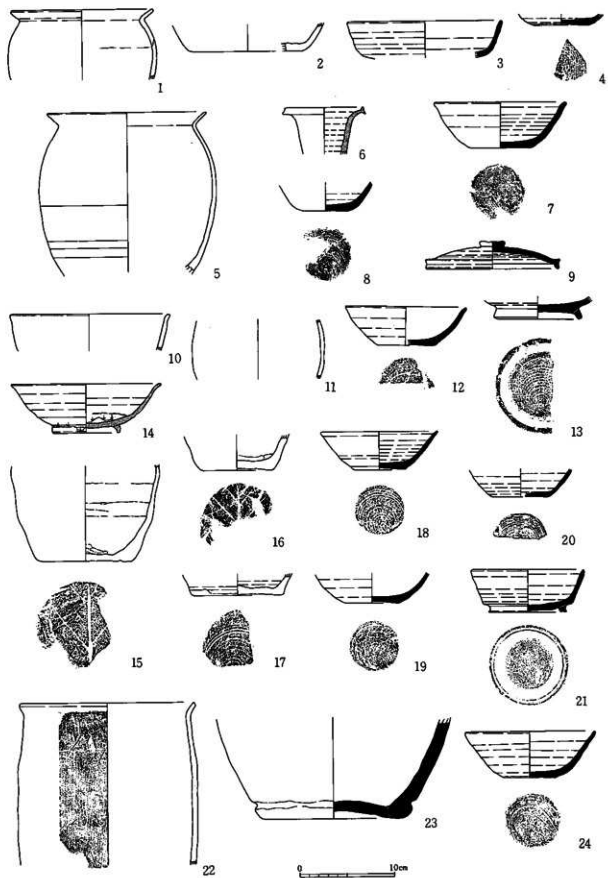
第124図 出土遺物 1~4 SB96 7~18 SB98
5・6 SB97



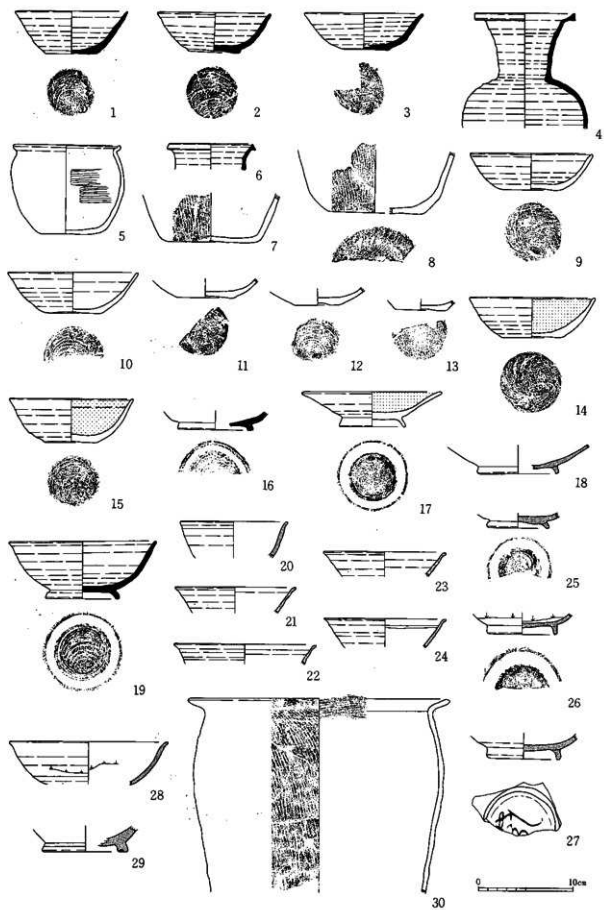
第125図 出土遺物 1~5 S B 05 17~18 S B 17
 6~16 S B 06



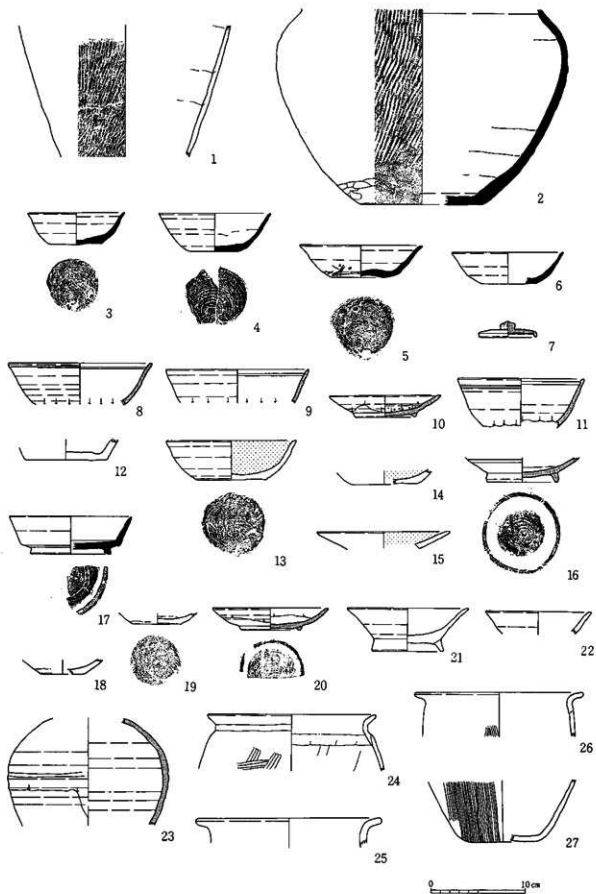
第126圖 出土遺物 1~13 S B17 23·24 S B31
14~22 S B30



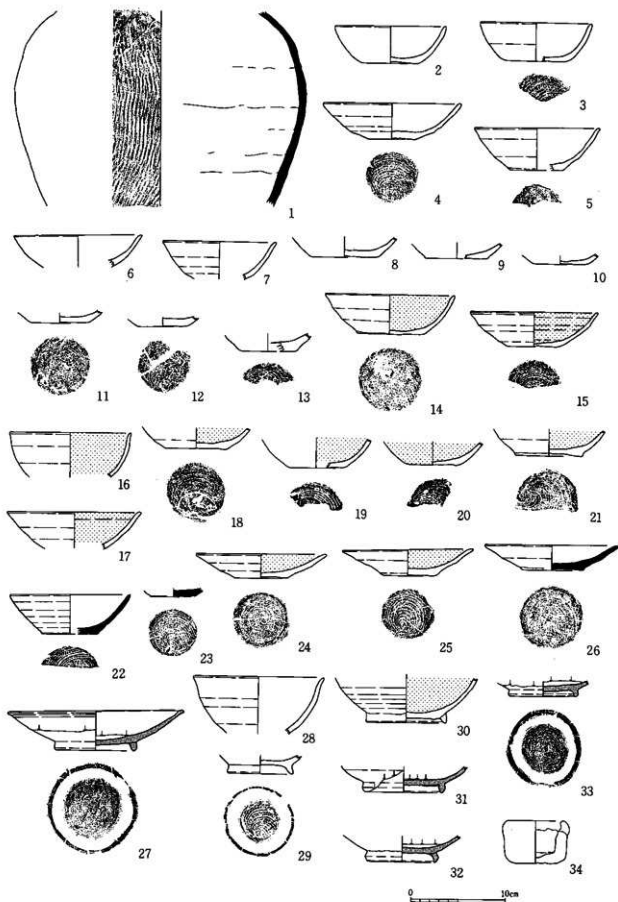
第127图 出土遺物 1~4 S B 31 10~14 S B 36 21 S B 46
5~9 S B 35 15~20 S B 45 22~24 S B 47



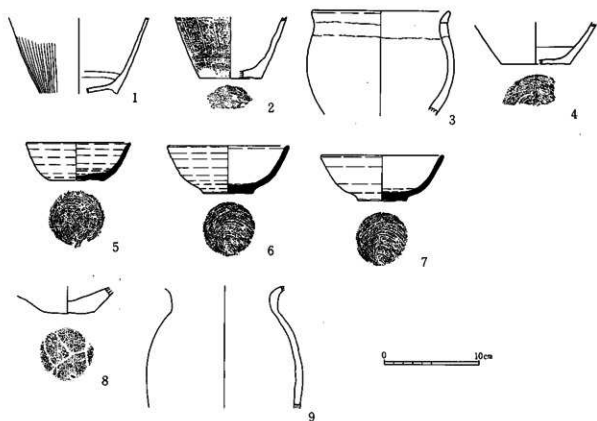
第128圖 出土遺物 1-3 S B 47 28 S B 59
4-27 S B 49 29-30 S B 67



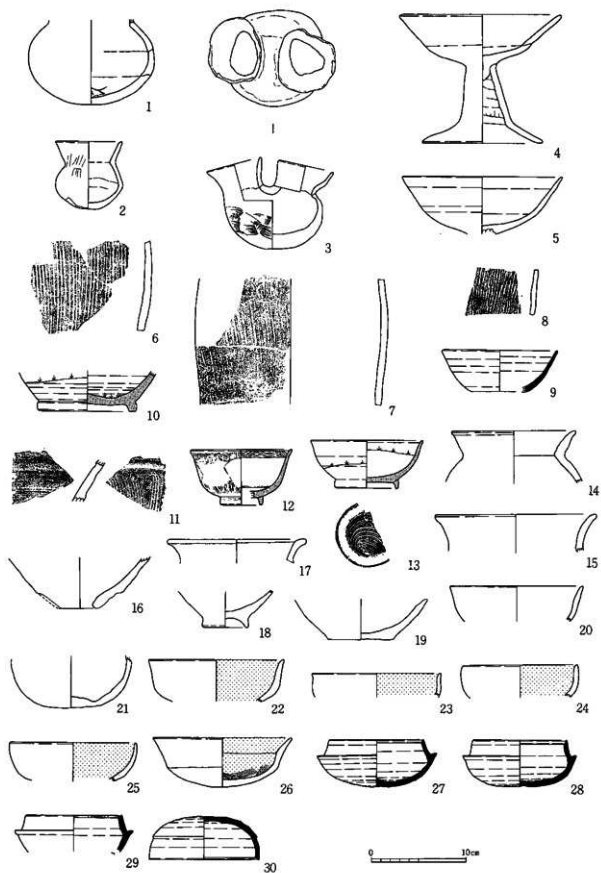
第129圖 出土遺物 1~9 S B67 12~16 S B70 18~22 S B72
 10·11 S B68 17 S B71 23~27 S B74



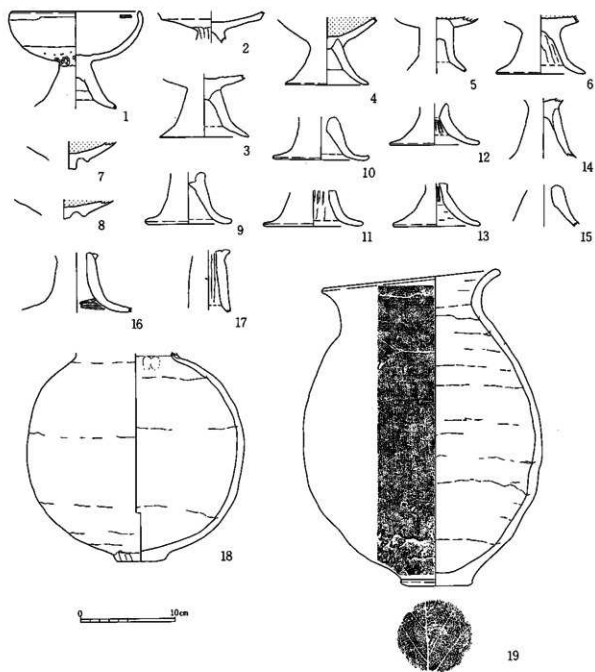
第130圖 出土遺物 1~34 S B74



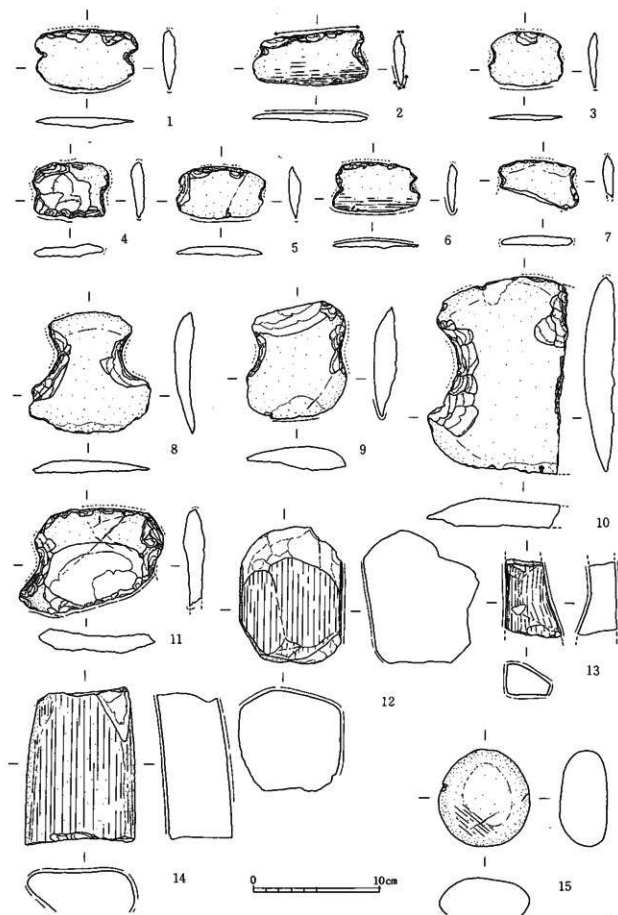
第131图 出土遺物 1・2 SB76 8 SB34
3~7 SB87 9 SB38



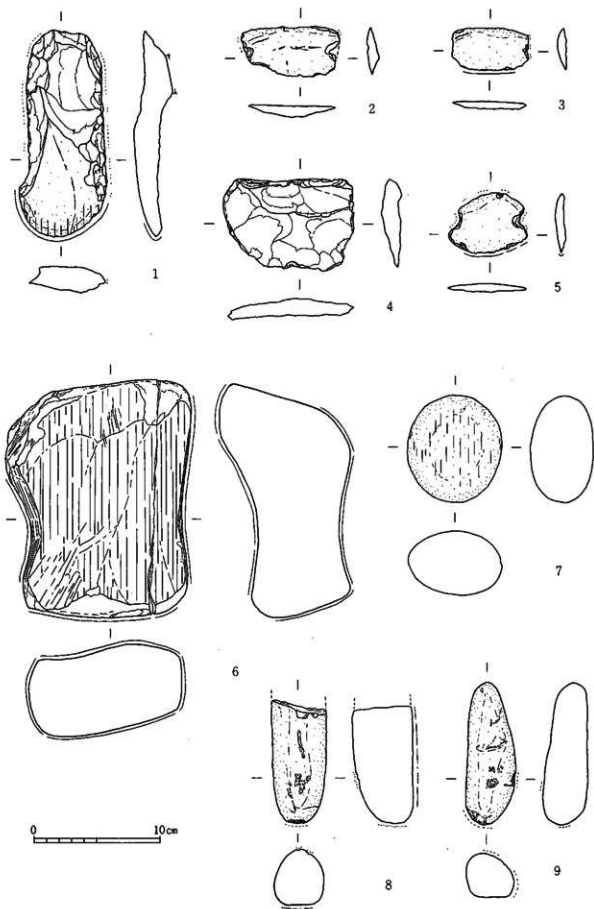
第132图 出土遗物 1-5 SK20 7-9 SK22 13 SK26 17-30 土器集Ⅱ
6 SK21 10-12 SK25 14-16 土器集Ⅰ



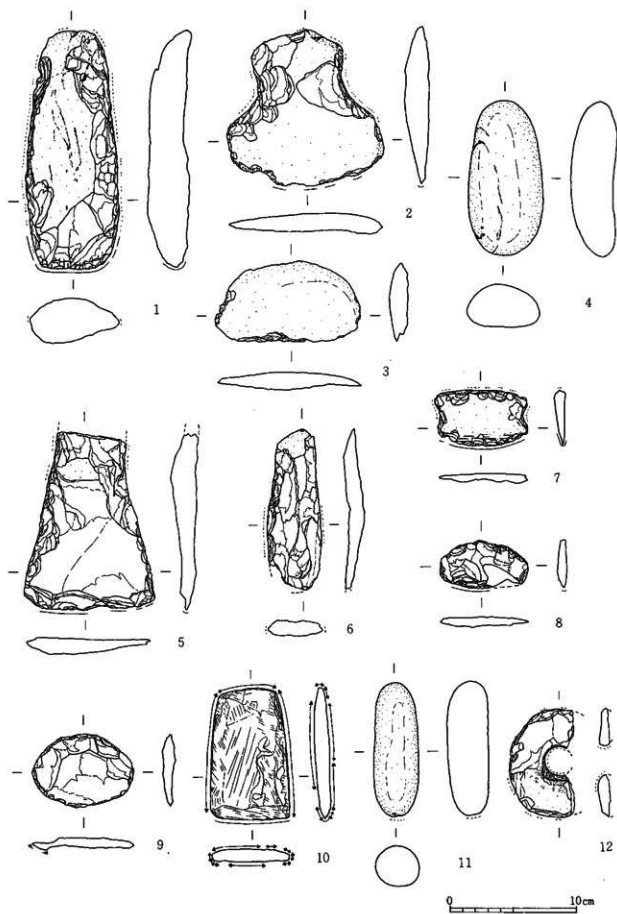
第133图 出土遗物 1~17 土器集中
18·19 Z Z Z



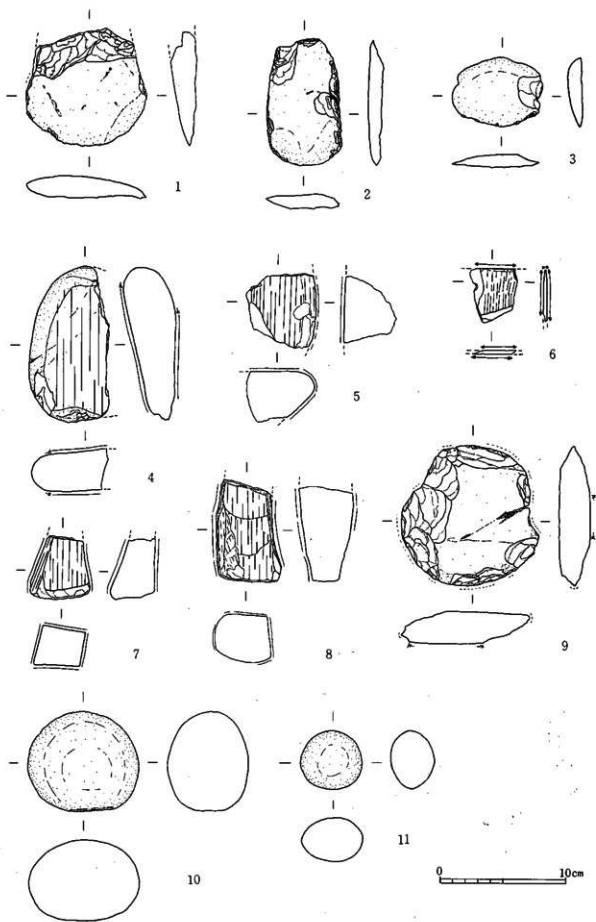
第134圖 出土遺物 1-11 S B63 14·15 S B04
12·13 S B02



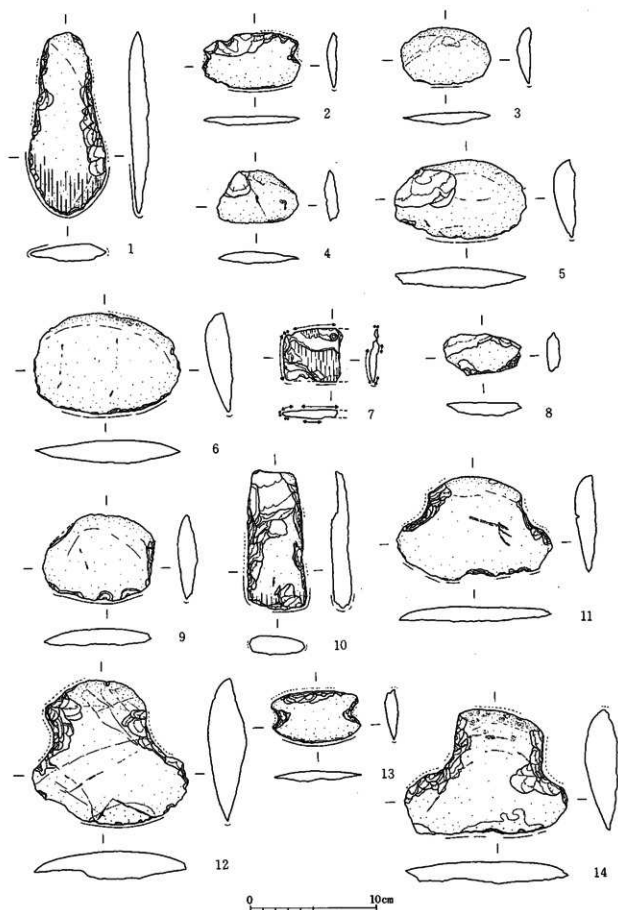
第135圖 出土遺物 1-4 SB09 6·7 SB13
5 SB10 8·9 SB14



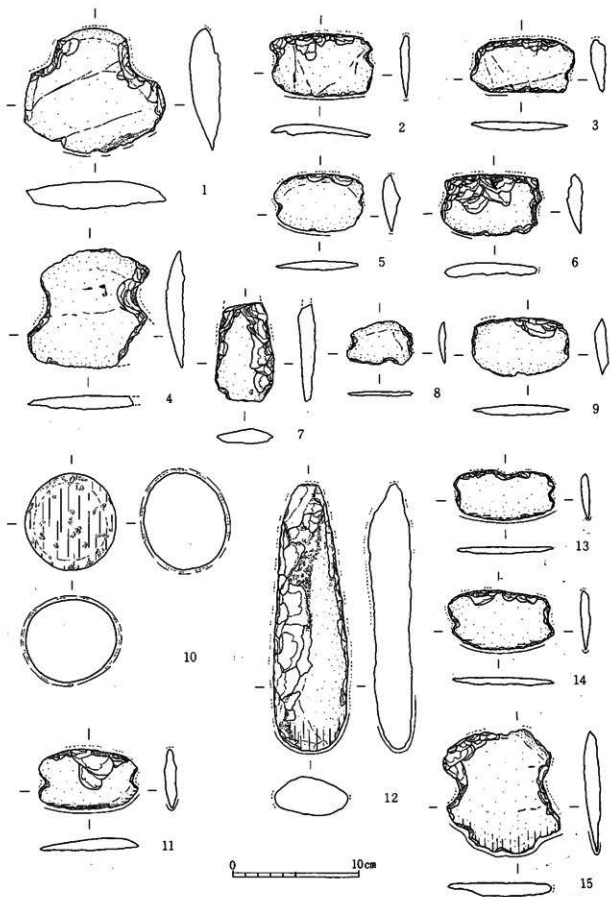
第136图 出土遗物 1-3 S B 16 5-11 S B 20
4 S B 19 12 S B 21



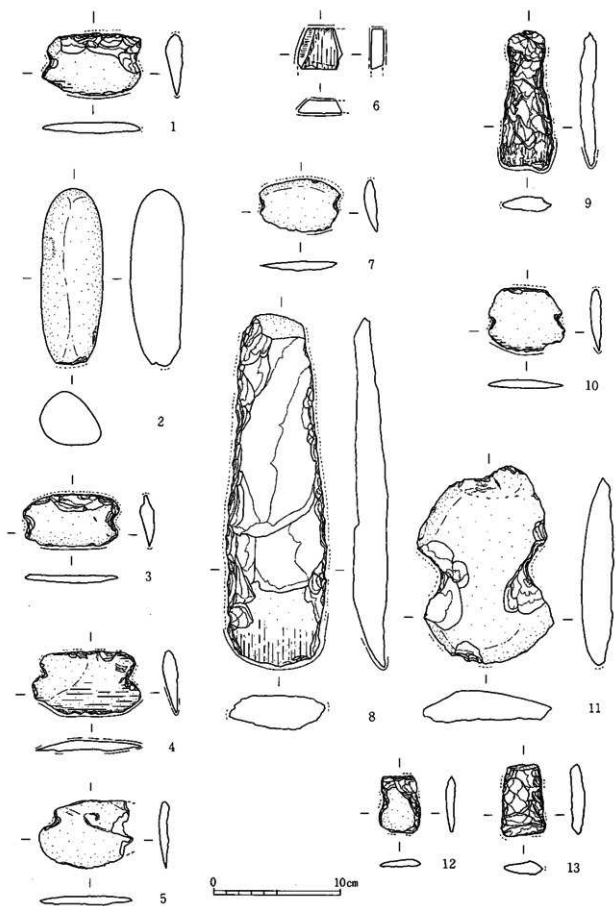
第137图 出土遺物 1~6 SB22 9 SB33
7·8 SB32 10·11 SB37



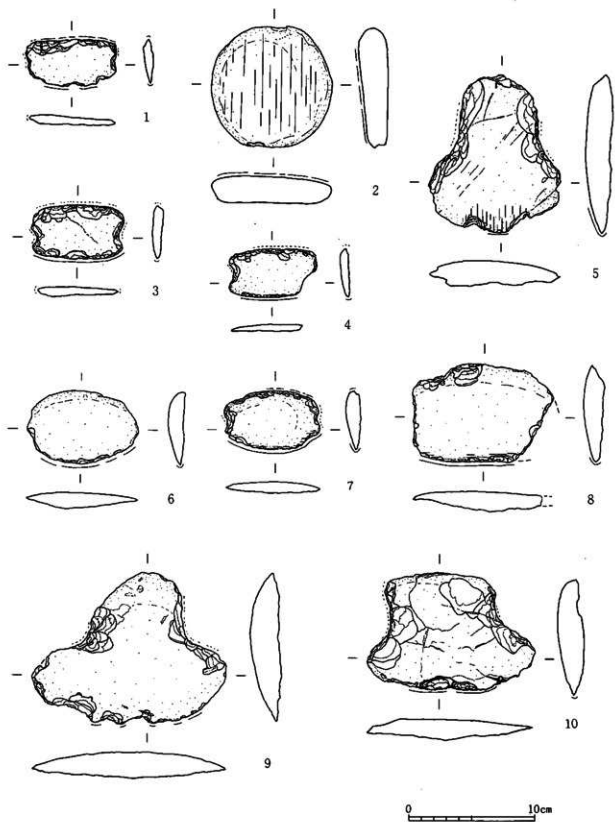
第138图 出土遺物 1-6 SB40 10 SB43 12 SB52
7-9 SB41 11 SB48 13-14 SB53



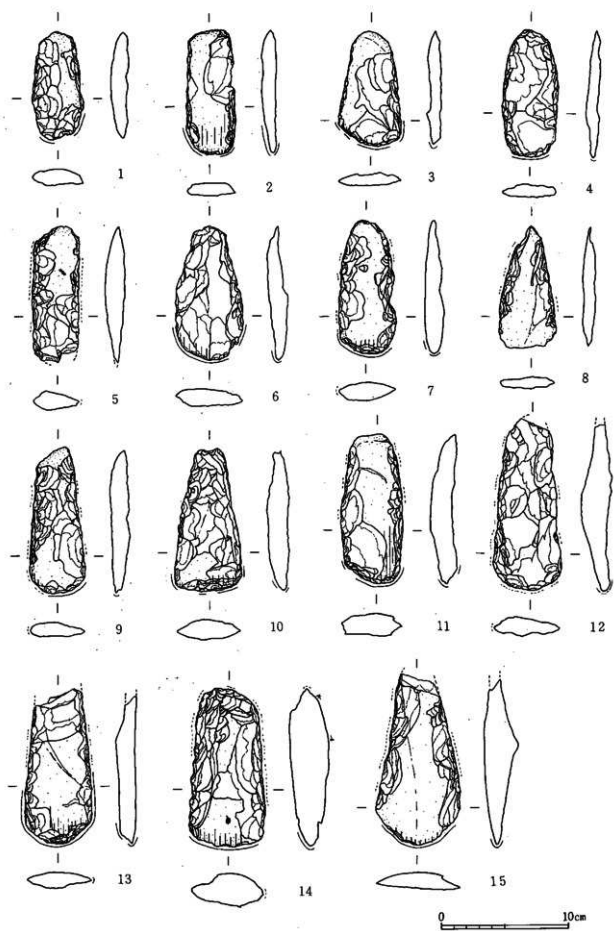
第139圖 出土遺物 1 S B54 3·4 S B60 7 S B62 11 S B66 15 S B77
 2 S B58 5·6 S B61 8-10 S B64 12-14 S B75



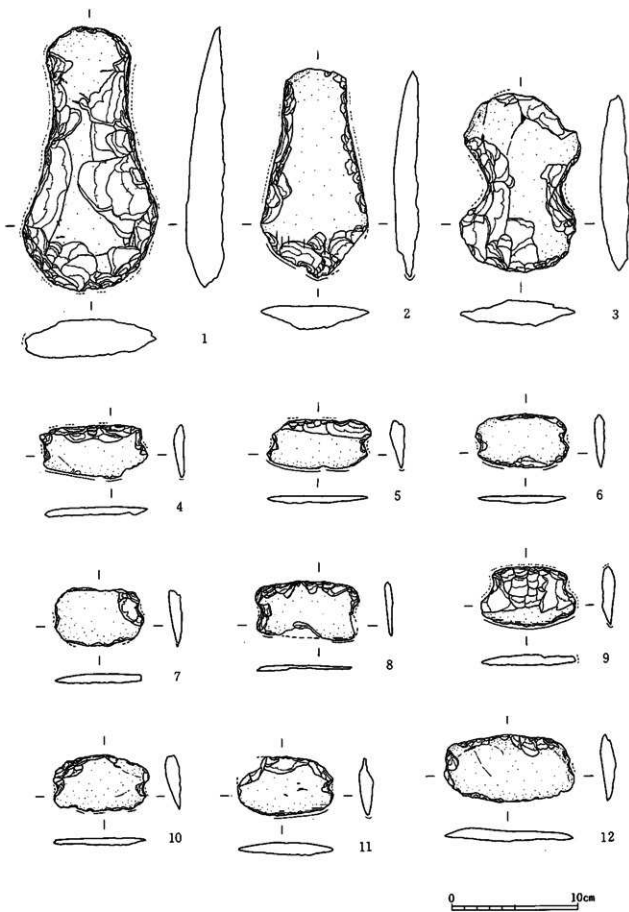
第140图 出土遺物 1・2 SB80 4・5 SB83 7・8 SB88 10 SB95
3 SB81 6 SB85 9 SB90 11-13 SB97



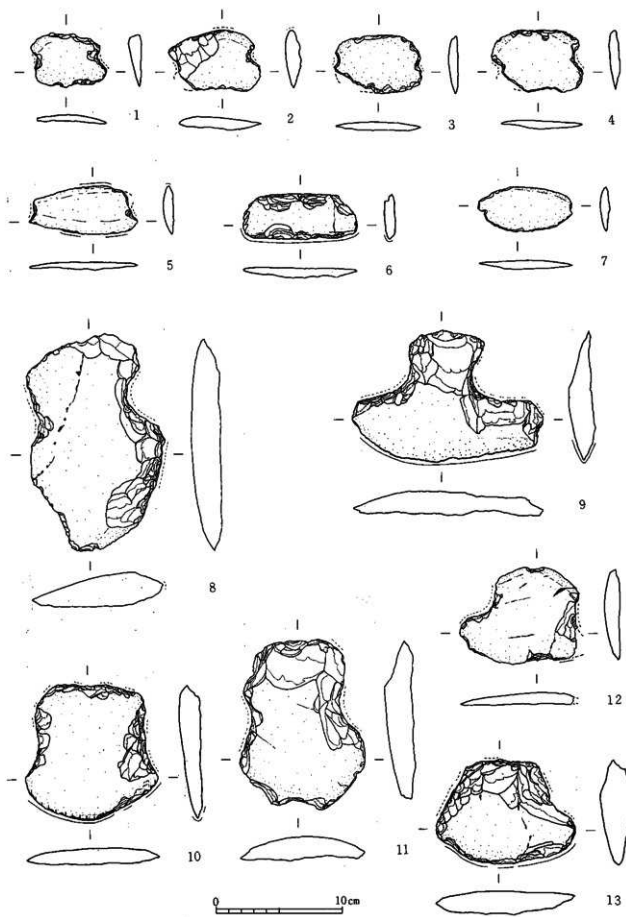
第141圖 出土遺物 1・2 SB17 4・5 SB67 7 SK25 10 土器集中Ⅱ
3 SB45 6 SK08 8・9 土器集中Ⅰ



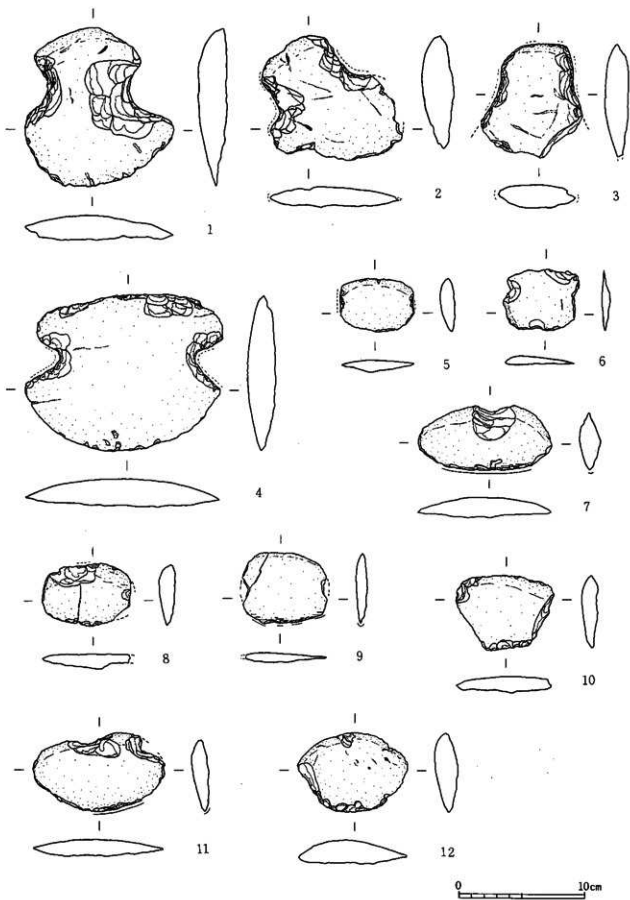
第142圖 出土遺物 遺構外



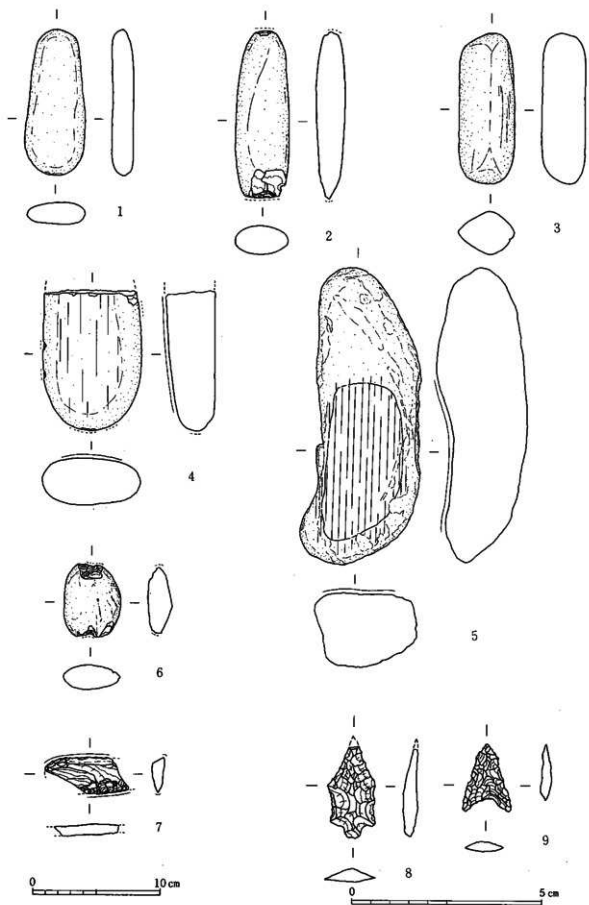
第143图 出土遺物 遺構外



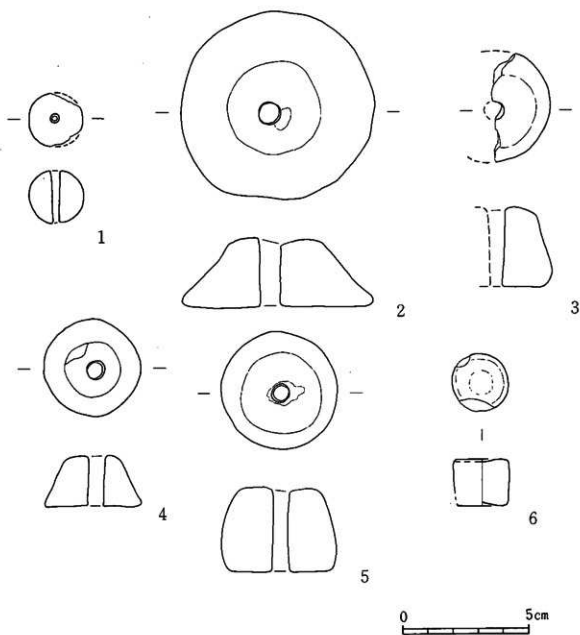
第144圖 出土遺物 遺構外



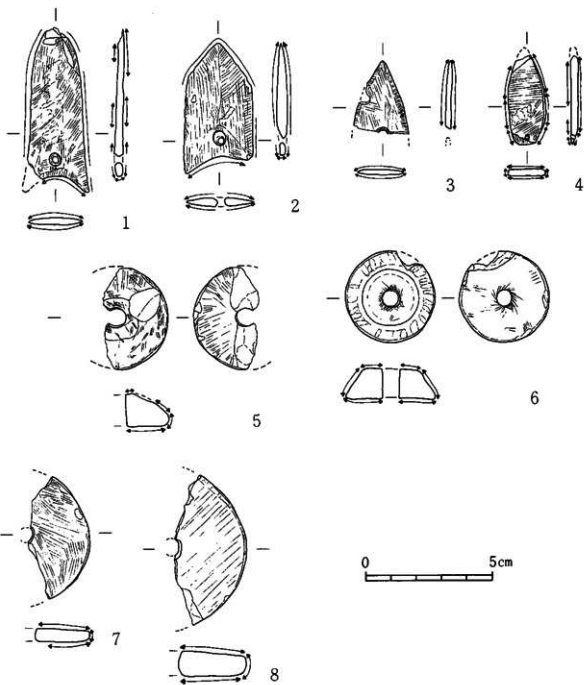
第145图 出土遺物 遺構外



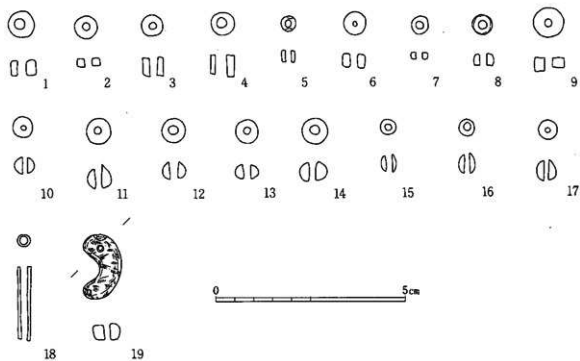
第146图 出土遺物 造標外



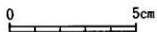
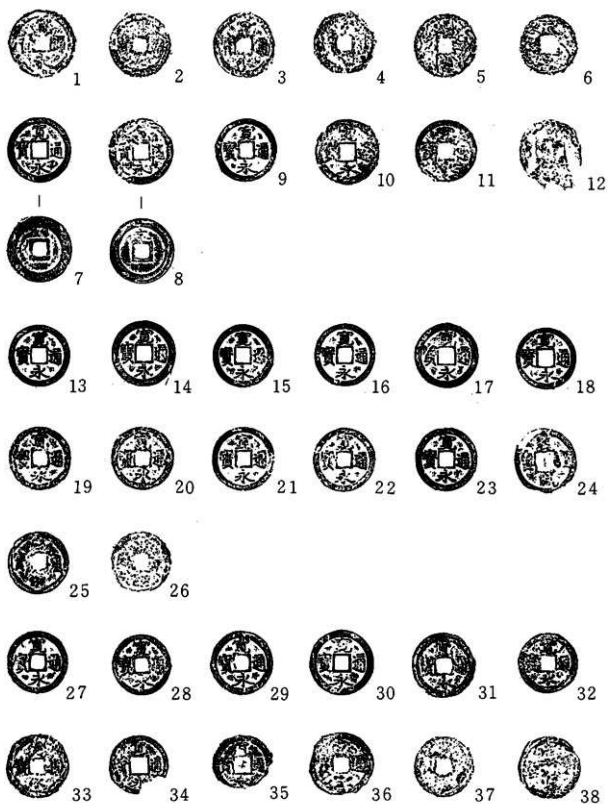
第147图 出土遺物 1 SB18 3 SB19 5 土器集中I
2 SB16 4 SB21 6 SB04



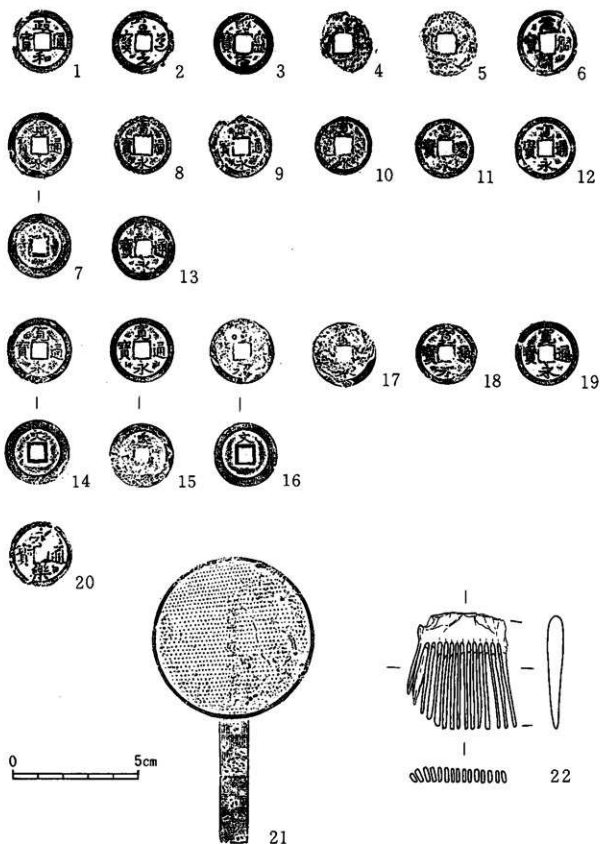
第148図 出土遺物 1・2 SB63 4 SB73 6 SB25 8 SB68
3 SB22 5 SB07 7 SB64



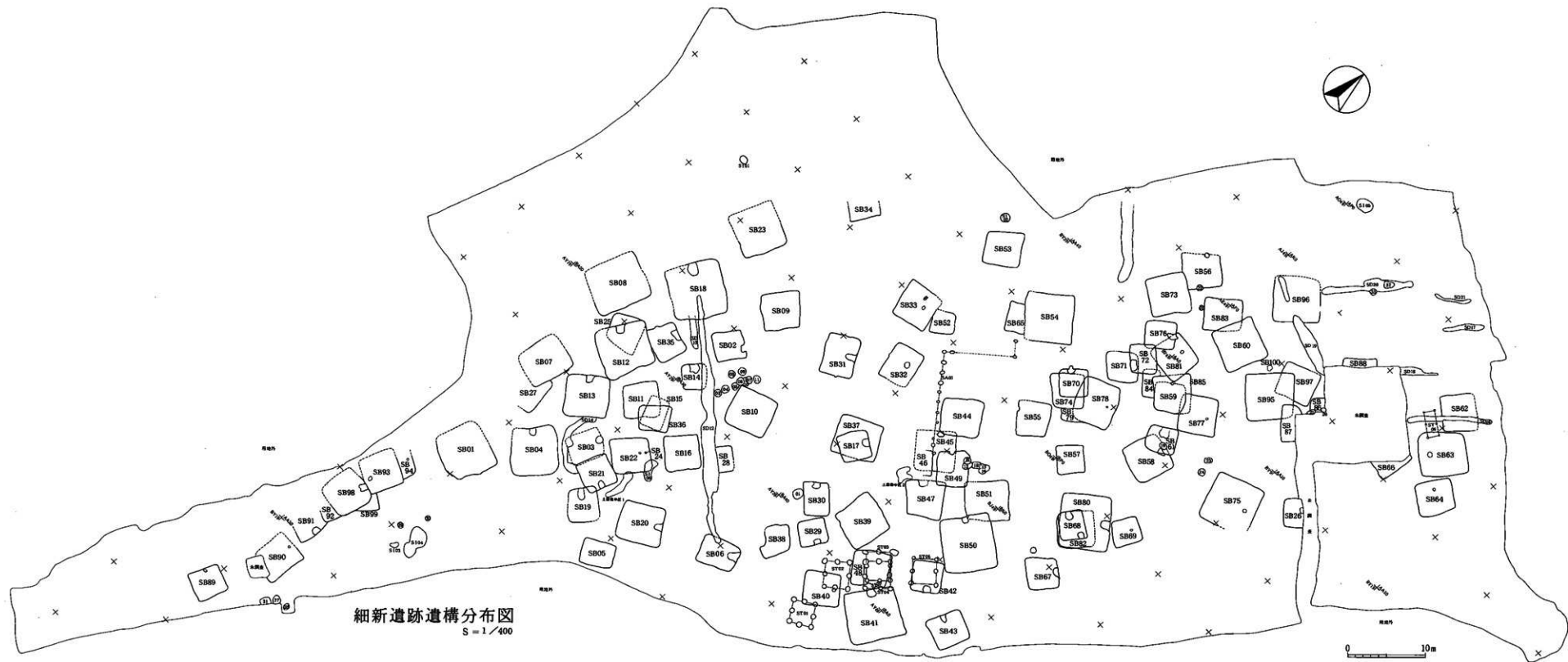
第149図 出土遺物 1 SB04 3 SB13 5 SB42 7 SB51 9 SB98 11~17 SK33 19 グリット
 2 SB11 4 SB18 6 SB50 8 SB75 10 SK12 18 SB30



第150圖 出土遺物 1-6 SK04 13-18 SK13 25-26 SK16 33-38 SK19
 7-12 SK12 19-24 SK14 27-32 SK18



第151図 出土遺物 1-6 SK28 7-13 SK29 14-19 SK32 20 遺構外 21 SK28 22 SK05



細新遺跡遺構分布図
S = 1/400

写真図版



THA調査前



同上



THA全景



同上



TIIA全景(部分)



同上



THAbトレンチ全景



THAcトレンチ全景



THAdトレンチ全景



THAeトレンチ全景



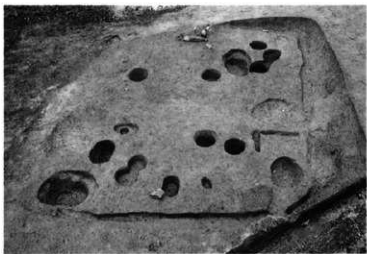
THA f トレンチ全景



THA h・i・j トレンチ全景



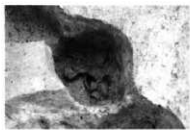
S B56



S B01



S B01カマド



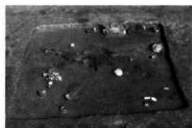
S B01ピット遺物出土状況



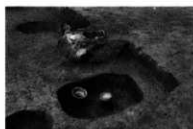
S B02



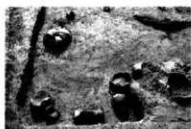
S B02カマド



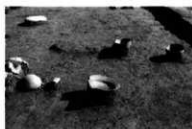
S B02遺物分布状況



S B02遺物出土状況



同左



同左



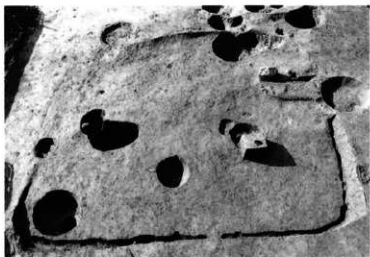
S B04



S B04遺物出土状況



S B04遺物出土状況



S B07



S B07遺物分布状況



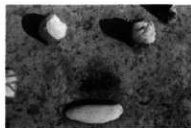
S B07遺物出土状況



S B08



SB09



SB09新址



SB09遺物分布狀況



SB09遺物出土狀況



同左



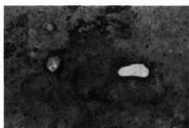
同左



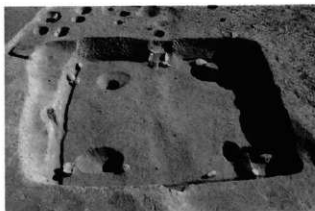
SB10



SB10新址



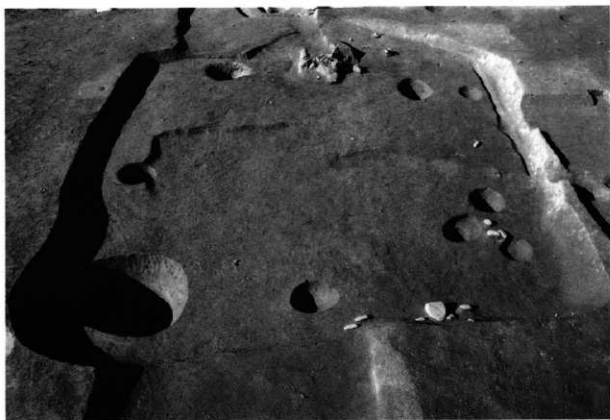
SB10旧址



SB11



SB11カメラ



SB12



S B 13



S B 13炭化材出土状況



S B 13遺物出土状況



S B 14



S B 14カマド



S B 14遺物出土状況



S B 14遺物出土状況



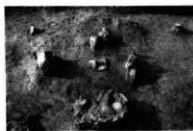
S B16



S B16カマド



S B18



S B18カマド



S B18炭化材分布状況



S B18遺物出土状況



S B19



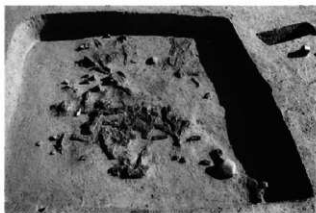
S B19のサマ



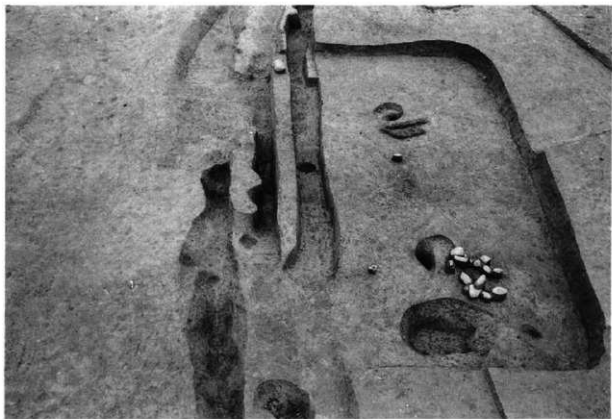
S B21



S B22



S B22炭化材分布状况



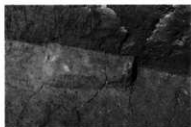
S B23



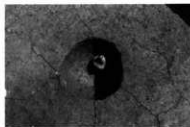
S B25



S B26



S B26の址



S B26ヒット遺物出土状況



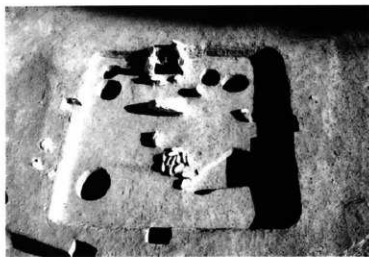
S B27



S B27碳化材分布状况



S B28



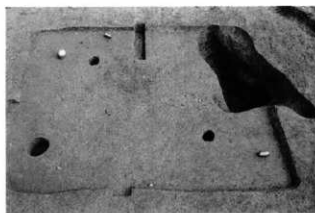
S B29



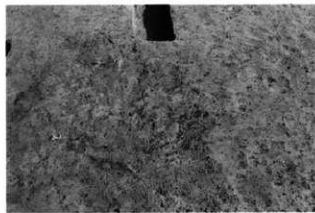
S B29カマド



S B29遺物出土状況



S B32



S B329址



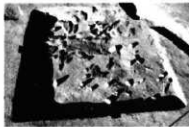
S B33



S B33新形¹



S B33旧形



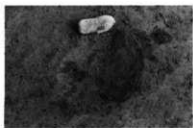
S B33炭化材分布状況



同左



S B37



S B37新形



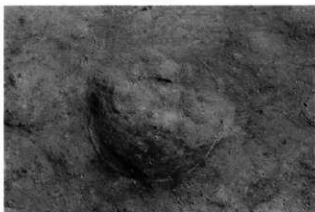
S B37炭化材分布状況



同左



S B 39



S B 39b'址



S B 40



S B 40カマド



S B 40遺物出土状況



S B41



S B41カマド



S B42



S B42カマド



S B42炭化材分布状況



S B42遺物出土状況



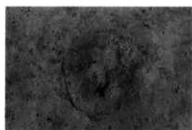
同 左



S B 43



S B 44



S B 44 遗址



S B 44 遗物分布状况



S B 44 遗物出土状况



S B 44 遗物出土状况



S B 48



S B 48炉址



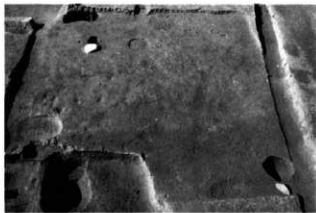
S B 50



S B 50カマド



S B 50遺物出土状況



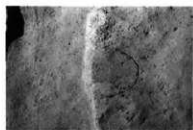
S B51



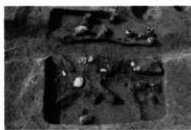
S B51¹址



S B52



S B52¹址



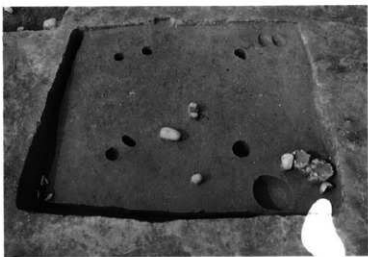
S B52遺物分布狀況



S B52遺物出土狀況



S B52遺物出土狀況



S B53



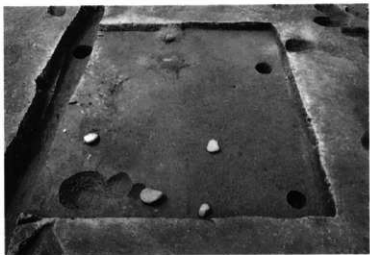
S B53炭化材分布状況



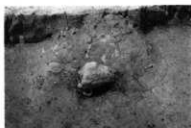
S B53炭化材出土状況



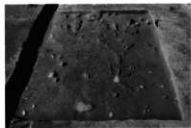
S B53遺物分布状況



S B54



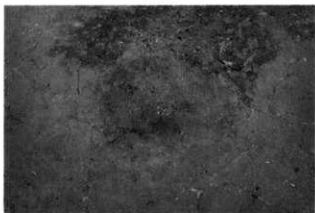
S B54カマド



S B54遺物分布状況



S B 58



S B 58炉址



S B 60



S B 60炉址



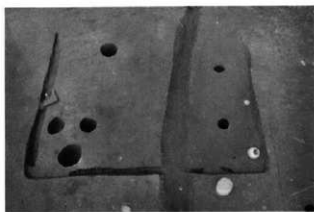
S B 60炭化材分布状况



S B 60遺物出土状况



S B61



S B62



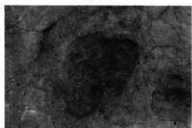
S B62遺物出土状況



S B64



S B64新骨



S B64旧骨



S B64遺物分布狀況



S B64遺物出土狀況



同左



S B65



S B65炭化材分布狀況



S B66



S B66遺物分布状況



S B66遺物出土状況



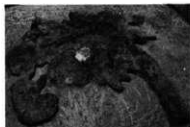
同左



S B69



S B69炭化材分布状況



S B69炭化材出土状況



S B73



S B73印址



S B73遺物分布状況



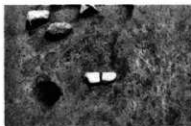
S B75



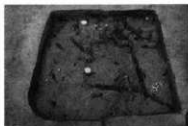
S B75遺物出土状況



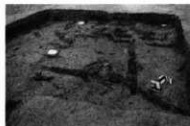
SB77



SB779址



SB77炭化材分布状況



SB77炭化材出土状況



SB78



SB78遺物出土状況



S B79



S B79炭化材出土状況



S B80



S B80カマド



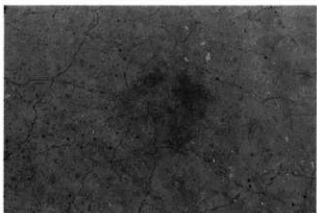
S B80遺物分布状況



S B80遺物出土状況



S B81



S B81跡



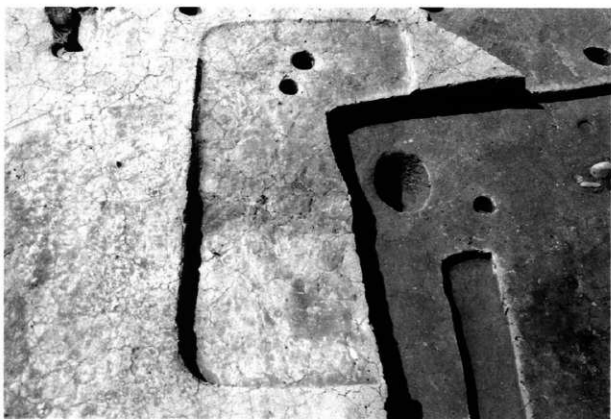
S B82カマフ



S B83



S B83炭化材分布状况



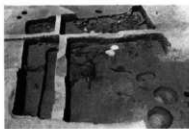
S B84



S B 85



S B 85 炉址



S B 85 炭化材分布状况



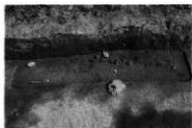
S B 85 炭化材出土状况



S B 86



S B88



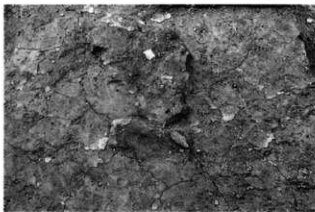
S B88遺物分布状況



S B88遺物出土状況



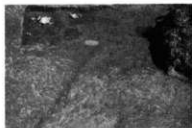
S B89



S B89址



S B90



S B90遺物分布状況



S B90遺物出土状況



同左



S B92遺物出土状況